

「松江市子育て支援に関する保護者アンケート」

集計結果

令和 6 年 3 月

松江市こども子育て部こども政策課

目次

1 アンケート概要.....	1
2 アンケート集計結果（単純集計）	
（問1）宛名のお子様から見たあなたのご関係をお答えください。	1
（問2）同居の家族構成についてお答えください。	2
（問3）あなた（回答者）の年代をお答えください。	2
（問4）お子様の母親・父親の就労状況	2
（問5）家事・育児などを日常的に頼める人の有無	3
（問6）お子様の人数.....	3
（問7）宛名のお子様の年齢.....	3
（問8）理想的なお子様の人数	4
（問9）現実的に持つお子様の人数.....	4
（問10）理想的なお子様の人数と現実的に持つお子様の人数の比較について	4
【問10で「（理想的なお子様の人数より）現実的に持つお子様の人数のほうが 少ない」を選んだ方】その理由は何ですか。	5
（問11）松江市で受けられる子育て支援制度について知っているものはどれですか。	5
（問12）子育てをするうえで、負担や不安を感じますか。	6
【問12で「非常に感じる」「どちらかといえば感じる」を選んだ方】どのような 負担や不安を感じますか。	6
（問13）子どもや子育てに関する情報は主に何を見ていますか。	6
（問14）子どもを安心して生み育てられる環境の充実のために、行政にどのような施策を 期待しますか。	7
【問14で「経済的負担の軽減」を選んだ方】特にどの経済的支援を充実するべき だと思いますか。	7
（問15）子育てに関することでデジタル化を期待することは何ですか。	8
3 アンケート集計結果（クロス集計）	
（1）保護者の年代とのクロス集計	
×（問8）理想的な子どもの人数	9
×（問9）現実的に持つ子どもの人数	9
×（問10-1）理想の子どもの人数より少ない理由	10
×（問12）負担・不安.....	11
×（問14）行政に期待する施策	12
×（問14-1）期待する経済的支援施策	12
（2）保護者の就労状況とのクロス集計	
×（問8）理想的な子どもの人数	13
×（問9）現実的に持つ子どもの人数	13

× (問 10-1) 理想の子どもの人数より少ない理由	14
× (問 12) 負担・不安.....	15
× (問 14) 行政に期待する施策	16
× (問 14-1) 期待する経済的支援施策	16
(3) 子どもの年齢とのクロス集計	
× (問 8) 理想的な子どもの人数	17
× (問 9) 現実的に持つ子どもの人数.....	17
× (問 10-1) 理想の子どもの人数より少ない理由	18
× (問 12) 負担・不安.....	19
× (問 14) 行政に期待する施策	20
× (問 14-1) 期待する経済的支援施策	20
(4) 子どもの人数とのクロス集計	
× (問 8) 理想的な子どもの人数	21
× (問 9) 現実的に持つ子どもの人数.....	21
× (問 10-1) 理想の子どもの人数より少ない理由	22
× (問 12) 負担・不安.....	23
× (問 14) 行政に期待する施策	24
× (問 14-1) 期待する経済的支援施策	24
4 まとめ	25
5 自由記述	26

※自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除修正した。

1 アンケート概要

アンケート名	松江市子育て支援に関する保護者アンケート
目的	・子育てに関する市民ニーズを把握し、今後の子育て支援施策の拡充や改善などの検討のための基礎資料とする。 ・第3期松江市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたっての基礎資料とする。
対象	松江市内に居住する0～18歳（R5.7月末時点）の市民1,500人を抽出し、その保護者等に回答を郵送で依頼 <0～18歳の市民の内訳> 0～5歳：500人、6～12歳：500人、13～18歳：500人
調査時期	令和5年9月8日～9月29日
調査方法	しまね電子申請サービスを利用した無記名方式
回答数	693件（回収率：47%）
質問項目	問1 回答者属性（宛名の子どもから見た関係、年代、家族構成、～問4 就労状況） 問5 家事・育児の協力が得られる環境の有無 問6 子どもの人数 問7 子どもの年齢 問8 理想的な子どもの人数 問9 現実的に持つ子どもの人数 問10 理想的な子どもの人数より現実的に持つ子どもの人数のほうが少ない理由 問11 松江市で受けられる子育て支援制度について知っているもの 問12 子育てに対する負担について 問13 子育てに関する情報源 問14 行政に期待する子育て支援施策 問15 子育てに関するデジタル化について

2 アンケート集計結果（単純集計）

（問1）宛名のお子様から見たあなたのご関係をお答えください。

回答	母親	父親	祖母	祖父	その他
回答数	565	128	0	0	0
割合	82%	18%	0%	0%	0%

調査対象となるお子様と回答者の関係性については、母親が82%、父親が18%となった。

(問2) 同居の家族構成についてお答えください。

回答	回答数	割合
子ども、母親、父親	474	68%
子ども、母親、父親、祖父母	71	10%
子ども、母親、父親、その他世帯員	9	1%
子ども、母親	69	10%
子ども、父親	13	2%
子ども、母親、祖父母	13	2%
子ども、母親、その他世帯員	5	1%
子ども、父親、祖父母	1	0.1%
子ども、父親、その他世帯員	1	0.1%
その他	37	5%

調査対象となるお子様を含む同居の家族構成については、多い順に、「子ども（きょうだい含む）と両親」が68%、「子ども（きょうだい含む）、両親、祖父母」が10%、「子ども（きょうだい含む）、母親」が10%となった。

(問3) あなた（回答者）の年代をお答えください。

回答	10代	20代	30代	40代	50代以上
回答数	0	31	211	311	140
割合	0%	4%	30%	45%	20%

回答者の年代については、多い順に、「40代」が45%、「30代」が30%、「50代以上」が20%、「20代」が4%となった。

(問4) お子様の母親・父親の就労状況

回答（同一世帯における組み合わせ）				回答数・割合	
父親	フルタイム	母親	フルタイム	328	47%
父親	フルタイム	母親	パート・アルバイト	220	32%
父親	－	母親	フルタイム	50	7%
父親	フルタイム	母親	就労無し（今後就労予定無し）	41	6%
父親	フルタイム	母親	就労無し（今後就労予定有り）	20	3%
父親	－	母親	パート・アルバイト	14	2%
父親	フルタイム	母親	－	4	1%
その他（父親：パート・アルバイトかつ母親：フルタイム 等）				16	2%

※フルタイムには産休・育休中を含む

※－は該当者がいないことを表す

回答者世帯の父親と母親の就労状況の組み合わせについては、多い順に、「両親ともフルタイム」が47%、「父親がフルタイムかつ母親がパート・アルバイト」が32%、「母親がフルタイム」が7%となった。

(問5) 家事・育児などを日常的に頼める人の有無

回答	いる	いない
回答数	402	291
割合	58%	42%

家事や育児などを日常的に頼める人（同居の家族や、近所にお住まいの親族など）の有無については、「いる」が58%、「いない」が42%となった。

(問6) お子様の人数

回答	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
回答数	1	174	304	169	39	6
割合	0.1%	25%	44%	24%	6%	1%

調査対象となるお子様を含めたお子様の人数は、多い順に、「2人」が44%、「1人」が25%、「3人」が24%となった。

(問7) 宛名のお子様の年齢

回答	回答数	回答数(区分別)		割合
0歳	48	0歳 ～5歳	225	32%
1歳	40			
2歳	43			
3歳	37			
4歳	26			
5歳	31	6歳 ～12歳	251	36%
6歳	29			
7歳	38			
8歳	28			
9歳	40			
10歳	37			
11歳	32			
12歳	47	13歳 ～18歳	217	31%
13歳	43			
14歳	41			
15歳	39			
16歳	40			
17歳	20			
18歳	34			

調査対象となるお子様の年齢は、「0～5歳」が32%、「6～12歳」が36%、「13～18歳」が31%となった。

(問 8・問 9) お子様の人数について

回答	回答数						
	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	わからない
理想的なお子様の人数	2	18	260	296	35	22	60
	0%	3%	38%	43%	5%	3%	9%
現実的に持つ(ことができるだろうと思う)お子様の人数	4	122	335	169	31	2	30
	1%	18%	48%	24%	4%	0%	4%

回答者が理想とするお子様の人数は、多い順に、「3人」が43%、「2人」が38%、「わからない」が9%となった。

回答者が現実的に持つ(ことができるだろうと思う)お子様の人数は、多い順に、「2人」が48%、「3人」が24%、「1人」が18%となった。

回答(同一回答者の組み合わせ)				回答数・割合		比較
理想	2人	現実	2人	166	24%	一致
理想	3人	現実	2人	146	21%	理想>現実
理想	3人	現実	3人	115	17%	一致
理想	2人	現実	1人	72	10%	理想>現実
理想	3人	現実	1人	26	4%	理想>現実
理想	わからない	現実	わからない	22	3%	—
理想	わからない	現実	3人	16	2%	—
理想	1人	現実	1人	15	2%	一致
理想	2人	現実	1人	14	2%	理想>現実
理想	4人	現実	1人	14	2%	理想>現実
理想	4人	現実	4人	12	2%	一致
その他				75	11%	

同一回答者における理想的なお子様の人数と現実的に持つ(ことができるだろうと思う)お子様の人数の組み合わせは、多い順に、「理想と現実どちらも2人」が24%、「理想が3人で現実が2人」が21%、「理想が3人で現実が3人」が17%となった。

(問 10) 理想的なお子様の人数と現実的に持つお子様の人数の比較について

回答	回答数	割合
(理想的なお子様の人数より) 現実的に持つお子様の人数のほうが少ない	297	43%
(理想的なお子様の人数より) 現実的に持つお子様の人数のほうが多い、または、同数	324	47%
わからない	72	10%

理想的なお子様の人数と現実的に持つ(ことができるだろうと思う)お子様の人数の比較については、「現実的に持つ人数のほうが少ない」が43%、「現実的に持つ人数のほうが多い、または、同数」が47%、「わからない」が10%となった。

【問 10 で「(理想的なお子様の人数より) 現実的に持つお子様の人数のほうが少ない」を選んだ方】
その理由は何ですか。(選択は 3 つまで)

回答 (選択は 3 つまで)	回答数	割合
子育てや教育にお金がかかりすぎる	227	36%
自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える	79	13%
高齢での出産に不安がある	58	9%
これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えきれない	56	9%
家が狭い	40	6%
ほしいけれどもできない	38	6%
健康上の理由	36	6%
配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない	20	3%
子どもがのびのび育つ環境ではない	18	3%
配偶者・パートナーが望まない	13	2%
末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい	13	2%
自分や夫婦の生活を大切にしたい	11	2%
その他 (「配偶者・パートナーがいない」「仕事との両立に不安がある」など)	21	3%

現実的に持つお子様の人数のほうが少ない理由については、多い順に、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が 36%、「自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える」が 13%、「高齢での出産に不安がある」が 9%となった。

(問 11) 松江市で受けられる子育て支援制度について知っているものはどれですか。
(知っているものをすべて選択)

回答 (複数回答)	回答数	割合
小学校6年生までの医療費 (保険診療適用分) の無償化	656	33%
第3子の保育料・副食費の無償化	419	21%
中学生までの入院医療費の無償化	236	12%
保育所等の0~2歳児のクラスの保育料軽減 (国の基準の6割程度に軽減)	211	11%
一般不妊治療費の助成制度	210	11%
『まつえの子育てAIコンシェルジュ』 (LINEを用いた子育て等に関する相談サービス)	88	4%
『あずかるこちゃん』 (病児保育のオンライン予約が行えるサービス)	84	4%
『母子もだんだん』 (子育て世帯へのきめ細やかなサポートを行う母子手帳アプリ)	59	3%
1つも知らない	16	1%

本市の子育て支援施策で知っているものについては、多い順に、「小学校 6 年生までの医療費 (保険診療適用分) の無償化」が 33%、「第 3 子の保育料・副食費の無償化」が 21%、「中学生までの入院医療費の無償化」が 12%となった。

(問 12) 子育てをするうえで、負担や不安を感じますか。

回答	回答数	割合
非常に感じる	193	28%
どちらかといえば感じる	330	48%
どちらかといえば感じない	121	17%
ほとんど感じない	49	7%

子育てに負担や不安を感じるかについては、多い順に、「非常に感じる」「どちらかといえば感じる」をあわせると 76%、「どちらかといえば感じない」「ほとんど感じない」をあわせると 24%となった。

【問 12 で「非常に感じる」「どちらかといえば感じる」を選んだ方】どのような負担や不安を感じますか。(選択は3つまで)

回答	回答数	割合
子育てにお金がかかる	441	36%
仕事と子育ての両立が難しい	207	17%
子育てによる体の疲れが大きい	157	13%
親としての責任を果たすことができるか不安	102	8%
自分の自由な時間が持てない	101	8%
子育ては、なんでも親の責任にされるので、負担を感じる	50	4%
子育てに自信がもてない	38	3%
子どもの育て方について配偶者や家族と意見が合わない	33	3%
子育ての大変さを配偶者や家族等身近な人が理解したり協力してくれない	26	2%
近所に子どもの遊び友だちがいない	22	2%
夫婦で楽しむ時間が持てない	19	2%
その他	28	2%

子育てに負担や不安を感じると回答した人のうち、どのような負担や不安を感じるかについては、多い順に、「子育てにお金がかかる」が 36%、「仕事と子育ての両立が難しい」が 17%、「子育てによる体の疲れが大きい」が 13%となった。

(問 13) 子どもや子育てに関する情報は主に何を見ていますか。(当てはまるものをすべて選択)

回答 (複数回答)	回答数	割合
保育所や幼稚園等、学校からのプリント等	458	38%
市報松江	234	19%
新聞	142	12%
松江市のホームページ	132	11%
子育てフリーペーパー「ねえみちよって」	58	5%
まるまる松江 (マールテレビ)	44	4%
(LINEを使用した) まつえの子育てAIコンシェルジュ	17	1%
松江市公式X (旧ツイッター)	17	1%
松江市公式Instagram	17	1%
松江市公式Facebook	4	0.3%
その他	88	7%

子どもや子育てに関する情報源については、多い順に、「保育所や幼稚園等、学校からのプリント等」が39%、「市報松江」が19%、「新聞」が12%となった。

なお、「松江市公式ホームページ、松江市公式 SNS、まつえの子育て AI コンシェルジュ」といった WEB 媒体をまとめると15%となり、「市報松江」に次いで3番目に多い結果となる。

(問 14) 子どもを安心して生み育てられる環境の充実のために、行政にどのような施策を期待しますか。(選択は5つまで)

回答（選択は5つまで）	回答数	割合
こどもを産み育てていくために必要な経済的支援	476	20%
働きながら子育てができる環境の整備のための取組	368	15%
医療体制の充実	276	11%
天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実	244	10%
教育環境の充実	212	9%
保育サービスや放課後児童対策（放課後児童クラブ等）の充実	195	8%
社会全体で子育てを応援する意識を高める取組	88	4%
病児保育施設の増設	82	3%
配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）の推進	79	3%
学校への移動手段（公共交通機関）の充実	77	3%
親が子育てから解放されてリフレッシュできる居場所の確保	63	3%
不妊対策（経済的支援、周囲の理解、仕事との両立）	50	2%
地域のサポート（みまもりなど）の推進	46	2%
親子で参加できるイベントの開催	45	2%
子育てに関する相談・指導の充実	37	2%
その他	37	2%
子育てサロンやつどいの広場など、親子が気軽に安心して集まれる身	31	1%
特になし（問15へお進みください）	18	1%
親族のサポート（家事・育児）の推進	15	1%

子どもを安心して生み育てられる環境の充実のために、行政にどのような施策を期待するかについては、多い順に、「こどもを産み育てていくために必要な経済的支援」が20%、「働きながら子育てができる環境の整備のための取組」が15%、「医療体制の充実」が11%となった。

【問 14 で「経済的負担の軽減」を選んだ方】特にどの経済的支援を充実するべきだと思いますか。(回答は3つまで)

回答（選択は3つまで）	回答数	割合
教育費（小・中・高・大学）	359	28%
児童手当の増額	276	22%
扶養控除の拡大など納税額の軽減	169	13%
高校生の通院・入院医療費	150	12%
中学生の通院医療費	138	11%
妊娠・出産にかかる費用	92	7%
保育料（0～2歳）	72	6%
その他	18	1%

経済的な負担の軽減を期待すると回答した人のうち、特にどの経済的支援を充実すべきだと思うかについては、多い順に、「教育費（小・中・高・大学）」が28%、「児童手当の増額」が22%、「扶養控除の拡大など納税額の軽減」が13%となった。

（問15）子育てに関することでデジタル化を期待することは何ですか。（当てはまるものをすべて選択）

回答（複数回答）	回答数	割合
行政サービスの申請・届け出等	491	40%
保育所等での生活におけるやりとり（お便り、連絡帳、欠席連絡など）	268	22%
病児保育等の利用申し込み	172	14%
行政情報の積極的な発信やアクセスしやすいWebページの整備	144	12%
オンラインによる相談支援	109	9%
その他	51	4%

子育てに関することでデジタル化を期待することについては、多い順に、「行政サービスの申請・届け出等」が40%、「保育所等での生活におけるやりとり（お便り、連絡帳、欠席連絡など）」が22%、「病児保育等の利用申し込み」が14%となった。

3 アンケート集計結果（クロス集計）

(1) 保護者の年齢とのクロス集計

・（問 8）理想的な子どもの人数とのクロス集計

保護者の年齢×理想の子どもの人数	10代		20代		30代		40代		50代以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0人	0	0%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%
1人	0	0%	0	0%	3	1%	11	4%	4	3%
2人	0	0%	14	45%	83	39%	112	36%	51	36%
3人	0	0%	14	45%	78	37%	140	45%	64	46%
4人	0	0%	1	3%	15	7%	12	4%	7	5%
5人以上	0	0%	1	3%	11	5%	8	3%	2	1%
わからない	0	0%	1	3%	19	9%	28	9%	12	9%
合計	0	0%	31	100%	211	100%	311	100%	140	100%

・（問 9）現実的に持つ子どもの人数

保護者の年齢×現実的に持つ子どもの人数	10代		20代		30代		40代		50代以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0人	0	0%	0	0%	3	1%	1	0%	0	0%
1人	0	0%	5	16%	37	18%	47	15%	33	24%
2人	0	0%	20	65%	107	51%	145	47%	63	45%
3人	0	0%	3	10%	40	19%	88	28%	38	27%
4人	0	0%	0	0%	12	6%	17	5%	2	1%
5人以上	0	0%	0	0%	0	0%	2	1%	0	0%
わからない	0	0%	3	10%	12	6%	11	4%	4	3%
合計	0	0%	31	100%	211	100%	311	100%	140	100%

保護者の年齢別の理想的だと思う子どもの人数は、全ての年代で2人～3人が最多または2番目に多い結果となった。

保護者の年齢別の現実的に持つ子どもの人数は、全ての世代で2人が最多となった。また、3人以上と回答した方の割合は、20代が10%であるのに対し、30代は25%、40代は34%、50代以上で28%であった。

・(問 10-1) 理想の子どもの人数より少ない理由

保護者の年齢×理想の子どもの人数より少ない理由		10代		20代		30代		40代		50代以上	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(理想的なお子様の人数より) 現実的に持つお子様の人数のほうが少ない		0	-	20	-	105	-	107	-	65	-
選択は3つまで	子育てや教育にお金がかかりすぎる	0	0%	20	100%	87	83%	81	76%	39	60%
	家が狭い	0	0%	4	20%	15	14%	14	13%	7	11%
	自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える	0	0%	6	30%	31	30%	28	26%	14	22%
	健康上の理由	0	0%	0	0%	11	10%	15	14%	10	15%
	子どもがのびのび育つ環境ではない	0	0%	2	10%	10	10%	4	4%	2	3%
	自分や夫婦の生活を大切にしたい	0	0%	1	5%	8	8%	2	2%	0	0%
	高齢での出産に不安がある	0	0%	0	0%	12	11%	30	28%	16	25%
	ほしいけれどもできない	0	0%	0	0%	11	10%	13	12%	14	22%
	これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えきれない	0	0%	3	15%	23	22%	19	18%	11	17%
	配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない	0	0%	1	5%	7	7%	9	8%	3	5%
	配偶者・パートナーが望まない	0	0%	0	0%	5	5%	6	6%	2	3%
	末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい	0	0%	0	0%	4	4%	7	7%	2	3%
	その他	0	0%	1	5%	12	11%	5	5%	3	5%

すべての年代で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最多であった。また、同理由を選択した回答者の割合は、20代が100%であり年代が上がるにつれて割合は低下している。

次いで多い理由は20代及び30代が「自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える」であり、40代及び50代以上が「高齢での出産に不安がある」であった。

・(問 12) 負担・不安とのクロス集計

保護者の年齢×負担感		10代		20代		30代		40代		50代以上	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
非常に感じる・どちらかと言えば感じる		0	-	26	-	159	-	245	-	93	-
選択は3つまで	子育てにお金がかかる	0	0%	23	88%	134	84%	206	84%	78	84%
	子育てによる体の疲れが大きい	0	0%	6	23%	66	42%	62	25%	23	25%
	子育ては、なんでも親の責任にされるので、負担を感じる	0	0%	2	8%	15	9%	26	11%	7	8%
	子育てに自信がもてない	0	0%	1	4%	13	8%	17	7%	7	8%
	親としての責任を果たすことができるか不安	0	0%	8	31%	26	16%	46	19%	22	24%
	子どもの育て方について配偶者や家族と意見が合わない	0	0%	1	4%	10	6%	13	5%	9	10%
	子育ての大変さを、配偶者や家族など身近な人が理解したり協力してくれない	0	0%	0	0%	5	3%	15	6%	6	6%
	仕事と子育ての両立が難しい	0	0%	11	42%	70	44%	95	39%	31	33%
	自分の自由な時間が持てない	0	0%	5	19%	38	24%	48	20%	10	11%
	夫婦で楽しむ時間が持てない	0	0%	1	4%	6	4%	10	4%	2	2%
	近所に子どもの遊び友だちがいない	0	0%	1	4%	5	3%	12	5%	4	4%
	その他	0	0%	0	0%	10	6%	13	5%	5	5%

すべての年代で「子育てにお金がかかる」が最多であった。次いで多かった回答は、すべての年代で、「仕事と子育ての両立が難しい」であった。

・(問 14) 行政に期待する施策

保護者の年齢×行政に期待する施策（選択は5つまで）	10代		20代		30代		40代		50代以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
こどもを産み育てていくために必要な経済的支援	0	0%	28	23%	157	20%	203	19%	88	19%
働きながら子育てができる環境の整備のための取組	0	0%	19	15%	125	16%	160	15%	64	14%
教育環境の充実	0	0%	6	5%	56	7%	104	10%	46	10%
医療体制の充実	0	0%	6	5%	66	9%	141	13%	63	14%
学校への移動手段（公共交通機関）の充実	0	0%	3	2%	16	2%	40	4%	18	4%
配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）の推進	0	0%	5	4%	22	3%	33	3%	19	4%
親族のサポート（家事・育児）の推進	0	0%	0	0%	6	1%	3	0%	6	1%
地域のサポート（みまもりなど）の推進	0	0%	1	1%	10	1%	25	2%	10	2%
不妊対策（経済的支援、周囲の理解、仕事との両立）	0	0%	2	2%	14	2%	17	2%	17	4%
親が子育てから解放されてリフレッシュできる居場所の確保	0	0%	5	4%	29	4%	23	2%	6	1%
保育サービスや放課後児童対策（放課後児童クラブ等）の充実	0	0%	12	10%	65	8%	89	8%	29	6%
病児保育施設の増設	0	0%	5	4%	22	3%	36	3%	19	4%
子育てに関する相談・指導の充実	0	0%	2	2%	11	1%	14	1%	10	2%
子育てサロンやつどいの広場など、親子が気軽に安心して集まれる身近な場の充実	0	0%	5	4%	13	2%	10	1%	3	1%
天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実	0	0%	15	12%	102	13%	101	9%	26	6%
社会全体で子育てを応援する意識を高める取組	0	0%	5	4%	27	3%	37	3%	19	4%
親子で参加できるイベントの開催	0	0%	2	2%	19	2%	17	2%	7	2%
その他	0	0%	2	2%	9	1%	17	2%	9	2%
特になし（問15へお進みください）	0	0%	1	1%	3	0%	8	1%	6	1%
合計	0	0%	124	100%	772	100%	1,078	100%	465	100%

・(問 14-1) 期待する経済的支援施策

保護者の年齢×経済的支援			10代		20代		30代		40代		50代以上	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
子どもを産み育てていくために必要な経済的支援			0	-	28	-	157	-	203	-	88	-
選択は3つまで	妊娠・出産にかかる費用		0	0%	11	39%	43	27%	19	9%	19	22%
	児童手当の増額		0	0%	21	75%	115	73%	98	48%	42	48%
	扶養控除の拡大など納税額の軽減		0	0%	14	50%	63	40%	61	30%	31	35%
	保育料（0～2歳）		0	0%	12	43%	37	24%	15	7%	8	9%
	教育費（小・中・高・大学）		0	0%	18	64%	107	68%	165	81%	69	78%
	中学生の通院医療費（※入院医療費については松江市では既に無償化実施中）		0	0%	3	11%	31	20%	79	39%	25	28%
	高校生の通院・入院医療費		0	0%	0	0%	32	20%	84	41%	34	39%
	その他		0	0%	0	0%	4	3%	13	6%	1	1%

保護者の年齢別の行政に期待する施策は、すべての年代で「経済的支援」が最も多く、次いで「働きながら子育てができる環境の整備」であった。「経済的支援」の具体的な内容は、20代及び30代では「児童手当の増額」が、40代及び50代以上では「教育費」が最多であった。その他の支援では、「税額の軽減」「中学生の通院医療費」が多く、40代以上になると「高校生の通院・入院医療費」が多くなっている。

(2) 保護者の就労状況とのクロス集計

・(問 8) 理想的な子どもの人数とのクロス集計

保護者の就労状況×理想の子どもの人数	【父親】 フルタイム 【母親】 フルタイム		【父親】 フルタイム 【母親】 パート等		【母親】 フルタイム (ひとり親)		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし (予定なし)		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし (予定あり)		【母親】 パート等 (ひとり親)		【父親】 フルタイム (ひとり親)		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0人	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	6%
1人	8	2%	5	2%	2	4%	0	0%	1	5%	1	7%	0	0%	1	6%
2人	111	34%	87	40%	19	38%	21	51%	8	40%	7	50%	3	75%	4	25%
3人	152	46%	93	42%	20	40%	13	32%	8	40%	4	29%	1	25%	5	31%
4人	19	6%	10	5%	1	2%	1	2%	1	5%	1	7%	0	0%	2	13%
5人以上	13	4%	6	3%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	6%
わからない	25	8%	19	9%	5	10%	6	15%	2	10%	1	7%	0	0%	2	13%
合計	328	100%	220	100%	50	100%	41	100%	20	100%	14	100%	4	100%	16	100%

・(問 9) 現実的に持つ子どもの人数

保護者の就労状況×現実持つ子どもの人数	【父親】 フルタイム 【母親】 フルタイム		【父親】 フルタイム 【母親】 パート等		【母親】 フルタイム (ひとり親)		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし (予定なし)		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし (予定あり)		【母親】 パート等 (ひとり親)		【父親】 フルタイム (ひとり親)		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0人	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%	1	7%	0	0%	1	6%
1人	43	13%	39	18%	13	26%	12	29%	5	25%	7	50%	2	50%	1	6%
2人	165	50%	109	50%	22	44%	18	44%	9	45%	4	29%	2	50%	6	38%
3人	86	26%	54	25%	10	20%	7	17%	5	25%	1	7%	0	0%	6	38%
4人	18	5%	10	5%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	1	6%
5人以上	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
わからない	15	5%	7	3%	3	6%	2	5%	1	5%	1	7%	0	0%	1	6%
合計	328	100%	220	100%	50	100%	41	100%	20	100%	14	100%	4	100%	16	100%

保護者の就労状況別の理想的だと思う子どもの人数は、全ての就労状況で2人～3人が最多または2番目に多い結果となった。

保護者の就労状況別の現実的に持つ子どもの人数は、共働き世帯（就労予定も含む）では2人～3人が最多または2番目に多い結果となり、父親または母親が就労無し（予定なし）及びひとり親の世帯では、1人～2人が最多または2番目に多い結果となった。

・(問 10-1) 理想の子どもの人数より少ない理由

保護者の就労状況×理想の子どもの人数より少ない理由		【父親】 フルタイム 【母親】 フルタイム		【父親】 フルタイム 【母親】 パート等		【母親】 フルタイム (ひとり親)		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし (予定なし)		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし (予定あり)		【母親】 パート等 (ひとり親)		【父親】 フルタイム (ひとり親)		その他	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(理想的なお子様の人数より) 現実的に持つお子様の人数のほうが少ない		158	—	78	—	19	—	19	—	8	—	6	—	3	—	6	—
選択は3つまで	子育てや教育にお金がかかりすぎる	123	78%	59	76%	17	89%	12	63%	4	50%	5	83%	2	67%	5	83%
	家が狭い	24	15%	9	12%	1	5%	3	16%	1	13%	1	17%	0	0%	1	17%
	自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える	51	32%	19	24%	5	26%	2	11%	0	0%	1	17%	0	0%	1	17%
	健康上の理由	17	11%	10	13%	1	5%	4	21%	1	13%	0	0%	1	33%	2	33%
	子どもがのびのび育つ環境ではない	6	4%	4	5%	0	0%	2	11%	3	38%	1	17%	0	0%	2	33%
	自分や夫婦の生活を大切にしたい	6	4%	4	5%	0	0%	0	0%	1	13%	0	0%	0	0%	0	0%
	高齢での出産に不安がある	29	18%	17	22%	3	16%	8	42%	1	13%	0	0%	0	0%	0	0%
	ほしいけれどもできない	24	15%	9	12%	3	16%	2	11%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	これ以上育児の心理的・肉体的負担に耐えきれない	31	20%	15	19%	3	16%	4	21%	1	13%	2	33%	0	0%	0	0%
	配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない	9	6%	9	12%	0	0%	0	0%	2	25%	0	0%	0	0%	0	0%
配偶者・パートナーが望まない		5	3%	8	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい		8	5%	4	5%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他		8	5%	5	6%	3	16%	1	5%	1	13%	2	33%	0	0%	1	17%

すべての就労状況で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最多であった。

・(問 12) 負担・不安とのクロス集計

保護者の就労状況×負担感		【父親】 フルタイム 【母親】 フルタイム		【父親】 フルタイム 【母親】 パート等		【母親】 フルタイム (ひとり親)		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし (予定なし)		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし (予定あり)		【母親】 パート等 (ひとり親)		【父親】 フルタイム (ひとり親)		その他	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
非常に感じる・どちらかと言えば感じる		251	—	164	—	39	—	32	—	11	—	10	—	3	—	13	—
選択は3つまで	子育てにお金がかかる	209	83%	139	85%	39	100%	23	72%	10	91%	7	70%	3	100%	11	85%
	子育てによる体の疲れが大きい	72	29%	55	34%	7	18%	13	41%	3	27%	2	20%	0	0%	5	38%
	子育ては、なんでも親の責任にされるので、負担を感じる	11	4%	12	7%	1	3%	0	0%	1	9%	1	10%	0	0%	0	0%
	子育てに自信がもてない	18	7%	14	9%	3	8%	3	9%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	親としての責任を果たすことができるか不安	46	18%	28	17%	9	23%	11	34%	3	27%	1	10%	0	0%	4	31%
	子どもの育て方について配偶者や家族と意見が合わない	16	6%	13	8%	0	0%	1	3%	2	18%	0	0%	0	0%	1	8%
	子育ての大変さを、配偶者や家族など身近な人が理解したり協力してくれない	11	4%	12	7%	1	3%	0	0%	1	9%	1	10%	0	0%	0	0%
	仕事と子育ての両立が難しい	132	53%	44	27%	13	33%	1	3%	7	64%	5	50%	2	67%	3	23%
	自分の自由な時間が持てない	54	22%	29	18%	10	26%	3	9%	2	18%	2	20%	0	0%	1	8%
	夫婦で楽しむ時間が持てない	8	3%	8	5%	0	0%	2	6%	0	0%	0	0%	0	0%	1	8%
	近所に子どもの遊び友だちがいない	9	4%	8	5%	1	3%	1	3%	1	9%	0	0%	0	0%	2	15%
その他		8	3%	11	7%	3	8%	2	6%	0	0%	1	10%	1	33%	2	15%

すべての就労状況で「子育てにお金がかかる」が最多であった。次いで、「仕事と子育ての両立が難しい」「子育てによる体の疲れが大きい」という理由が多くみられる。

「仕事と子育ての両立が難しい」を選択した共働き世帯について、両親ともにフルタイムの世帯では 53%となっているが、父親がフルタイムで母親がパート等の世帯では 27%となっており、同理由が就労状況へ影響を及ぼしている可能性が示唆される。

・(問 14) 行政に期待する施策

保護者の就労状況×行政に期待する施策（選択は5つまで）	【父親】 フルタイム 【母親】 フルタイム		【父親】 フルタイム 【母親】 パート等		【母親】 フルタイム （ひとり親）		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし （予定なし）		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし （予定あり）		【母親】 パート等 （ひとり親）		【父親】 フルタイム （ひとり親）		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
こどもを産み育てていくために必要な経済的支援	217	18%	153	20%	40	23%	26	19%	14	21%	11	22%	3	23%	12	26%
働きながら子育てができる環境の整備のための取組	199	17%	107	14%	28	16%	11	8%	6	9%	9	18%	2	15%	6	13%
教育環境の充実	103	9%	68	9%	17	10%	11	8%	2	3%	4	8%	0	0%	7	15%
医療体制の充実	129	11%	90	12%	24	14%	17	13%	5	7%	5	10%	2	15%	4	9%
学校への移動手段（公共交通機関）の充実	38	3%	23	3%	7	4%	5	4%	3	4%	1	2%	0	0%	0	0%
配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）の推進	28	2%	35	5%	4	2%	5	4%	4	6%	1	2%	0	0%	2	4%
親族のサポート（家事・育児）の推進	6	0%	7	1%	1	1%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
地域のサポート（みまもりなど）の推進	22	2%	16	2%	0	0%	4	3%	0	0%	1	2%	0	0%	3	7%
不妊対策（経済的支援、周囲の理解、仕事との両立）	32	3%	8	1%	2	1%	3	2%	4	6%	0	0%	0	0%	1	2%
親が子育てから解放されてリフレッシュできる居場所の確保	30	2%	18	2%	4	2%	7	5%	3	4%	1	2%	0	0%	0	0%
保育サービスや放課後児童対策（放課後児童クラブ等）の充実	102	8%	56	7%	14	8%	9	7%	6	9%	4	8%	2	15%	2	4%
病児保育施設の増設	45	4%	23	3%	7	4%	2	1%	2	3%	3	6%	0	0%	0	0%
子育てに関する相談・指導の充実	15	1%	14	2%	5	3%	1	1%	0	0%	1	2%	1	8%	0	0%
子育てサロンやつどいの広場など、親子が気軽に安心して集まれる身近な場の充実	14	1%	5	1%	1	1%	3	2%	5	7%	2	4%	0	0%	1	2%
天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実	127	11%	79	11%	9	5%	15	11%	7	10%	3	6%	1	8%	3	7%
社会全体で子育てを応援する意識を高める取組	44	4%	24	3%	6	3%	6	4%	3	4%	3	6%	0	0%	2	4%
親子で参加できるイベントの開催	26	2%	9	1%	1	1%	6	4%	3	4%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	16	1%	11	1%	4	2%	1	1%	1	1%	0	0%	2	15%	2	4%
特になし（問15へお進みください）	9	1%	5	1%	0	0%	3	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
合計	1,202	100%	751	100%	174	100%	135	100%	68	100%	50	100%	13	100%	46	100%

・(問 14-1) 期待する経済的支援施策

保護者の就労状況×経済的支援	【父親】 フルタイム 【母親】 フルタイム		【父親】 フルタイム 【母親】 パート等		【母親】 フルタイム （ひとり親）		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし （予定なし）		【父親】 フルタイム 【母親】 就労なし （予定あり）		【母親】 パート等 （ひとり親）		【父親】 フルタイム （ひとり親）		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
こどもを産み育てていくために必要な経済的支援	217	-	153	-	40	-	26	-	14	-	11	-	3	-	12	-
選択は3つまで 妊娠・出産にかかる費用	41	19%	26	17%	8	20%	6	23%	5	36%	3	27%	0	0%	3	25%
児童手当の増額	132	61%	81	53%	20	50%	16	62%	10	71%	8	73%	3	100%	6	50%
扶養控除の拡大など納税額の軽減	74	34%	57	37%	9	23%	10	38%	7	50%	3	27%	2	67%	7	58%
保育料（0～2歳）	45	21%	20	13%	1	3%	1	4%	2	14%	2	18%	0	0%	1	8%
教育費（小・中・高・大学）	156	72%	125	82%	34	85%	17	65%	9	64%	9	82%	3	100%	6	50%
中学生の通院医療費（※入院医療費については松江市では既に無償化実施中）	77	35%	42	27%	5	13%	8	31%	4	29%	1	9%	0	0%	1	8%
高校生の通院・入院医療費	65	30%	46	30%	18	45%	10	38%	4	29%	2	18%	1	33%	4	33%
その他	7	3%	5	3%	5	13%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	8%

行政に期待する施策は、すべての就労状況で「経済的支援」が最多であった。

「経済的支援」の具体的な内容は、就労状況問わず「教育費」が最多であった。その他の支援では、「児童手当の増額」や「中学生の通院医療費、高校生の通院・入院医療費」が就労状況問わず多くなっている。

(3) 子どもの年齢とのクロス集計

・(問8) 理想的な子どもの人数とのクロス集計

子どもの年齢×理想の子どもの人数	0～5歳		6～12歳		13～18歳	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0人	0	0%	2	1%	0	0%
1人	2	1%	10	4%	6	3%
2人	92	41%	91	36%	77	35%
3人	89	40%	110	44%	97	45%
4人	16	7%	8	3%	11	5%
5人以上	11	5%	6	2%	5	2%
わからない	15	7%	24	10%	21	10%
合計	225	100%	251	100%	217	100%

・(問9) 現実的に持つ子どもの人数

子どもの年齢×現実的に持つ子どもの人数	0～5歳		6～12歳		13～18歳	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
0人	0	0%	2	1%	2	1%
1人	35	16%	52	21%	35	16%
2人	114	51%	117	47%	104	48%
3人	48	21%	56	22%	65	30%
4人	14	6%	12	5%	5	2%
5人以上	1	0%	1	0%	0	0%
わからない	13	6%	11	4%	6	3%
合計	225	100%	251	100%	217	100%

子どもの年齢別の理想的だと思う子どもの人数は、すべての年代で2人～3人が最多または2番目に多い結果となった。
 子どもの年齢別の現実的に持つ子どもの人数は、すべての年代で2人が最多であった。

・(問 10-1) 理想の子どもの人数より少ない理由

子どもの年齢×理想の子どもの人数より少ない理由		0～5歳		6～12歳		13～18歳	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(理想的なお子様の人数より) 現実的に持つお子様の人数のほうが少ない		115	-	102	-	80	-
選択は3つまで	子育てや教育にお金がかかりすぎる	102	89%	68	67%	57	71%
	家が狭い	18	16%	13	13%	9	11%
	自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える	35	30%	26	25%	18	23%
	健康上の理由	10	9%	15	15%	11	14%
	子どもがのびのび育つ環境ではない	11	10%	5	5%	2	3%
	自分や夫婦の生活を大切にしたい	8	7%	2	2%	1	1%
	高齢での出産に不安がある	17	15%	30	29%	11	14%
	ほしいけれどもできない	10	9%	16	16%	12	15%
	これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えきれない	22	19%	23	23%	11	14%
	配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない	7	6%	7	7%	6	8%
	配偶者・パートナーが望まない	5	4%	2	2%	6	8%
	末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい	5	4%	6	6%	2	3%
その他		10	9%	5	5%	6	8%

すべての年代で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最多であった。

次いで多い理由は 6～12 歳の年代では「高齢での出産に不安がある」であり、その他の年代では「自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える」であった。

・(問 12) 負担・不安とのクロス集計

子どもの年齢×負担感		0～5歳		6～12歳		13～18歳	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
非常に感じる・どちらかと言えば感じる		178	-	198	-	147	-
選択は3つまで	子育てにお金がかかる	145	81%	168	85%	128	87%
	子育てによる体の疲れが大きい	78	44%	55	28%	24	16%
	子育ては、なんでも親の責任にされるので、負担を感じる	12	7%	24	12%	14	10%
	子育てに自信がもてない	12	7%	18	9%	8	5%
	親としての責任を果たすことができるか不安	27	15%	40	20%	35	24%
	子どもの育て方について配偶者や家族と意見が合わない	11	6%	9	5%	13	9%
	子育ての大変さを、配偶者や家族など身近な人が理解したり協力してくれない	5	3%	14	7%	7	5%
	仕事と子育ての両立が難しい	88	49%	71	36%	48	33%
	自分の自由な時間が持てない	46	26%	34	17%	21	14%
	夫婦で楽しむ時間が持てない	6	3%	8	4%	5	3%
	近所に子どもの遊び友だちがいない	9	5%	12	6%	1	1%
	その他	9	5%	12	6%	7	5%

すべての就労状況で「子育てにお金がかかる」が最多であった。次いで、「仕事と子育ての両立が難しい」という理由が多くみられる。

「子育てによる体の疲れが大きい」「自分の自由な時間が持てない」を選択した割合については、0～5歳の年代が最も高く、年代が上がるにつれて低くなっている。

・(問 14) 行政に期待する施策

子どもの年齢×行政に期待する施策（選択は5つまで）	0～5歳		6～12歳		13～18歳	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
こどもを産み育てていくために必要な経済的支援	169	19%	168	20%	139	20%
働きながら子育てができる環境の整備のための取組	145	16%	122	14%	101	15%
教育環境の充実	59	7%	79	9%	74	11%
医療体制の充実	60	7%	120	14%	96	14%
学校への移動手段（公共交通機関）の充実	17	2%	27	3%	33	5%
配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）の推進	31	3%	26	3%	22	3%
親族のサポート（家事・育児）の推進	3	0%	5	1%	7	1%
地域のサポート（みまもりなど）の推進	18	2%	17	2%	11	2%
不妊対策（経済的支援、周囲の理解、仕事との両立）	19	2%	15	2%	16	2%
親が子育てから解放されてリフレッシュできる居場所の確保	33	4%	21	2%	9	1%
保育サービスや放課後児童対策（放課後児童クラブ等）の充実	86	10%	69	8%	40	6%
病児保育施設の増設	31	3%	19	2%	32	5%
子育てに関する相談・指導の充実	11	1%	13	2%	13	2%
子育てサロンやつどいの広場など、親子が気軽に安心して集まれる身近な場の充実	17	2%	7	1%	7	1%
天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実	122	14%	92	11%	30	4%
社会全体で子育てを応援する意識を高める取組	33	4%	28	3%	27	4%
親子で参加できるイベントの開催	23	3%	17	2%	5	1%
その他	12	1%	9	1%	16	2%
特になし（問15へお進みください）	2	0%	7	1%	9	1%
合計	891	100%	861	100%	687	100%

・(問 14-1) 期待する経済的支援施策

子どもの年齢×経済的支援	0～5歳		6～12歳		13～18歳	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
こどもを産み育てていくために必要な経済的支援	169	-	168	-	139	-
選択は3つまで 妊娠・出産にかかる費用	50	30%	17	10%	25	18%
児童手当の増額	126	75%	98	58%	52	37%
扶養控除の拡大など納税額の軽減	75	44%	54	32%	40	29%
保育料（0～2歳）	56	33%	7	4%	9	6%
教育費（小・中・高・大学）	104	62%	141	84%	114	82%
中学生の通院医療費（※入院医療費については松江市では既に無償化実施中）	26	15%	69	41%	43	31%
高校生の通院・入院医療費	22	13%	64	38%	64	46%
その他	7	4%	5	3%	6	4%

行政に期待する施策は、すべての年代で「経済的支援」が最多であった。

「経済的支援」の具体的な内容は、0～5歳では「児童手当の増額」が、6歳以上では「教育費」が最多であった。その他、年代が上がるにつれて「保育料」が少なくなり、「中学生の通院医療費、高校生の通院・入院医療費」が多くなっている。

(4) 子どもの人数とのクロス集計

・(問8) 理想的な子どもの人数とのクロス集計

子どもの人数×理想の子どもの人数		現状の子どもの人数											
		0人		1人		2人		3人		4人		5人以上	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
理想 の 人 数	0人	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
	1人	0	0%	15	9%	2	1%	1	1%	0	0%	0	0%
	2人	1	100%	98	56%	141	46%	17	10%	3	8%	0	0%
	3人	0	0%	45	26%	132	43%	108	64%	10	26%	1	17%
	4人	0	0%	2	1%	10	3%	12	7%	10	26%	1	17%
	5人以上	0	0%	3	2%	6	2%	6	4%	6	15%	1	17%
	わからない	0	0%	10	6%	13	4%	24	14%	10	26%	3	50%
合計		1	100%	174	100%	304	100%	169	100%	39	100%	6	100%

・(問9) 現実的に持つ子どもの人数

子どもの人数×現実持つ子どもの人数		現状の子どもの人数											
		0人		1人		2人		3人		4人		5人以上	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
現実 の 人 数	0人	0	0%	3	2%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
	1人	1	100%	112	64%	6	2%	2	1%	1	3%	0	0%
	2人	0	0%	42	24%	280	92%	7	4%	6	15%	0	0%
	3人	0	0%	6	3%	12	4%	147	87%	3	8%	1	17%
	4人	0	0%	1	1%	0	0%	4	2%	26	67%	0	0%
	5人以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	33%
	わからない	0	0%	10	6%	6	2%	8	5%	3	8%	3	50%
合計		1	100%	174	100%	304	100%	169	100%	39	100%	6	100%

子どもの人数別の理想的だと思う子どもの人数は、現状の子どもの人数が1人の方では「2人」が56%で、「3人」が26%と、過半数の方が現状より多い人数を理想的であると回答している。

子どもの人数別の現実的に持つ子どもの人数は、現状の子どもの人数が1人～4人の場合において、過半数を超える方が現状と同数が現実的であると回答している。

・(問 10-1) 理想の子どもの人数より少ない理由

子どもの人数×理想の子どもの人数より少ない理由		0人		1人		2人		3人		4人		5人以上	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(理想なお子様の人数より) 現実的に持つお子様の人数のほうが少ない		1	-	121	-	150	-	17	-	7	-	1	-
選択は3つまで	子育てや教育にお金がかかりすぎる	1	100%	85	70%	119	79%	15	88%	6	86%	1	100%
	家が狭い	1	100%	15	12%	17	11%	3	18%	3	43%	1	100%
	自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える	0	0%	28	23%	42	28%	5	29%	4	57%	0	0%
	健康上の理由	0	0%	14	12%	20	13%	2	12%	0	0%	0	0%
	子どもがのびのび育つ環境ではない	0	0%	10	8%	7	5%	0	0%	0	0%	1	100%
	自分や夫婦の生活を大切にしたい	0	0%	5	4%	4	3%	2	12%	0	0%	0	0%
	高齢での出産に不安がある	0	0%	18	15%	37	25%	3	18%	0	0%	0	0%
	ほしいけれどもできない	0	0%	26	21%	12	8%	0	0%	0	0%	0	0%
	これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えきれない	1	100%	16	13%	34	23%	3	18%	2	29%	0	0%
	配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない	0	0%	4	3%	13	9%	3	18%	0	0%	0	0%
	配偶者・パートナーが望まない	0	0%	5	4%	6	4%	2	12%	0	0%	0	0%
	末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい	0	0%	3	2%	6	4%	2	12%	2	29%	0	0%
	その他	0	0%	13	11%	7	5%	1	6%	0	0%	0	0%

1人から4人のいずれの場合においても「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最多、次いで「自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える」が多いという結果であった。

・(問 12) 負担・不安とのクロス集計

子どもの人数×負担感		0人		1人		2人		3人		4人		5人以上	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
非常に感じる・どちらかと言えば感じる		1	-	140	-	228	-	119	-	30	-	5	-
選択は3つまで	子育てにお金がかかる	1	100%	116	83%	184	81%	107	90%	29	97%	4	80%
	子育てによる体の疲れが大きい	0	0%	47	34%	73	32%	28	24%	8	27%	1	20%
	子育ては、なんでも親の責任にされるので、負担を感じる	0	0%	9	6%	21	9%	17	14%	1	3%	2	40%
	子育てに自信がもてない	0	0%	12	9%	21	9%	5	4%	0	0%	0	0%
	親としての責任を果たすことができるか不安	0	0%	30	21%	49	21%	16	13%	6	20%	1	20%
	子どもの育て方について配偶者や家族と意見が合わない	0	0%	6	4%	20	9%	6	5%	1	3%	0	0%
	子育ての大変さを、配偶者や家族など身近な人が理解したり協力してくれない	0	0%	7	5%	10	4%	7	6%	2	7%	0	0%
	仕事と子育ての両立が難しい	0	0%	70	50%	91	40%	37	31%	8	27%	1	20%
	自分の自由な時間が持てない	0	0%	24	17%	50	22%	19	16%	6	20%	2	40%
	夫婦で楽しむ時間が持てない	0	0%	7	5%	7	3%	4	3%	1	3%	0	0%
	近所に子どもの遊び友だちがいない	0	0%	5	4%	11	5%	5	4%	1	3%	0	0%
	その他	0	0%	12	9%	6	3%	8	7%	1	3%	1	20%

1人から4人のいずれの場合においても「子育てにお金がかかる」が最多であった。次いで、「仕事と子育ての両立が難しい」という理由が多くみられるが、子どもの人数が多くなるにつれて割合が低くなっている。

・(問 14) 行政に期待する施策

子どもの人数×行政に期待する施策（選択は5つまで）	0人		1人		2人		3人		4人		5人以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
こどもを産み育てていくために必要な経済的支援	1	20%	122	19%	205	19%	117	21%	26	18%	5	25%
働きながら子育てができる環境の整備のための取組	1	20%	102	16%	152	14%	87	16%	23	16%	3	15%
教育環境の充実	0	0%	50	8%	106	10%	44	8%	11	8%	1	5%
医療体制の充実	0	0%	53	8%	122	11%	79	14%	20	14%	2	10%
学校への移動手段（公共交通機関）の充実	0	0%	17	3%	40	4%	18	3%	2	1%	0	0%
配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）の推進	0	0%	17	3%	39	4%	15	3%	7	5%	1	5%
親族のサポート（家事・育児）の推進	0	0%	2	0%	12	1%	1	0%	0	0%	0	0%
地域のサポート（みまもりなど）の推進	1	20%	13	2%	16	1%	12	2%	4	3%	0	0%
不妊対策（経済的支援、周囲の理解、仕事との両立）	1	20%	20	3%	16	1%	12	2%	1	1%	0	0%
親が子育てから解放されてリフレッシュできる居場所の確保	0	0%	20	3%	31	3%	5	1%	4	3%	3	15%
保育サービスや放課後児童対策（放課後児童クラブ等）の充実	0	0%	65	10%	80	7%	38	7%	11	8%	1	5%
病児保育施設の増設	0	0%	20	3%	35	3%	21	4%	6	4%	0	0%
子育てに関する相談・指導の充実	0	0%	15	2%	18	2%	4	1%	0	0%	0	0%
子育てサロンやつどいの広場など、親子が気軽に安心して集まれる身近な場の充実	0	0%	17	3%	8	1%	4	1%	1	1%	1	5%
天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実	0	0%	66	10%	119	11%	40	7%	19	13%	0	0%
社会全体で子育てを応援する意識を高める取組	1	20%	22	3%	34	3%	27	5%	4	3%	0	0%
親子で参加できるイベントの開催	0	0%	14	2%	19	2%	8	1%	3	2%	1	5%
その他	0	0%	12	2%	14	1%	6	1%	4	3%	1	5%
特になし（問15へお進みください）	0	0%	2	0%	7	1%	8	1%	0	0%	1	5%
合計	5	100%	649	100%	1,073	100%	546	100%	146	100%	20	100%

・(問 14-1) 期待する経済的支援施策

子どもの人数×経済的支援	0人		1人		2人		3人		4人		5人以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
こどもを産み育てていくために必要な経済的支援	1	-	122	-	205	-	117	-	26	-	5	-
選択は3つまで 妊娠・出産にかかる費用	0	0%	41	34%	32	16%	14	12%	4	15%	1	20%
児童手当の増額	1	100%	77	63%	118	58%	61	52%	15	58%	4	80%
扶養控除の拡大など納税額の軽減	0	0%	46	38%	66	32%	45	38%	9	35%	3	60%
保育料（0～2歳）	0	0%	35	29%	29	14%	5	4%	2	8%	1	20%
教育費（小・中・高・大学）	0	0%	81	66%	157	77%	96	82%	23	88%	2	40%
中学生の通院医療費（※入院医療費については松江市では既に無償化実施中）	1	100%	23	19%	60	29%	42	36%	9	35%	3	60%
高校生の通院・入院医療費	1	100%	25	20%	75	37%	43	37%	5	19%	1	20%
その他	0	0%	4	3%	8	4%	6	5%	0	0%	0	0%

行政に期待する施策は、1人以上のいずれの場合においても「経済的支援」が最多であった。

「経済的支援」の具体的な内容は、1人以上のいずれの場合においても「教育費」が最多であった。その他、「児童手当の増額」が多い。

4 まとめ

(1) 本市の人口動態について

- ・我が国における令和4年の出生数は77万747人で、前年の81万1622人より4万875人減少し、統計開始以来、初の80万人割れとなった。(厚生労働省人口動態統計)
- ・松江市における令和4年の出生数は1,441人で、前年の1,482人より41人減少し、国の傾向と同様に減少傾向が続いている。

(2) 集計結果について

- ・本調査では、松江市内に居住する0～18歳(R5.7月末時点)の市民1,500人を抽出し、その保護者等に対してしまね電子申請サービスによる回答を依頼したところ693件の回答が得られた。
- ・回答者の約8割が母親であり、約2割が父親によるものであった。
- ・回答者の家族構成については、約7割の世帯が「子ども(きょうだい含む)と両親」であった。
- ・回答者の年代は、「40代」が45%、「30代」が30%、「50代以上」が20%、「20代」が4%であった。
- ・回答者世帯の父親と母親の就労状況の組み合わせで最も多かったのは、「両親ともフルタイム」の47%であった。
- ・家事や育児などを日常的に頼める人の有無については約6割が「いる」という回答であった。
- ・回答者世帯の現在の子どもの人数は、「2人」が44%、「1人」が25%、「3人」が24%となった。
- ・理想的な子どもの人数と現実的に持つ子どもの人数の比較については、約4割が「現実的に持つ人数のほうが少ない」と回答した。
- ・同一回答者による理想的な子どもの人数と現実的に持つ子どもの組み合わせは、多い順に、「理想と現実どちらも2人」が24%、「理想が3人で現実が2人」が21%、「理想が3人で現実が3人」が17%となり、6割を超える回答者が複数人数の子どもの理想としている。
- ・理想的な子どもの人数より現実的に持つ子どもの人数のほうが少ない理由については、多い順に、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が36%、「自分や配偶者・パートナーの仕事に差し支える」が13%であった。
- ・子育てに負担や不安を感じるかについては、「非常に感じる」「どちらかといえば感じる」の合計は76%と多くの回答者が負担や不安を感じている結果となった。また、どのような負担や不安を感じるかについては、多い順に、「子育てにお金がかかる」が36%、「仕事と子育ての両立が難しい」が17%であった。
- ・子どもを安心して生み育てられる環境の充実のために、行政にどのような施策を期待するかについては、多い順に、「こどもを産み育てていくために必要な経済的支援」が20%、「働きながら子育てができる環境の整備のための取組」が15%であった。
- ・経済的な負担の軽減を期待すると回答した人のうち、特にどの経済的支援を充実するべきだと思うかについては、多い順に、「教育費(小・中・高・大学)」が28%、「児童手当の増額」が22%、「扶養控除の拡大など納税額の軽減」が13%となった。また、選択肢に附随する自由記述の回答数を集計した結果、「中高生の医療費無償化等」に分類される記述が最も多い結果となった。
- ・以上から「経済的な負担の軽減」「仕事と子育ての両立」に資する施策、特に経済的な負担の軽減については、中高生まで見据えた長期的な施策への高い需要が伺える結果となった。

5 自由記述

問14「子どもを安心して生み育てられる環境の充実のために、行政にどのような施策を期待しますか。」の選択肢別の自由記述回答数

各選択肢と自由記述の分類	分類別 回答数	掲載 ページ	各選択肢と自由記述の分類	分類別 回答数	掲載 ページ
問14-2-①【経済的負担の軽減】	18		問14-2-⑪【保育サービスや放課後児童対策の充実】	102	
給食費	4	27	施設・定員の増加	24	62
教育費	3	27	対象年齢の引き上げ	15	63
医療・福祉	2	27	入所条件	14	64
医療費	2	27	利用時間	11	65
所得・納税に関する内容	2	27	多様な居場所・預け先	8	65
支援全般	5	27	内容の拡充	7	65
問14-2-②【働きながら子育てができる環境の整備】	197		放課後・長期休暇の居場所	6	66
職場環境・休暇制度	55	27	一時預かり・休日保育	4	66
保育所環境	29	30	利用料	3	67
機運醸成	24	32	福祉・療育支援	2	67
病児保育	22	34	労働環境の改善	2	67
経済的支援	19	35	利用方法	1	67
児童クラブ	12	36	総合的な内容	5	67
居場所づくり	5	36	問14-2-⑫【病児保育施設の増設】	39	
長期休業・課外活動・習い事	4	37	施設・定員の増加	16	67
福祉・療育支援	2	37	利用方法の簡素化	7	68
社会インフラ	1	37	利用時間	6	68
保護者支援	1	37	利用しやすい制度・環境づくり	4	69
幼稚園環境	1	37	仕事と子育ての両立	2	69
総合的な内容	22	37	利用方法の周知	2	69
問14-2-③【教育環境の充実】	124		対象年齢の引き上げ	1	69
経済的支援	24	39	利用料	1	69
教育の質・量	19	40	問14-2-⑬【子育てに関する相談・指導の充実】	14	
教育内容	14	41	利用しやすい相談窓口とその周知	6	69
教職員の労働環境	13	42	子どもの成長に応じた切れ目のない相談支援	4	70
施設	10	43	専門職員への研修	1	70
学習支援	10	43	休日の相談・教室	1	70
課外活動	7	44	養育費	1	70
学習環境	3	44	総合的な内容	1	70
長期休業	1	44	問14-2-⑭【親子が気軽に安心して集まれる身近な場の充実】	12	
学校の再編	1	44	子育て支援センター	4	70
総合的な内容	22	44	公園	2	70
問14-2-④【医療体制の充実】	144		親同士の交流	1	70
中高生の医療費無償化等	97	46	既存施設の利活用	1	71
医療費全般	13	50	子どもの成長に応じて参加できる場	1	71
休日・夜間診療の拡充	11	51	情報発信	1	71
医療機関の施設増	6	51	駐車場	1	71
受診に係る負担軽減	3	51	利用料	1	71
病児保育	2	51	問14-2-⑮【天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実】	159	
ワクチンの無償化	2	51	体を動かせる場	33	71
制度の周知	1	51	屋内の遊び場全般	30	72
待ち時間の縮減	1	52	年齢に応じた遊びができる場	26	74
総合的な内容	8	52	複合施設	15	75
問14-2-⑤【学校への移動手段の充実】	52		屋根付きの公園・広場	10	76
通学支援	21	52	文化施設・体験施設	9	76
路線バス	13	53	既存施設の利活用	8	77
悪天候時の通学	6	54	子育て支援センター・児童館	6	77
電車とバスの乗り継ぎ	5	54	無料	2	78
安全対策	3	54	情報発信	1	78
登下校時の持ち物	1	55	木育	1	78
総合的な内容	3	55	親子での利用に配慮した施設	1	78
問14-2-⑥【配偶者・パートナーのサポートの推進】	39		総合的な内容	17	78
家事・育児分担	16	55	問14-2-⑯【社会全体で子育てを応援する意識を高める取組】	39	
職場環境・働き方	8	56	社会全体で子育てを応援する機運の醸成	14	79
男性の育児	7	56	親族以外の人との関わり	4	80
家事・育児負担軽減	1	57	経済的支援	3	80
経済的支援	1	57	親子で出かけやすい環境づくり	2	80
総合的な内容	3	57	企業への支援・休暇制度	2	81
問14-2-⑦【親族のサポートの推進】	4		子育てをしていない人への支援	2	81
経済的支援	1	57	地域との関わり	2	81
休暇制度	1	57	学校との関わり	1	81
総合的な内容	2	57	好事例の横展開	1	81
問14-2-⑧【地域のサポートの推進】	16		子どもの人権の尊重	1	81
安全対策	6	57	仕事と子育ての両立	1	81
居場所づくり	4	58	職業体験	1	81
交通の利便性	2	58	相互理解	1	81
子育て支援	2	58	相談支援	1	81
機運醸成	1	58	父親の理解促進	1	81
児童クラブ	1	58	労働環境	1	81
問14-2-⑨【不妊対策】	22		総合的な内容	1	81
経済的支援	14	58	問14-2-⑰【親子で参加できるイベントの開催】	20	
機運醸成	1	59	親子参加	3	82
休暇制度	1	59	自然	3	82
相談支援	1	59	音楽・芸術	2	82
総合的な内容	5	59	スポーツ	2	82
問14-2-⑩【親がリフレッシュできる居場所】	35		料理	2	82
子どもを預けられる場所・サービス	15	60	年齢に応じた内容	2	82
子どもと一緒に出かけられる場所・機会	7	61	複数学年	1	82
家事・育児負担軽減	4	61	情報発信	1	82
屋内の遊び場	2	61	体験	1	82
サービス券	2	61	地域資源	1	82
制度改正	2	61	フリーマーケット	1	82
経済的支援	1	61	総合的な内容	1	82
所得の向上	1	62			
総合的な内容	1	62			

※自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除修正した。

問 14-2-① 経済的負担の軽減に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
給食費	給食費の無償化	男性(40代)・3人
	給食費負担軽減	女性(40代)・3人
	給食費の無料化	女性(30代)・1人
	小学校にいったら教材費、給食費。負担がでかいです。給食費無料にしてもらえたら助かるなと思います。	女性(30代)・2人
教育費	大学の無償化	女性(40代)・2人
	学費無償化	女性(40代)・2人
	学費無償化、母子家庭でも収入の多い祖父と同居しているだけで生計は別々なのに扶養手当がもらえない。仕事がしたくても祖父母の介護で仕事ができない場合についても祖父母の一時的な不動産収入が理由で扶養手当がもらえなくて大変な思いをした。	女性(40代)・1人
	障がいのある子どもを育てていて、生活のためにフルタイムで働きたいが働けない。ほかの兄弟の学費や仕送りで家計が逼迫している。将来に備えた貯蓄も不可能。親の出番が多い障がい児世帯が安心して暮らせるよう、特児手当に上乗せして独自の支援をしてほしい。	女性(40代)・3人
医療・福祉	子供によって、病気を持っていたり、とても健康であったり、大きくなると特に差が出てくる。一定額は負担でもいいのである程度補助してもらえるといい	女性(40代)・2人
	義務教育後の費用負担が多いため、18歳までの医療費無償化を希望します。江津市は無償化をしている市もある。	男性(40代)・3人
医療費	中学卒業まで医療費無料にして欲しい。	男性(40代)・3人
	松江市の賃金をあげる	女性(40代)・1人
所得・納税に関する内容	減税	女性(30代)・2人
	児童手当の所得制限の撤廃	女性(40代)・2人
支援全般	子供一人あたり2千万ぐらいの(トータル)助成金。将来的に納税でペイ(1人あたりの生涯の納税額)できるはず。	男性(30代)・1人
	所得制限のないひとり親支援	女性(40代)・3人
	小学通学定期券減免条件ギリギリ入らないため負担多い	女性(40代)・2人
	保育園に通わない選択をした場合でも同様の保育料支援	女性(50代以上)・2人

問 14-2-② 働きながら子育てのできる環境の整備に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
職場環境・休暇制度	子どもの急な病気で仕事を休む時の特別休暇	女性(30代)・2人
	在宅ワークが出来る仕事の増加	女性(40代)・4人
	子の看護休暇を小学6年生までにしてほしい。	女性(40代)・1人
	育休や就学児童の看護休暇などが、無給または制度がないので、子育てや子の看護で休まなくてはならないときに、減給にならないような仕組みがあったらいいと思う。	女性(40代)・1人
	特別休暇を増やしてほしい[公務員です]	男性(30代)・1人
	子育てにかかる休暇取得の啓発・推進	男性(50代以上)・1人
	保育所・学童保育等、預け先の充実	女性(40代)・3人
	労働時間を自由に選択できる	男性(30代)・1人
	すべての職場に時間休を設けてほしい	女性(40代)・2人
	送迎時間に合うような勤務時間の調整	
	育児休暇を取りやすい会社の環境	
	小学校の朝の受け入れ時間を早める(朝登校班の集会場所まで送り、保育園に預けて仕事に行くと、始業時間に間に合わず、時短を取らざるを得ない。時短が取れる期間をすぎると仕事を続けることができないため)	

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
職場環境 ・ 休暇制度	時短勤務の推進 在宅ワークの推進	女性(40代)・4人
	子供が体調を崩したときや、参観日等の日に仕事を休むことができる環境整備 その他、働いていても子供に関わりやすい環境の整備	女性(40代)・2人
	転勤族の主婦向けの働きやすい職場の提案があったらいいと思う。 転勤族だと、周りに頼れる親族が少ないことが多い。 子供が熱を出すと仕事には行けず、迷惑をかける前提で仕事を探しにくい。またそういった子供の急な病気で早速に対応してもらえる、頼れる場所が欲しい。	女性(40代)・2人
	父母が残業をせず、17-18時には仕事を終え帰宅できるようになれば良いと思う。時短勤務では経済的に厳しく、共働きでもほぼ母親が定時帰宅をして、1人で家を回す現場は母親の体力気力頼みになっている。 学童の充実。狭い学童に定員いっぱいになっており目が届きにくくトラブルが起きて辞める子が多い。学童を辞められると親も家に居ざるを得ない。	女性(30代)・2人
	長時間労働を減らす。	女性(50代以上)・2人
	夫婦お互いに子供の体調が悪いときの休みの充実	女性(40代)・4人
	時短勤務の有休化	男性(30代)・1人
	柔軟な働き方ができる企業、雇用形態がたくさんあるとよい。	女性(40代)・3人
	職場へ、社会全体で子育てしていく必要があることを市から提言して欲しいです。私は2人目超高齢出産で、看護師として働いています。1人目が小さかった頃と比べれば、今は夜勤もすぐには付けられないしすごく子育てしやすくなっていると思います。でも、今の若い後輩たちは病後児保育が整ってきたことで、保育所から発熱で職場に電話があると、なぜ朝から病後児に預けなかったのかという無言の圧力にさらされている気がします。仕事を優先したい人は病後児保育を利用したらいいけれど、土日・祭日勤務や夜勤もあるのに、病気の時くらいは子供を優先したい人達は迎えに行く選択をしても許されるように市報などで広報活動して欲しいです。	女性(50代以上)・2人
	子供が熱を出したりすると迎えに行かなければならず有給休暇も足りなくなるような状態です。 職場の人手も足りておらず休むことへの申し訳なさに加え、上記のように急な休みが多いと仕事のスケジュールも入れにくくなり、他の人への負担も心配です。 休みが取りやすくなる制度の整備もですが、人がいて休みやすい職場も大切だと思います。	女性(30代)・2人
	時短勤務の充実。	女性(30代)・3人
	時短勤務や、勤務日数が少なく働けたり、長期休暇中は柔軟な対応をしてもらえるなど、様々な働き方が選択できる職場を増やしてほしい。 現状では子育てと両立できる職場が少なく、絞り込んで行くと、コールセンターのみになる話をよく聞く。	女性(40代)・3人
	いくら行政が良い制度を設けてくれても、企業側の理解が今一つで、結局子育て世代が、仕事をセーブしたり、気まずい思いをしている。親の親世代(子どもから見ると祖父母)、「今は良いねえ」「そんな事で休む?」等、経験されてきたからこそ分かったり、乗りこえられた経験から、大したことないよという意味合いでの発言だろうけど、今の時代の考えに合っておらず、働きながらという選択が難しいと思えた時期があった。	女性(40代)・1人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
職場環境 ・ 休暇制度	仕事を休みやすい環境が必要だと思います。	女性(40代)・3人
	中小企業でも学校行事や病欠時に仕事が休める環境	女性(50代以上)・2人
	子どもの病気などで仕事を休むときの代替の職員の確保(職員の増員)	女性(40代)・2人
	子どもの看病や行事などの際の有給休暇のとりやすさ。職場によっての理解度にも差があると思うので、企業に対しての指導やルール作りをしてほしい。	女性(30代)・2人
	未就学児は法で定められている看護休暇が適用されるが、使用できるのが看護や予防接種と限定された使い道しかなく、そもそも小学生からは適用されないことが多いため、保育園・学校行事等で休みを取ると、自分の通院や用事での年次有給休暇取得がためらわれる。小学生以上の子に対する、有給での育児関連休暇制度を設けている企業への助成金支給があると、欠勤控除を恐れずに年次有給休暇の取得ができると思う。(制度制定時の一時的なものではなく、恒常的な助成金支給でないと企業は選択しないと思われる)	女性(30代)・2人
	地方企業の慢性的な人手不足により、子どもが発熱したときなど仕事をすぐに休めない状況があったり休むことが心苦しく感じる。行政に対しては、まずは地方の人口流出を阻止して地方企業の人手不足を解消していくような取組を期待している。その結果が働きながら子育てができる環境に繋がると思う。	男性(30代)・1人
	・ 乳幼児期、親の片方がフルタイム、もう片方が専業やパートの場合、フルタイムの方も5時6時に残業なしで帰って育児に参加できる環境にもらえるだけでも嬉しい。育休制度はなかなか難しい中、これだけでもだいぶ違うと思う。 ・ 小学校下学年の時期は、パートをするならば子供が帰宅する時間に家に居られる求人が充実していると助かる。	女性(40代)・3人
	・ 職場で育児時間取得をもっと推進してほしい。 ・ 子どもが病気の際に、休みやすい環境がもっと職場で整うといいなと思う。	女性(30代)・2人
	・ 休暇を取りやすくする ・ 経済支援	男性(50代以上)・3人
	コロナウィルスの時のように、子育て世代が子供の看病のために休んだ場合は、会社への補助金支給を拡充し、雇い入れる側も安心して雇用できるようにしてほしい。	男性(30代)・1人
	マザーズ併用求人を出している職場に入社したが、実際、休みにくいと感じる事がある。また、扶養内で働いているが、年々時給が上がるのに、130万の壁があり、働きにくい。物価が高くなっているのに、収入が制限されて、将来に不安を感じる。資格がなくても、正社員として働く事ができ、ある程度の収入が得られ、安心して子育てと両立できる職場環境があれば…。	女性(30代)・2人
	在宅ワークの推進など、それを許容され、理解される社会になって欲しい。小学生低学年までは何かと支援が手厚いが、子どもの成長と共に、お金がかかる年齢になると、休みを取れず、精神的、身体的に負担が大きくなる場合がある。子育ての負担は子どもの年齢に関係なくあるので、義務教育期間はもっと何かしらの支援が欲しい。	女性(40代)・2人
	これは会社になりますが、時間外をしないと生活ができない環境の改善！！	男性(30代)・2人
	リモートワークを当たり前できるように	女性(50代以上)・3人
	有給制度の拡充 育休中の収入保証または子育てにかかる費用の負担軽減	女性(40代)・3人
	勤務時間の柔軟性(休日の取り方)、休みに給料が減ることの補助。職場からの配慮。	男性(30代)・2人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
職場環境 ・休暇制度	・子供や自身の急な病気の時は休みを自由にとれること（家族間感染等で1週間くらいの長期休みになった場合も病児保育を利用しなくても良いように） ・夏休み等の長期休みの時、専業主婦の場合でもパート勤務でも安心して低価格で預けられる学童が充実してくれると良い。 ・時差勤務や短時間勤務もたくさん受け入れてくれる職場があると良い。	女性(30代)・2人
	子どもの送り迎えが出来るよう、勤務時間の短縮。 保育料の減免	男性(20代)・1人
	働きたいけれど長期休みはなるべく一緒にいたいという思いがあり、学校の事務など、子どもの長期休みに休める職場の雇用がたくさんあったらいいのと思います。	女性(30代)・1人
	融通の効く職場（休みがとりやすい・子育てママの時短勤務）が増えていくといい。 産休・育休中の手当がすぐ出るようにするなど。	女性(30代)・4人
	テレワークの推奨、半日有休・時間有休制度の導入、有休付与日数の増加(年10日や20日は少ないと思う(特に乳幼児を持つ親は子の体調不良や通院ですぐに消化してしまう))	女性(30代)・2人
	3歳以上も育児時間がとれると良い。 子の看護休暇が年5日では足りないので増やしてほしい。 フレックス勤務や在宅勤務の推進。 上記のことがどの職場でも適応されると良い。	女性(30代)・1人
	産休、育休復帰後の継続的就労の保障。就労時間の変動的な対応。 障がい児に対する保育の拡大、対応。	女性(40代)・3人
	子供の学校行事や、部活動などの大会などがある時に、仕事の休みが取りやすい環境にしてもらいたい。	女性(40代)・2人
	会社に託児所が出来るスペースがあるといいと思います。	女性(30代)・1人
	勤務先での保育所併設	女性(40代)・2人
	職場の人員が少ない為、学校行事より仕事優先になっているところ	女性(30代)・2人
	仕事時間の短縮やフレックスタイムの導入	男性(20代)・1人
	テレワークの拡充。 通勤時間の短縮。 短時間になっても十分な収入を得ること。	女性(30代)・4人
	市内全ての家庭でテレワーク可能となるネットワーク環境施策	男性(50代以上)・2人
	育児のための時短制度の充実 (現教員だが、正規採用での就労の継続は困難です。育児のための時短制度を使いたくても、学級担任となるため業務量が変わらず利用しようと思いません。)	女性(30代)・1人
	子どもが小学校卒業まで、(障がいのある子どもは18歳まで)正社員として離職することなくキャリア継続できるよう、勤務の仕方が選択できると良い。	女性(40代)・3人
	フレックスタイム制の推進 復職すると、夜ご飯準備が大変なので、安心安全な食事が提供されるまたはテイクアウトできる所が増えると良いなと感じています	女性(30代)・2人
	正職員でも、9時から15時までの勤務時間。 残業せずに、定時で帰宅できる。 習い事や民間学童への送迎サービス。	女性(30代)・1人
保育所環境	子どもを預ける施設の充実	男性(50代以上)・0人
	延長保育の時間の開始時間を30分繰り下げ 例えば、18:00から19:00の延長ではなく18:30から19:00に改定 など	女性(30代)・1人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
保育所環境	・休日・祝日でも子どもを預けることのできる機関の増設 ・サービスの登録の簡易化	女性(20代)・2人
	ベビーシッターサービス支援	女性(40代)・2人
	仕事復帰する時にすぐ保育園に入れる 7時過ぎる仕事でも預けられる保育園の拡充 海外のようなベビーシッターの拡充	女性(50代以上)・1人
	・社内託児所 ・買い物代行や家事代行サービス	女性(30代)・1人
	親の就業時間に合わせた保育の時間	女性(40代)・2人
	保育園の土日登園 学童の充実	女性(40代)・3人
	希望の形態で働ける場所の確保とそれを実現させる託児等の預かりサービスの充実	女性(40代)・3人
	保育園の送迎をお願いできるサービスがほしい	女性(30代)・3人
	保育園を日曜日、祝日も実施する。 そのための保育園への補助	女性(50代以上)・2人
	日曜日に仕事があっても保育所等施設に子供を預けやすい環境	女性(30代)・2人
	子どもを安心して預けられる場として、保育園・保育士に対する援助は必須。保育士の負担軽減や金銭面の援助をしてほしい。	女性(20代)・1人
	保育施設を増やす 保育士の給料を上げる	女性(30代)・2人
	保育士を増やし、保育園の受け入れ人数を増やす。	女性(40代)・1人
	保育園の充実	女性(30代)・2人
	長男0歳時、妻と幼稚園の先生のやりとり。 先生：0歳児は体力が弱いし、保育士が少ないので土曜は休ませて家庭保育できませんか？ 妻：土曜は仕事です。 先生：週休2日じゃないんですか！？ 土曜が無理なら、平日の午前に早迎えはどうですか？ 妻：それも難しいです。	男性(40代)・2人
	それ以来土曜に預けにくくなった。 売上が必要な企業では、当然でない週休2日、ぎりぎりの人員で周囲への負担増や嫌味などで躊躇する有給取得。（ただでさえ病気や予防接種で有給が必要） 財政赤字でも倒産や失業の無い公務員様には到底理解できないだろう。 まず、親が嫌な気持ちにならず子を預けられるよう保育士様の意識改革が必要。	
	夜間保育園施設の増設。	女性(30代)・1人
	短時間労働を推進してても、繁忙期は休めない。 休める権利があるにしても、他の職員にしわよせがくるため、休めない。繁忙期以外は忙しくないの、職員の増員も望めない。 そのため、19時以降でも預けてもらえる施設を増やして欲しい。	
	保育所、預かりサービスの充実 産休、育休に対する職場の理解	女性(30代)・2人
	私は、独身時代は幼稚園教諭として勤めていました。保育士は好きでしたが、残業、持ち帰り、結婚しても続けられないと思いました。保育士の処遇改善を望みます。また、県外から島根に嫁いで来て自分の頼れる親はおらず、主人と私しかいない状況。急に預けたくても預けられないプレッシャーはすごかったです。子どもたちが学校の間に、働きたいと思っててもそんな都合の良い時間はなく、自分で起業することに決めました。起業して、子育てと仕事を両立することが少しずつできる一方。フリーランは、育休も産休もなく、その間の保証もない。いろいろな壁はあります。	女性(30代)・2人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
保育所環境	・急な子預りが出来る保育施設があると良い ・18時半までが通常預け保育だと助かる	女性(40代)・1人
	保育園(0から2歳児クラス)に通えるかどうかを決める点数制度で、父親がフルタイム、母親がパート(短時間)の場合、点数が低い為、高確率で通いたい(家から近い)保育園の抽選に落ちる。短時間でも働いているという状況は変わらないのに家から遠い場所の保育園に預けないといけなは非常に困る。第一希望の園に通えるように工夫して欲しい。	女性(30代)・2人
	就労するまでに保育園に入園しやすくして欲しい。学童保育の諸条件をもっと緩めてほしい。	女性(30代)・3人
	保育施設の拡充が必要だと思います。八束や本庄は保育園が少なく、入園希望者と入園出来る枠が合っていないように感じます。市内だけでなく、少し離れた住宅街にももう少しあるといいと思います。	女性(20代)・1人
	○希望する保育所への入所。 ○延長保育や児童クラブ(松江市運営)の開所時間では対応出来ない時、サポートセンターも利用させてもらったが、身内が近隣にいたら、(気軽に頼める)と何度となく思った。または、労働環境の改善なのかも思った。	女性(50代以上)・2人
	正規、非正規、パート、アルバイトなどの就労状況によらず、希望すれば保育園が利用できること(有償でも可)	女性(40代)・1人
	近くの保育所に子供が預けやすい環境があるといい	女性(40代)・3人
	年度途中でも入りたい(自宅や職場から近い)保育園に入れるとありがたい。	女性(30代)・1人
	○保育施設の増設 保育施設への入園が困難で、満期での育休取得をあきらめる声が多いため	女性(30代)・2人
機運醸成	そもそもが子育てしながら100パーセントの女性が働きたいとは思ってないです。子供の成長を間近で自分の手で育児しながら生活したい人も沢山居ます。それぞれ色々な考えの人が居るので多様な働き方や多様な考え方で安心して子育てを出来る環境が必要です。現状の一時預かり保育なども料金が高すぎます。本気で少子化対策など考えるなら明石市などをお手本に子供ファースト、お母さんファーストなもっと思い切った支援を実行して下さい。ろくに子育てをした事のないおじさんやおじいさんの意見や権利で実現出来ないような事が無いように望みます！	女性(40代)・3人
	子どもが保育園へ行き始めるとしょっちゅう風邪をひいて、仕事を休まないといけないうえに、子どもが治る頃には自分や家族も風邪をもらって体調不良でしんどい中仕事へ行かないといけなので精神的にも体力的にも負担が非常に大きい。現在私もそれで入院までしてしまい体調が戻らないので仕事も2ヶ月ほど無給で休んでいて治療費もかかるので経済的にも苦しい状況で困っている。特に保育園へ通い始めたばかりの子どもを育てる人は看病や自分の体調不良の場合でも経済的にも精神的にも安心して休めるような整備をしてほしい。このままだと悪循環で自分の体調不良の中、子育てできるかどうか経済的にも体力的にも不安でしかない。	女性(30代)・2人
	まだまだ性別役割分担意識が根強いと感じます。企業等の幹部教育に、子育て世代の声を反映できると良い。	女性(30代)・1人
	企業への働きかけ、補助金等	男性(50代以上)・3人
	男尊女卑をなくす。女性が活躍するための社会的なサポート。家族およびパートナーのサポート。	女性(50代以上)・2人
	男性の育休取得率の低さが問題。会社自体がもっと育休取得しやすい環境づくりをするべき。	女性(30代)・4人
	行政から企業への働きかけ。 突然の仕事を休んでも、文句を言われない環境。	女性(30代)・4人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
機運醸成	男性の育休の具体的内容 ただ休むという概念しかなかったり 何をしたいのかわからない等 男性が育児に対しての知識を知ろうとする意識の低さを何とかしてほしい できている人もいるが やっぱりまだまだ女性が育児をするものという認識が根付いているのは否めない 自主参加型ではなく 企業と一緒にあって男性の育児への取り組み方等や必要性を伝えられるセミナー等を実施したりするとか。	女性(30代)・1人
	休みやすい 復職しやすい 子供がおられない方が不平等と思わない社会感	女性(50代以上)・2人
	有給休暇など休暇の取得しやすさ(自職場は充実しています)	女性(40代)・3人
	子どもがいると急な体調不良などで、仕事を休んだり早退したりすることが多くなるので、休暇がとりやすい職場環境、職場の理解などを行政が企業に向けて推進してほしい。	女性(50代以上)・2人
	育児時短勤務を男が取ると嫌な顔をされる環境。取りづらい環境。取れない現実。 女も仕事はしたいが、家庭と自分の負担を考えると育児時短を使いながら仕事と家庭の両立を計るしかない現状です。 「女だから」仕事と家庭を両立するのではなく、「親だから」という選択をできる社会にしてほしい。	女性(30代)・1人
	パートアルバイトにも子どもが病気の場合に看護休日などあり、中小企業への認知が高まればはたらきやすい。子どもが複数、1人でも休みを頂く場合、申し訳ない気持ち。	女性(40代)・3人
	働きながら子育てをする人は給料が倍になる。	女性(40代)・1人
	会社名の公表 母親が、働きながら子育てをするのが大変なのはもちろんですが、短時間勤務など様々な制度があり、うまく利用して何とかこなしていると思います。ですが、フルタイムで働く父親が育児に参加するのは、時間的な余裕がなく無理だと思います。 改めて、 ・長時間労働の是正(ワークライフバランス) ・父親の育児休暇取得への職場の理解 この2点が実現すれば、フルタイムで働く父親が育児に参加しやすくなり、母親の家事負担が軽減されつつ収入を維持できるので、第二子第三子を持ちやすくなると思います。	女性(30代)・1人
	保育園までは会社も時短などで融通がきくようにはなったが、小学校低学年もまだまだ手がかかるので時短などが当然のように取れる環境にすべきです。	女性(50代以上)・1人
	子が病気などでの職場が休みやすい環境	女性(40代)・1人
	産休、育休の雇用者側の意識が高まる様な施策を期待する	男性(50代以上)・1人
	休暇の取りやすい職場の雰囲気 チームで仕事をする土壌 管理職の理解 残業をなくす	女性(50代以上)・3人
	体調を崩した時など、有給等取りやすい職場の理解 身近に頼る人がいない時の保育サービスの充実	女性(40代)・1人
	職場の理解が得られるよう、子育てに対する理解を深めるような取り組み。仕事をしながら子育てする事がどれだけ大変か、どのような生活になるのか実感してもらえるような体験や研修等。	女性(40代)・2人
	企業等への働きかけ。	女性(40代)・2人
	仕事の休みを取りやすいこと	女性(30代)・1人
	短時間の仕事を探すとなかなか仕事が見つからない。 子供が体調悪い時に休みを取るのが苦痛。	女性(30代)・1人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
病児保育	病児保育を増やす。	女性(40代)・2人
	子どもが体調不良で学校を欠席した場合、近く(橋北)に子どもを預ける場所がない。また、病児保育は小学生未満の子どもの預かり場という認識で、詳しい制度がよく分からないため、幅広く分かりやすい発信をしてほしい。	女性(30代)・1人
	子どもが病気になった時に仕事を休むことが心苦しい。病児保育が三年生までなので、年齢をあげてもらえたり、病児保育がもっと定員が増えたり、増設されればいいなあと思います。かわいい我が子が苦しい時、側にいてあげたいのは山々ですが、現実的に休みが取りづらいです。	女性(40代)・3人
	シングルマザーの病児保育利用時、多い時は月に4、5回利用する時もあります 働かないと給料も少なくなる為病児保育を利用できる事とても助かりますが、月に4、5回になる時は支払う金額の合計が高い為利用を考える時もあります 3回以上利用する時無料とか、安くなるとか何かあるとシングルマザーとして助かります	女性(30代)・2人
	病児保育の施設が増えるといいなと思う。(つわぶきやのぎの病児保育の様な、小児科で受診したあとそのまま併設の病児保育室へ行けるような施設) 子どもが小学校で、保護者が仕事の為早く家を出る場合、子どもの方が後に出ることになるので、小学校にボランティアさんなどを配置して早く連れて行っても小学校で見てくれていてそのまま登校という形がとれるといいなと思う。(下校の際も同じ。放課後の児童クラブがもっと増えるといいなと思う)	女性(30代)・1人
	病児保育施設の充実 時短勤務でも給付金があると助かる 【結局こどものために時短にするけれど給料が下がる、女性のキャリアアップが望めない】	女性(40代)・1人
	病気や学校の臨時休校の時にすぐに預かって欲しい。基本的には母親が仕事を休んで対応しているが、外せない仕事と重ならないか不安。	女性(30代)・2人
	病児保育の充実や台風やインフルエンザ、コロナなどで休校時でもみてる場所の確保	女性(40代)・1人
	親も遠くに居るので病後児保育には登録したが、1度病院に連れて行くなど時間的にも難しく結局1度も使わなかった。	女性(40代)・3人
	病児保育施設の増設 無料で当日預かってくれる病児保育施設。急な病気、発熱等で仕事を休まざるを得ない環境の軽減。	男性(30代)・3人
	病児保育の数を増やす。	女性(40代)・3人
	幼い子は体調をよく崩し、お迎え要請の連絡が頻繁にくる為、1週間のうちに1日しか出勤できなかったことがあります。 もちろん収入も下がりますし、安心して仕事もできません。 給料の補償や体調を崩しても仕事を抜けずに見てもらえると安心して生活や仕事ができるなと思っています。 産めば産むだけ働けないし収入も下がるのはとても悲しいなと思います。	女性(30代)・3人
	病児保育施設の増設	女性(20代)・1人
	子供が小さい頃は急病時のお迎えなどに対応できるサポートがあれば良いと思っていました。	女性(50代以上)・4人
	病児保育施設の増設、時間枠の拡大	男性(50代以上)・2人
	病児保育の充実 時短勤務への手当	女性(20代)・2人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
病児保育	突然の子どもの病気の時に仕事場に迷惑をかけるのが心情的に辛かったです。職場の人は帰ってあげてと言っていました。難有く思いつつも申し訳なく感じます。こういう時に看病しつつ預かってくれる所があれば良いのと思いました。なので不測の事態の時に気軽に利用できる保育施設が欲しかったです。私は実家がないため困り事を相談したり頼ったり出来る所がなく辛かったです。	女性(50代以上)・2人
	子供がまだ小さい時、病児保育を利用したくても、予約が非常にとりにくく、いつも祈るような思いだった。それが非常にストレスであった。 (子供が大きくなり体調崩す事もなくなり利用しなくなったため、今は改善されているかもしれませんが、、、) また、病児保育に預けてまで働くという事に罪悪感もあった。熱があるのに預けて可哀想だとも言われた。 預けてもいいんだという親やまわりの意識改革も必要だと思います。	女性(40代)・2人
	子供の急な体調不良などへの対応	女性(30代)・2人
	子供が体調が悪い時に安心して預ける場所	女性(50代以上)・2人
	病児保育があるのは知っているが、どういう施設であるのか詳細がわからないため発熱時に急な利用はできない。3歳児健診や産婦人科等でチラシ配布があればいいのではないかと思います。その他、SNSでの発信もいいと思います。身近な施設であれば利用しやすいと思います。	女性(30代)・3人
	子供の急な病気、怪我などによる仕事の休みカバーしてもらえる仕組み。 子供の長期休暇の時の預け先の充実 (年齢に合った施設)。	女性(40代)・2人
経済的支援	子どもを育てるにあたってお金がいるが、子どもがいながらフルタイムで働くことは大変で、日々疲弊していつてしまう。育児しながらも働くなら賃金の値上げや、なにかしらの金銭的支援で時間やお金にゆとりを持ちながら働きたい。	女性(30代)・2人
	習い事の費用助成、 働きながら一時保育を利用する場合の費用助成、 病児保育料の軽減	女性(40代)・2人
	シングルファーザーに対する財政的支援(所得にかかわらず)→所得がある程度あるということは、子どもとの時間を割いて労働していること 職場に対する啓蒙	男性(40代)・2人
	仕事を休まないといけない場合の経済的な支援	女性(30代)・1人
	子育ての費用は、中学、高校からの方が必要なもので、子供手当があると助かる	女性(40代)・2人
	結局お金なのかなと思います。 仕事で疲れて帰ってからの家事育児は負担が大きく精神的にも追い詰められます。 夕飯はお惣菜にするにしても、食洗機を購入するにしてもお金がかかります。	女性(30代)・1人
	2歳までの保育料を無料にして欲しい。延滞時間も負担してほしい。	男性(20代)・1人
	子供の体調不良による休業支援・助成金を希望します。 3人の子供が体調不良で休んだ場合、会社の有給休暇だけでは賄えなく欠勤となり、賞与や昇給に影響がある。	男性(40代)・3人
	子育て世帯に手当の充実するために企業へ補助金を出す	女性(40代)・1人
	支援を高校生まで拡充して貰うと助かる。	女性(50代以上)・2人
	育児手当は満額でないと生活が難しい	女性(30代)・1人
	子供を育てていくのにお金が必要で、フルタイムで働かないとお金が入りませんが、フルタイムだと保育園の延長料金が高くなり、子供と過ごす時間と少なくなるためパートで働いていますが、お金が足りてません。	女性(20代)・2人
	保育料の値下げ	女性(40代)・3人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
経済的支援	教育、医療費などの充実、手当も必要 また男性の育休手当の見直し。 企業による育休、有給取得の充実が必要	男性(30代)・1人
	部活や塾にお金が掛かります。	女性(50代以上)・3人
	育休後収入が減ることへの補助	女性(30代)・2人
	産休育休しやすいように、休んでいる間会社で負担が強いられる方に給料とは別に国からプラスアルファが出るといいなと思います。 会社が負担するとなると、妊娠したら辞めて欲しいと思われるし… 産休手当の申請がもっと簡単になるといいです。 大体に国絡みの手続きは複雑すぎます… なぜもっとシンプルに出来ないのでしょうか。	女性(40代)・3人
	収入によりますが、健康保険料や市県民税が高額。小さい子供がいる世帯は考慮して欲しい。	男性(50代以上)・1人
	扶養控除枠の拡大	女性(50代以上)・2人
	放課後児童クラブの充実	女性(40代)・1人
	ひとり親の学童費用の補助 放課後デイサービスの利用時間延長	女性(30代)・3人
児童クラブ	児童クラブの延長利用	女性(40代)・4人
	児童クラブの長期休業のみの利用	女性(40代)・4人
	学童の充実	女性(30代)・4人
	児童クラブの充実 公的な児童クラブは預かり時間が短い。平日、振替休日は実施していない。民間の児童クラブはサービス内容が充実しているが、利用料金が高い。	女性(40代)・2人
	児童クラブの預かり時間の延長。	女性(50代以上)・2人
	長期休み(夏休み他)、土曜日など児童クラブの時間の枠が短すぎる。仕事に行き帰りの時間を考えると、もう少し朝早い時間、遅い時間までやっていただけるとありがたい。 子育て応援、支援といった取り組みをしている事業所をもっと教えてほしいです。仕事をして収入を得たいけど、子供が小さいと病気や、行事で休むことも多いため、働きやすい環境の職場が少いため、取り組みをしている事業所があれば安心して働けます!!	女性(40代)・2人
	児童クラブの利用時間の延長	女性(30代)・2人
	学童が3年生までしかなく、とても困っている。 学童保育を4年生以上もしてください。 天候による、臨時休業のとき、学童が閉まり、仕事を、休めない。 学童保育、民間は、とても高額すぎる。 一人親家庭の経済支援で、収入の上限は、なしにしてほしい。	女性(50代以上)・1人
	学童保育や保育所に 入所基準なく全員が入れる様にして欲しい	女性(40代)・1人
	土日も預けることができる保育園の拡大 学童保育をもっと学校側または、各所に増やしてほしい	女性(40代)・3人
	公設の児童クラブを、4年生まで通える様にしてほしい。3年生で終わったので不安でフルタイム勤務をやめてパートに変わるなど、大変でした。	女性(40代)・1人
居場所づくり	不登校の児童生徒の居場所作り。 学校の支援体制の強化(教員の増員)。 保育園の義務教育化。←なぜしないのかわからない。	男性(40代)・3人
	親が働いてる子供たちのための気軽に来れる食堂 市内に何ヶ所かあってもいいと思う。	男性(40代)・3人
	長期休みの時の子どもの居場所がない。 図書館などの自習スペースなどでもあれば少しは行けるといいます。	女性(50代以上)・1人
	学校が長期休みの時期の、子どもの預け先の充実。公園や遊び場の数を増やし、高学年になっても楽しく遊べる公園作り。	女性(40代)・2人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
居場所づくり	学習などができる場所が職場の近くであると良い	女性(40代)・1人
長期休業 ・課外活動 ・習い事	長期休業中の昼食提供。毎日のお弁当作りが大変です。 長期休業中に利用できる体験学習の充実。児童クラブに入れない4から6年生の子どもが利用できるもの。暑くて外でも遊べず、家にずっといるので、今年は隠岐のSDGsが学べるツアーに2泊3日で子どもだけ参加してとても良かった。抽選だったので、もっとこういうのが増えたら良いのと思います。	女性(40代)・3人
	子供にスポーツをして欲しいのですが、スポ小などは親の負担が大きすぎて(送迎、仕組み)など仕事も休まないといけなくなります。昔のような部活のある生活だと子供達も平等にスポーツを楽しむことができるのですが、今は経済面や親のモチベーション、余裕のある保護者じゃないとスポーツをさせてあげることができず、スポ小に加入するのをとても迷います。子供達が平等にスポーツができる環境があればとても嬉しいです。	女性(40代)・3人
	○保育園や学童、スポ少や部活動が利用しやすい環境。 ○子供や大人の、有事、病気等、とつぜんの出来事があっても仕事を休んだり遅刻したりできる環境や雰囲気	女性(30代)・3人
	宿題や勉強をなかなかみてやれない。放課後に宿題ができたり、教えてくれたりする環境が欲しい。小学校の授業では、理解できていない。	女性(40代)・3人
福祉・療育支援	障害児のデイサービス利用日数が松江市は少なすぎる。 なぜ23日までなのか？ 週休2日の勤務ではないので、月に23日利用では全然足りない。 仕事をしながらの子育てができる環境に反する。 デイサービスの利用時間も短い 他県在住時は、夜間利用や早朝利用、土日利用など、たくさんの条件から選べた。	女性(50代以上)・2人
	福祉事業所にもっと目を向けてほしい。 障がいがある子を育てている親の事にも目を向けてほしい。	女性(40代)・1人
社会インフラ	ネットスーパーの普及	女性(30代)・1人
保護者支援	リハビリ型産後ケアの普及 仕事復帰する前の人に向けた産後ケア(メンタルケア)	女性(30代)・2人
幼稚園環境	公立幼稚園にこどもを通わせておりますが、平日の集まりが多すぎて、仕事をしようにも限られると思います。	女性(40代)・2人
総合的な内容	雇用側の理解 子供の病気時の保育	女性(50代以上)・3人
	子供の病気などで休みを取りやすい環境、給料補助 病児保育所の増設 職場や学校に近い住居の案内、家賃補助	女性(40代)・1人
	時間外勤務をする際に夕食を宅配してもらえる環境整備←中高生 夏休み等のお弁当の宅配←小学生 外遊びかできる環境整備。 子供の宿題チェックをなくす。 習い事の送迎。 手間と時間と肉体的ストレスから解放される整備。	女性(40代)・2人
	保育園の頃は、まだ融通がきいたが、小学生の頃が大変だった。 小学生の頃、学童の終わりの時間も早い、学童も小学校も保護者役員が毎年のように回ってくる、子供の病院の通院に合わせて退社する、等、仕事では、担当業務をもってフルタイムで働くのは非常に大変だった。祖父母も居たが、急には都合が合わない。 PTA活動は強制ではなく有志で、病児や通常の病院も、遅い時間に対応できる場所を増やしてほしい。 転職が出来やすい環境がよい。年齢で中途採用は正社員にもなれない。 シルバー人材で子供の送り迎えは助かる。	女性(40代)・2人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
総合的な内容	児童クラブの対象年齢を6年生までに変えて欲しい。 就業時間の短縮。 子供が中学校に入学くらいまでは選択できたらいいのと思います。 あと学校が休校になったときの有給制度。	女性(30代)・2人
	私は、自分の両親と同居しているので、あまり困る事なく仕事と家事育児を両立してきました。 また、私の両親にとっても孫育ては生き甲斐となり、お互いにとって良かったように思います。 難しいとは思いますが、核家族やシングルへの支援は勿論ですが、我が家のように3世代が暮らす世帯が増えるような策があれば、自然と安心して暮らせる社会になると思います。	女性(40代)・2人
	育児時間のための有給休暇。 予防接種や受診のための特別休暇を中学生まで延長。 特別な配慮が必要な子どもたちの療育や相談の場を充実させてほしい。 特別支援幼児教室の受け入れ数を増やす。送迎が難しい場合は、巡回も可能にしてほしい。	女性(40代)・3人
	時短で働けたり、突然の休みにも対応してもらえること。	女性(40代)・2人
	ひとり親だが、収入の基準が低すぎて、基準を超えたら何の支援も受けられない！ ひとり親であれば経済的、時間どちらも大変です！	男性(40代)・1人
	・子育てのための特別有給休暇制度（子の看病や子の予防接種時、入学式や学校のイベント等時の有給休暇） ・親のコミュニティ作り	女性(50代以上)・1人
	パートではなく、正社員で同じお給料がもらえたらよい。 年齢が離れた兄弟でも同じような制度にしてほしい	女性(40代)・3人
	・保育料減額 ・家事代行を月に2回無料で頼むことができるサービス。 （その日は少し残業しようと仕事の計画の幅が広がる） ・子どもが体調不良などで迎えにいかねばならない時、代わりに迎えに行ってくれるサービス。（病院受診までできるとなお助かる）	女性(20代)・2人
	子どもの健診の案内を早めにする（勤務希望が間に合わない）	女性(40代)・3人
	仕事で遅くなると、保育園の延長保育代が負担になる 子供の行事が土日が多いため、不定休の仕事だと参加しにくい。部活なども親が送迎のため、急に予定が決まると仕事の変更が出来ない	女性(40代)・2人
	単身赴任などの理由で、パートナーが不在でワンオペの家庭に、経済的支援や、子どもを預けられるサービスなどがあると良いと思います。	女性(40代)・2人
	仕事を迎えに行くより1時間くらい早く帰って食事作りなどして、少しでもスムーズに夜のやることが終わるようになると楽だとも思う。（時短ではやっているが仕事が終わったらすぐ迎えに行っているため）	女性(20代)・1人
	保育料の軽減、病気後の保育、小学校や学童の時間の延長、	女性(50代以上)・3人
	多くの方が核家族になった事により問題はたくさんあるだろうと思っていて短くまとめられません。 せめてもの教訓として将来我が子達がよりスムーズに生活できるように、なるべく同居を選択していく運びを願い、将来まだ見ぬ孫のサポートはしてあげたいと思っています。 進学で県外に出ていく若者が島根県に戻る事はなかなか難しいかなと思っていますので1つの問題がクモの巣のように枝分かれして繋がっているのだろうと思います。	女性(40代)・3人
	パートであっても責任があるというのは仕方ないことだが、今思えば重荷になり家族に影響が出ていた。もう少しゆったりと仕事できれば良かった。（始めたばかりの頃は余裕がなかったせいです）	女性(50代以上)・2人

問 14-2-② 働きながら子育てができる環境の整備に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
総合的な内容	放課後の子どもの居場所作り 学校行事参加のための休暇取得 (リフレッシュのための休暇とは別枠) 時短勤務(男女問わず)	女性(40代)・3人
	子育てに関係なく休みが自由にとれる。 短時間労働でも時給が高く設定されている。 子育てに関わる人が心の余裕をもてる働き方や生活の仕方が虐待予防につながる 保育園、幼稚園、産婦人科等が子どもとの関わり方を義務化していった方が良いと思う。 出産したものの、子どもとの関わり方について知らなすぎる。 子どもの人権を尊重した子育てや愛情のかけ方ができれば虐待を防げる。子育てもしやすくなる 保育所や児童クラブに希望する人が入ることができることと費用負担の軽減	女性(40代)・1人
		男性(50代以上)・2人

問 14-2-③ 教育環境の充実にに関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
経済的支援	小、中学もお金はかかりますが 高校も今まで以上に金銭的にかかります。高校でも給付金型の支援など受けられるようにして欲しい母子家庭の子どもでも安心して高校生活が送られるような教育環境経済的負担の軽減をお願いします	女性(30代)・1人
	教育費の無償化 給付型奨学金の拡充 オンライン授業にかかる費用の無償化もしくは軽減のための補助の拡大	男性(30代)・1人
	制服代をもっと安くする！制服、体操服の値段は異常です！ 自転車購入費の補助！ とにかく必要な物にお金がかかりすぎる！	女性(40代)・3人
	こどもにはできる限りやりたいことをさせてあげたいとどの親も思っているが、実際習い事となると経済的な負担、遠征などがあればその送迎…兄弟が多ければ上の子に合わずしかない。これから学校の部活が地域に…となればますます教育にも親の経済力の差が影響してくるのではと心配だ。	女性(40代)・2人
	学力向上のための支援。塾などの負担金	女性(40代)・1人
	子供は現在中学生で卒業後は高校に行って欲しいと思っています。しかし高校生になる年齢では母子家庭への支援等が減り、高校に通わせることができるのかという不安があります。 高校を卒業した人とそうでない人では就職した後の収入格差が大きく貧困の連鎖になると思います。 高校生の親への支援もお願いしたいです。	女性(30代)・1人
	行政や地域が教育環境（例えば公民館での無料学習スペース）ではなく、保護者が選んだ学習環境（例えば塾など）を子どもに提供できるよう、教育費の一部、場合によっては全部を支援する。学校や家庭では限界のある教育環境や教育の重要性を子どもに直接伝える。	女性(50代以上)・3人
	教育費無償化 不登校の子どもたちへの学習サポート	女性(30代)・2人
	部活動や習い事などの 授業料以外の教育費の援助	女性(40代)・1人
	大学に1番費用がかかると聞いているのでそこが無償化になると凄く有難いしまた産もうと思える	女性(30代)・2人
	習い事等への費用援助	女性(40代)・2人
	高校無償化にしてほしい	女性(30代)・1人
	塾に通う際、大学進学時などの教育資金の援助。	女性(40代)・3人
	高校授業料無償化の所得制限撤廃	女性(40代)・3人
	大学や専門学校に負担感なく通わせることのできる環境	男性(50代以上)・2人

問 14-2-③ 教育環境の充実にに関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
経済的支援	給食費は国が全額負担すべき。義務教育は。	男性(40代)・2人
	経済格差による学力の格差	女性(40代)・2人
	学びの場にかかる費用の補助をお願いします。 娘はアーティスティックスイミングの強化選手です。毎月2万円強の月謝プラス県外遠征の費用がかかります。 きょうだい2人を塾に通わせています。今月の月謝は2人で10万円弱です。	女性(40代)・4人
	北欧のように教育費の負担を軽減化	男性(50代以上)・2人
	教育費負担軽減	女性(40代)・2人
	高校、大学と通わせる際の教育費の援助があればと思います。 今の生活を維持するので精一杯で、大学までと思うと、心配でしかない。	女性(50代以上)・1人
	希望の進学先が経済的な面で制限されないような独自の奨学金制度 教育施設の充実(希望の学科が県内にない)	女性(40代)・3人
	高校大学まで支援してもらえると多子家庭は助かる。給食費が無料な地域もあり羨ましい。 現在、物価高騰などもあり家庭への負担も辛い。	女性(30代)・3人
	制服代の補助や無償化	女性(40代)・2人
教育の質・量	通っている公立小学校の最近の教育方針に不満がある。授業についていけない子に合わせ、のんびりしている印象である。宿題の内容も子ども任せで、取り組まない子どもは宿題がほぼないのではないかと思う。今後、中学や高校に進学したときに校区外の同学年の子どもたちと差が付いていそうで非常に心配であるが、松江市内の公立小学校はそういった教育方針なのか？	女性(30代)・1人
	公教育のレベルアップ。 塾に頼らなくても良いカリキュラム。	女性(40代)・1人
	・義務教育でも、その子の得意を何歳でも活かせるような専門性のある分野を学べる時間	女性(40代)・3人
	学力向上のための授業内容や指導を充実させて欲しい。 補習や放課後指導の時間を作り、通塾する必要がなくても良いとありがたい。 ただし、学校や教職員に対しては無償ではなく、時間外のコストがあるといい。	女性(40代)・2人
	島根県は教育環境は最低レベル。レベルの低い子に合わせると高い子は伸びないのに、島根県のレベルは低すぎるから、高い子はかわいそう。伸びようがない。低い子に合わせるのをそろそろやめませんか？	女性(50代以上)・3人
	学校の先生の質の向上	女性(50代以上)・1人
	学力の向上のための学校教育の充実	女性(40代)・2人
	小学校の全国学力テスト2023年(令和5年度)都道府県別ランキングは衝撃的な結果でした。 島根県は算数の部門で、なんと「46位」数年後に小学校に通わせることとなりますので、非常に危惧しております。 人口減少の中、少人数できめ細かく、高度な学びをしていけばいいのですが、人数が少ない中で、ゆっくりのんびりお勉強しているようでは、人材も育たず、島根の未来も危ぶまれます。本当に恥ずかしいことですし、すぐに対処すべき事案です。一体行政は何をしているのでしょうか。すぐ教科書も変えた方がいいのではないですか。保守的に前例を踏襲してきた結果だと思いますよ。大金をかけた市役所の会議室で緊急会議が必要ですよ。	女性(30代)・1人
	全国学力テスト結果を見ると島根県は低い。学校だけでは足りず、塾となると教育費もかさむ。子供の理解度もあるだろうし、学校はテストの点数以外の学びもある。と思うが、塾なしでも対応できる、学力をつけるにはどうしたらいいものか。将来、生きていく為に学力必要と思う。(何かを生み出す知識のもとと思う)松江で暮らしていくためにも学力も備え、ここに住みたいと思える環境を生み出す人(子)になって欲しい。	女性(50代以上)・2人

問 14-2-③ 教育環境の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別（年代）・子的人数
教育の質・量	習熟度の個々の対応	女性（30代）・2人
	中学受験がなく、全体的にとぼけた雰囲気、 大学までどのように学力をつければいいのかだれも教えてくれない。 なぜか、部活は超絶熱心。 学力無関心。あきらめ。 なんとか大きく育っても経済格差はうまらない。	女性（50代以上）・1人
	授業時間が少ないことが気になるので市内の足並みを揃えること と、近隣県（中四国）の授業の様子や東北の県のように学力テストの 結果から底力を上げたり、関東の県のように英語に注力する時間が 出来ることを望む タブレットを使った勉強が行われているが、途中で動かなくなったり 長期休暇の際は何度正答を書いても正解にならず宿題が進まない ということも起きたので、タブレットのデメリットについても考えて いただきたい	女性（40代）・2人
	学校以外で塾などに行くというのが当たり前となり時間と費用は大き く負荷がかかります。 学校は友達と交流する場、テストや評価がつく場にしかなくなって いないように感じ、学習する意味や興味が持てるのか、学び方、伝え 方、生きることへの興味や探求心、学校はそれらの指針を提示でき る場であって欲しい。 そのために授業を全国统一もしくは地域統一のエンターテイメント 性ある映像コンテンツの配信にして、少しでも知識を持つということ に興味を持てる授業であって欲しい。教員はそのコンテンツにコ メントしながらサポートする役割に回れば、教員への負担も減り、 生徒への生き方や心のサポートに配慮しやすくなるように思いま す。	男性（40代）・2人
	学力こそが将来の日本、島根を良くすると思う。	男性（40代）・1人
	宿題をもっと増やし、家庭学習の定着、充実に力を入れてほしい。 繰り返しテストをする事で、学んだ事を自分の力にして欲しい。	女性（40代）・2人
	塾に行く子、いけない子の差がないよう、学校でしっかり教育を うけられ、尚且つ経済的に塾に行けない家庭への支援。	女性（50代以上）・4人
	学校の先生に対する教育…残念なことが多かったので	女性（50代以上）・2人
	パソコンを使用した授業の充実	男性（40代）・2人
	質の良い授業や行事 働きやすい教師への支援	女性（50代以上）・2人
教育内容	一人一台の子ども用のタブレットが整備されているようですが、未 だに自宅に持って帰ることもなく、学校でもたまに使用するとアッ プデートに時間がかかり、十分な活用が出来ていないようです。ま ず、今あるものをしっかりと先生方が子どもに使用させる事が大事 なのではないでしょうか。税金は大切に使って下さい。	女性（30代）・2人
	・絵本を毎年1冊図書館から選んで良いサービスなどあったらとても 嬉しいです。貧困家庭では教育にお金を避けないと思うので現金よ り本1冊の方が有効的だと思います。	女性（30代）・1人
	英語力の強化	女性（40代）・2人
	乳幼児期からの多国籍の方たちとの交流。	女性（40代）・2人
	偏差値教育の廃止。 得意分野に目を向けて伸ばしてあげて、苦手分野は出来なくても良 い。社会に出てから必要な事は自分で考えるチカラ。今の暗記教育 では無理です。宿題も廃止して良いと思います。 また高校生のバイトは許すべきです。 一番の社会経験だと思います。 せっかくの神話がある県です。日本人として日本の教育をすべきで す。このままでは日本人としての心が育ちません。	男性（30代）・1人

問 14-2-③ 教育環境の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
教育内容	今の時代特に習う必要性を感じない科目があったり、逆にお金の教育や性に関しての教育が不十分であると感じる。また、英語に触れる(聴く)機会を幼児の時から設けた方が良い。保育所、幼稚園、幼保園などで。	女性(30代)・2人
	プログラミングやタブレット端末での学習の充実 学習環境の整備(古い校舎の建て替えなど)	女性(40代)・2人
	義務教育に下記を加えて欲しい 【ITリテラシー】 ITパスポート資格取得できる程度の単元科目 【金融リテラシー】 簿記3級とFP3級が取得できる程度の単元科目 【心理学】 道徳教育ではなく、論理的に人の心を学ばせて欲しい。 世の中や人を善悪で判断するのではなく、環境と心に寄り添える授業に方向性を転換して欲しい。 電車でお婆さんに席を譲ることが、何時でもどんな場合でも正しいとは限らないし、席を譲らない人が優しくない人とも限らない。 その場に居合わせた人達が全員、より幸せになる方向を探すことがインクルーシブだと教えて欲しい。	女性(50代以上)・2人
	タブレットを使用した取り組みが増えていますが、もちろんそれは素晴らしいことなのですが、現実使いこなせてない、まだ少し早いのでは!？と思っています。 小学校の1から4年生くらいまでは、まだ早い気がします。実際鉛筆で字を書いたりすることが多いほうがいいのではないのでしょうか。	女性(40代)・2人
	敷居の低い国際交流の場(外国語にふれる)	男性(50代以上)・1人
	年間の学校行事を見ると小さな行事が多すぎて学習に取り組める環境ではないように思う	女性(30代)・2人
	インターネットを使用したグローバル教育。 地域を巻き込んだ体験型授業。	女性(30代)・4人
	現在の教育環境は本当に現代を生きていく子どもたちに見合ったものなのか再検討が必要であると思う。 指導の仕方、スタンスなど。	女性(20代)・1人
	美術鑑賞、演劇鑑賞、音楽鑑賞、実験教室や、体験学習など 各家庭の環境に影響されず子どもがいろんな体験ができるような環境を充実してほしい	女性(40代)・3人
教職員の労働環境	学校の先生方の負担があまりにも大きすぎるとニュースで見たり話を聞いたりするため、負担軽減のための取り組み(サポーターを増やす等)をすると、教育の質も高まるのではないかと思います。	女性(30代)・2人
	先生方の負担を減らせるようにして(拘束時間や雑務等)、先生方に余裕をもってもらいたい。そうすると子ども達への接し方にも余裕がうまれるし、保護者から先生へ話す時間もとってもらいやすくなるかな?と思う。 支援学級へ配置される先生が増えるといいなと思う。	女性(30代)・1人
	教員不足などの話を聞くと教育現場についても不安が大きくなります。先生が働きやすく、保護者対応や事務仕事などを分散して生徒に向き合えるような余裕があることが望ましいです。	女性(30代)・2人
	こどもが喜んで通いたくなる保育園であったり学校である事。 その為には現場で働かされている保育者や教育者達の心と時間の余裕が不可欠だと思うので、まずはそこを補填補充する事かなと思います。 あとは少人数制になったら良いなと思います。	女性(40代)・2人
	・学校の先生の勤務環境改善、待遇改善、責任の軽減 ・家庭、地域、教育関係者それぞれの当事者意識	男性(50代以上)・3人
	教員数の増加	男性(40代)・2人
	幼稚園、保育所、学校の先生が教えやすい環境や給料を増やすなど、大変だけどやりがいがある職になってほしい	女性(50代以上)・2人

問 14-2-③ 教育環境の充実にに関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
教職員の労働環境	教員の負担が多すぎると思うので、中学の部活などは外部の指導者をもっと使ってもいいと思う。 子供よりも先生をケアする体制を整えて欲しい	男性(40代)・4人
	教職員数を増やし、子供たちに余裕を持って接してもらえるようにして欲しいです。	女性(50代以上)・2人
	学校の教員の増員。	男性(40代)・3人
	教員不足のニュース等見て、学校で受けられる教育の質に不安を感じています	女性(30代)・2人
	ひとクラスの人数を減らして、担任の先生の負担を減らす 学校行事の削減	女性(50代以上)・3人
	保育士や教職員の増加	女性(30代)・2人
施設	揖屋保育園 揖屋小学校など 建物の劣化が気になります。 我が家は揖屋保育園は利用していませんでしたが、2、3年前に揖屋保育園に寄った際に建物の状況以外にも 玄関がかび臭くほこり臭いように感じました。 利用している保護者や 働いている職員からは指摘はないのでしょうか？ 揖屋地区に限らず、子どもも親も安心健康に過ごせるよう配慮が引き続きしてもらいたいです。	女性(40代)・1人
	子供の教育環境にいいと思えばすぐに実行に向けて動ける予算があると良いと思う。例えば体育館に冷房があると良い。	女性(40代)・3人
	保育園、幼稚園、学校がきれいで環境が整っていること	女性(30代)・1人
	学校施設、学校内の改装、リフォーム、個人ロッカーの充実	女性(40代)・1人
	図書館や学習スペースの充実	女性(40代)・2人
	老朽化している学校の設備を新しくしてほしい。 (特にトイレ、エアコン)	女性(40代)・2人
	不登校の子どもに対しての教育サポート リモート授業、リモートクラス	男性(30代)・2人
	休日に図書館で勉強する時に 早朝から並ばないと席がとれません。 図書館以外で学習できる場所があれば嬉しいです。	女性(50代以上)・3人
	小学校のトイレの洋式化	女性(40代)・2人
	自学スペース	女性(40代)・2人
学習支援	放課後や土曜などに補習をしてもらいたいが、先生の負担にはならないように、学校との連携のとれる講師の人などがいてくださるといい 家庭教師の斡旋をしてもらえると助かる。 塾は予算がかかりすぎる	女性(40代)・2人
	経済的な支援や環境は十分充たされていると感じます。教育の部分で小学校や中学校のサポーターを増やして授業中に落ち着いて授業を受けられるような環境の取り組みをお願いしたいです。	女性(40代)・2人
	宿題を親がみることにについて、働いたり、家事をしながら見れるのか、将来子どもが学校に通うようになったときに、自分に出来るか不安。	女性(30代)・2人
	子供が気軽に行ける寺子屋の設置	男性(40代)・3人
	小学校ですでに勉強について行けない子がいるのですが、授業時間以外でそういう子達のサポートがあればいいと思います。	女性(40代)・3人
	地域に無料で勉強を教えてくれる所や、自習出来るところがほしい。	女性(40代)・1人
	家の近くに塾がない。	女性(40代)・3人
	学校だけの学びではついていく事が出来にくかった。 習い事に行かせるお金や送迎が厳しかったので、学校の方で放課後専門の先生とかがいて教えてもらえる制度があると良いなと思ってました。特に英語です。	女性(40代)・3人

問 14-2-③ 教育環境の充実にに関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
学習支援	小学校、中学校、高校と障がい者をサポートしてくれる支援員さんを増やして欲しい。	女性(40代)・3人
	学校以外での教育環境、支援の整備充実。	男性(50代以上)・2人
課外活動	学校以外でもいろいろな事にチャレンジできるといい。 習い事だと親の収入に左右されるので… 以前住んでたところでは高学年の小学生で希望者は中学校の図書館へ行って本を借りたり、司書さんに相談したり出来た。英語の教室もあった。	女性(40代)・2人
	親子で学べる施設や、子どもに体験学習ができるイベントを増やして欲しい。ものづくりなど。	女性(30代)・1人
	放課後クラブや学校主体の活動	女性(40代)・2人
	出雲市は出雲科学館や風の子学習館などがあるが、松江市はそういう施設がない。	女性(50代以上)・2人
	国際交流(留学生の受け入れ、留学サポート) 課外活動	女性(40代)・2人
	都会と比較すると選択肢の少ない習い事を充実させてほしい。	女性(30代)・2人
	仕事で送迎ができないので、習い事を選択肢が少ない。	女性(30代)・1人
学習環境	私立の小学校、中学校など選択肢を増やして欲しい。また公立も多少選べるとか自由さが欲しい。学区内の学校に合わない場合が出てきた時に困るから、不登校になった場合の受け皿ももっと気軽な所があるといいです。	女性(40代)・1人
	仕事、学業選択肢がどうしても狭いので島根県から出ていくことが多いなと思います。それぞれのお子さまが島根県で学びたくするような選択肢や、金銭的援助幅広くあったらなと思います。島根県の子供達を守って欲しいです	女性(40代)・3人
	学校に行きにくい子供も受け入れてもらえる場所	女性(40代)・1人
長期休業	夏休みに子どもの居場所がなく子どもが一人で引きこもっている	女性(30代)・2人
学校の再編	本庄地区は児童数の減少により、クラス人数が近々10人以下になることが予想される。学力や学習の質の低下、学習機会が少なく色々な経験が乏しくなることが予想されるので、将来的に近隣の学校と併合してほしい	女性(30代)・4人
総合的な内容	小学生以下の子にはそんなにお金がかからなかったもので、今の対策で十分だと思う。そこよりも、小学生以上に対しての対策をお願いしたい。	女性(40代)・2人
	30人学級の復活、教職員の増員、施設の充実。 (トイレの改修など)	女性(40代)・2人
	塾ありきの受験勉強、経済的余裕がない 都会地に比べて選択肢が少ない(送迎の負担を含めて)	女性(50代以上)・2人
	不登校の子や、発達障害がある子供の進路の少なさ、支援の少なさ オンライン授業が全く進んでいない 学校や教室に入れなくても、クラスでオンライン授業を常日頃行い、出席と認めるとする等	女性(40代)・3人
	通学できる学校の選択肢が少ない。 学力レベルが低い。	女性(30代)・3人
	他県にあるような中高一貫校なども創設して欲しいと思う。 ・学校によるとありますが、警報級の災害の時のスクールメールの時間をもっと早くしてほしい ・公立学校の制服が昭和のデザインなのでもっと今にマッチしたものが良いと思う	女性(50代以上)・3人
	いじめの訴え、予兆が見られたときの早期対応。あくまでもいじめられた生徒には非がないというスタンスの徹底。 不登校生徒を出さない。 大学進学に掛る費用(塾の受講料、学費など)の負担軽減。	男性(50代以上)・2人
	寺子屋みたいな場所づくり 1クラスの児童数を少なくする それぞれの子どものレベルに合わせた授業の仕方	女性(40代)・1人

問 14-2-③ 教育環境の充実にに関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
総合的な内容	1. 幼児教育、保育では設備関係の改善 2. 義務教育では学習進度や理解、実習の適応充実 3. 高等学校では専門性の精度向上 4. 支払う財力のある人は補助金など不要、支払えない人にその状況により金額に高低差を設けて楽になるように。 5. 制服の廃止	女性(50代以上)・2人
	子供達が毎日笑顔で登校できるような学校の取り組み。先生方は日々頑張っていると思いますが、各家庭の結びつきが希薄な時代で子供たちがのびのびと学校生活をおくれるよう、地域のサポートも必要だと思う。	女性(50代以上)・2人
	男性の育休中の行き場所の提供	女性(30代)・3人
	学校のトイレが古くて暗くて汚すぎます。 ほとんどが和式で、今の子供達には合わないし、女兒は高学年になると生理のある子がほとんどです。 トイレに行くことに抵抗を感じている子どもは少なくありません。 我が子もなるべく行きたくないと話しています。 プールも汚くて底は傷だらけです。 授業を妨害する子どもがいて、それに担任の先生がかかりきりになり、授業が中断されることがよくあるようです。 このデジタル社会で、未だに遅刻欠席届は登校班の班長に手渡ししなくてははいけません。 学校への電話は禁止されています。 保育園の時はメールで伝えれば良かったのに、あまりに時代錯誤だと思います。	女性(40代)・1人
	都会に比べて何もかも少ない	女性(40代)・1人
	塾じゃなく 子供が楽しく学べるような施設 遊びながら知育ができるような場所や 車の心配のない公園とか	女性(30代)・1人
	学校の施設の充実、教育に対する予算を増やす、学校の教員の負担軽減	女性(40代)・2人
	子育てには正解がないのは分かるが、家庭での教育にも限界がある。 インターネットやゲームとの付き合い方など、自分の幼少期にはなかった誘惑も多く、子供たちの自立を阻害する要因も増えている。 その為学校での指導の充実の為に教育の増員と指導内容の充足を希望する。 教育環境として図書館の充実も希望する。	女性(40代)・3人
	私立小学校 いじめに対する対策	女性(30代)・1人
	自由な発言ができる環境 制服不要	女性(50代以上)・1人
	市などが運営する塾(格安で)の設置 市内に私立大学の誘致をお願いしたい	女性(40代)・3人
	○ランドセルの廃止、またはカバンの軽量化 ○幼少期からの男女差のないフラットな性教育の推進	女性(30代)・2人
	学校でちょっとの期間しか使わないものは、次の学年に使い回したりするべき。	女性(40代)・1人
	少人数のクラスにして欲しい。 塾に行かなくても良い様に寺子屋のような物を作って欲しい。	女性(50代以上)・3人

問 14-2-④ 医療体制の充実にに関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
中高生の医療費無償化等	中学生の医療費無料を希望	女性(40代)・4人
	中学生や高校生になった時に医療費がかかるので、学校の検診、例えば歯科健診、眼科、耳鼻科で医療の受診を勧められてもなかなか行きづらい。 発達障がい等ある子は、中学生になっても高校生になっても医療の受診が必要になってくるので、医療費が家計の負担になってくるので今後が心配です。	女性(40代)・4人
	中学生以降の入院費だけではなく、医療費免除の拡充	女性(30代)・1人
	小学校を卒業すると、医療費がかかるので、なるべく受診しないようにしています。 眼科の受診もやめて、コンタクトはネットで買っています。 本当は受診した方がいいのですが、節約できるところは節約しないと、将来困るので。	女性(40代)・3人
	中学生、高校生でも体が弱い子はたくさんいる中、(部活動等の怪我も含む)通院する医療費の負担が大きすぎる。母子家庭で所得に応じて福祉医療が受けられない事もあり病院に行きづらくなっている為所得に関係なく福祉医療が受けられるようにして欲しい。	女性(30代)・1人
	中学校卒業まで医療費無料なのですね。体調不良のときに金銭面を気にせず行けますし、歯医者なども定期的に通わせてもらっていて、とてもありがたいです。このまま続けて欲しいです。	女性(30代)・2人
	・中学生までの医療費無償化が来年度から開始になるとのこととても助かりました。18歳までだと更に嬉しいですが。 ・歯医者で虫歯予防や治療で無償になるのは助かりますが、歯が欠損したり本人の意思とは関係なく歯並びが悪い場合の歯科矯正も対象にしてもらえると助かります。全国的にも例がないので少しでも助成があると嬉しいです。	女性(30代)・2人
	高校まで無料だと助かる。	女性(40代)・2人
	中高生の医療費控除	女性(50代以上)・1人
	高校卒業迄の医療費無料	女性(40代)・2人
	高校生まで医療費を無料にしてほしい。 予防接種をしてないものがあり、今なら自己負担だと言われたので、成人になるまでは無料で。 インフル、コロナを含めて。 歯の矯正(ひどいもの)に保険がきけば助かります。	女性(50代以上)・2人
	中学生、高校生の医療費の無償化	女性(40代)・3人
	高校生までは教育にかかるお金の無料化または、減金化	女性(40代)・4人
	大学や専門学校へ進学の際の資金の配慮があるといいです 中学生までは医療費の支援(無償化) 無償化が難しければ福祉医療のような1割負担で上限のある公費などで支援していただきたい。定期薬があると無料から3割にあがるとしんどいです。 私達のように子供が多いと家庭内感染はしょっちゅうで、その都度受診。受診の回数も他の兄弟より多いと思います。インフルの予防接種は子供2回で約5万円です。去年から子供の年齢で接種を1回にしたりやめたりと、なかなか金銭的にしんどいです。しょうがないとは思いますが何か補助なりなんなりして欲しいです	女性(40代)・5人以上
	高校卒まで医療費の無償化	女性(30代)・3人
	中学生の医療費無料 もっと早くになって欲しかったです	女性(40代)・2人

問 14-2-④ 医療体制の充実にに関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
中高生の医療費無償化等	中学生、高校生の通院費の無償化など。	女性(50代以上)・3人
	中学生以上も通院医療費の無償化があるとありがたいです。中学生以上のお子さんを持つ親御さんからコロナの後遺症などで通院が長引く方もいると聞くとその負担が軽減されると良いと思います。	女性(30代)・2人
	高校卒業までは医療費無料が当たり前だと思います。 中学生医療費無料で立ち止まらず制度変更が必要です。 付き添い入院の過酷な状況も即改善を求めます!小さな子供用ベッドの上でほぼ母親が24時間付き添い看病するなら入院の意味は無いです。病院側も見て見ぬふりはおかしいですし、今頃になって実態調査とか遅すぎますよ!松江市だけでも早期に改善するべきです!	女性(40代)・3人
	高校生まで医療費無料。	女性(40代)・2人
	中学生も医療費無料にしてほしい	女性(40代)・3人
	こころカードの期間は助成してほしい。	女性(40代)・1人
	せめて、中学までは医療費も無料にしてほしい。	女性(40代)・3人
	18歳まで医療費無償化	女性(40代)・4人
	部活等でケガをすることが多くなる中学、高校の医療費の軽減、または無償化	女性(40代)・2人
	他の自治体施策も参加に、無償化範囲の拡大をお願いしたい。 中学以降も無償化してほしい	男性(50代以上)・1人
	中学生の医療費支援	女性(40代)・4人
	医療費無償高校生も対象になるとよい	女性(50代以上)・1人
	18歳までは、医療費も免除かもう少し少なくしてほしい。 病院行くの辞めとくかってになってしまう。	女性(40代)・2人
	中学生や高校生になると部活などでケガをして通院、入院、手術となることも少なくない気がします。入院だけでなく通院に付き添いも必要で日常生活の中で負担になるのも事実。実際我が家も経験しましたが、高校生の子が遠方の病院で通院、入院、手術だったのでガソリン代も含め経済的にも負担になりました。学生の間はいろいろと親が負担することになると思うので、正直、大変です。	女性(40代)・3人
	中学生までの医療費無償化の実現。	男性(30代)・1人
	高校卒業までの年齢までは、医療費0円ではなく、一割負担	女性(40代)・3人
	中学生の医療費補助	女性(40代)・2人
	中学生では病気が減る反面、部活動などの影響で怪我が増えるように思います。 中学生以上の医療費も支援してほしいです。	女性(30代)・1人
	高校医療費無料	男性(40代)・2人

問 14-2-④ 医療体制の充実にに関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
中高生の医療費無償化等	うちは小さい頃から持病があり、この度中学生になり、医療費が3ヶ月で10万円弱かかりました。 病院の先生にどうにかならないか相談したところ、小児慢性特定疾病と診断してもらえましたが、そこに行き着くまで市役所に電話をしたり、自分で調べたり、スムーズにならないのだろうかと思いました。中学生で医療費が無償化になると聞き、涙がでるほど嬉しく、まわりの人にもよかったねと、声をいただいています。 松江市で子育てできること、ありがたく思います。 中学生少し大きくなったとはいえ、ケガをしたり、それなりに医療費がかかります。進学もせまってきてお金がかかる不安もあるため、本当にありがたいです。	女性(40代)・2人
	中学生、高校生になったら病院にかかる回数が減るができれば通院も無料だと助かる。	女性(40代)・3人
	親の金銭負担を気にして受診を控える子がいます。高校まで通院、入院費を無償化にしてほしい。	女性(30代)・2人
	高校卒業までの歯科を含めた医療費、入院費無償化（中高校生は部活での怪我が多く通院も長いため）	女性(30代)・3人
	中学卒業までの医療無償化	女性(40代)・2人
	高校授業料無償化の所得制限廃止	女性(40代)・2人
	中学生の通院治療費の無償化、もしくは窓口での限度額設定 インフルエンザワクチン接種等の無償化	男性(50代以上)・2人
	小学生まで通院費が無償なのは大変助かります。 ただ中学生、高校生になって制服代やその他の出費が多くなります。 通院にしても仕事を休んだり抜けたりして通うとなると収入にも影響します。 中高生の通院費用も無料にいただけると大変助かります。	女性(40代)・2人
	高校生まで無料	女性(40代)・2人
	高校生の医療の無償化	男性(40代)・3人
	高校卒業まで、無償化または、半額など、今より充実させてほしい	女性(50代以上)・3人
	高校生まで（成人まで）医療費無料	女性(40代)・1人
	18歳までの医療費助成	女性(50代以上)・2人
	18歳までは通院・入院が無償化されると預金も増えていいと思う。	女性(30代)・2人
	小学6年生までの無償化を中学卒業まで伸ばして欲しい。	女性(50代以上)・2人
	中学生までの医療費（保険診療適用分）の無償化	女性(30代)・3人
	他の市が行っているように中学生の医療費も無償化にしてもらいたい	女性(40代)・3人
	最低でも中学生までは医療費無料を望む	女性(40代)・2人
	医療費を18歳まで無償にしてほしい	女性(30代)・1人
	中学生までの医療費無償（学校の検診後医療受診を求められるので）	女性(40代)・2人
	高校生まで拡充してもらおうと助かる。	女性(50代以上)・2人
	18才まで医療費無償化して欲しい	男性(50代以上)・3人
	高校の無償化であれば高校まで医療費もひろげては？	男性(40代)・1人

問 14-2-④ 医療体制の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
中高生の医療費無償化等	高校卒業までの無償化。	女性(40代)・3人
	高校生まで医療費無償化	女性(40代)・3人
	高校生まで入院通院問わず医療費無償化	女性(30代)・2人
	高校までの医療費無償化。	女性(40代)・3人
	通院医療費を中学生まで無償化	女性(40代)・2人
	中学卒業まで医療費が無料にしてもらえたら嬉しいです。	女性(40代)・3人
	小学校6年までの医療費無償化を高校卒業までに引き上げ。	女性(50代以上)・4人
	高校生でも病院には行くので、という医療費がかからないと嬉しい	女性(40代)・3人
	高校卒業まで医療費の負担を免除してほしい	女性(40代)・2人
	高校生まで医療費無償化	女性(40代)・2人
	中学生の医療費の無償化	女性(40代)・2人
	他県のように18歳まで一律金額にしていってほしい。 小学生まで無償なのはありがたいが、その後の医療費に困る	女性(30代)・2人
	中学生になってからも病院に行く回数が多いので、無償化にしてほしいです。	女性(40代)・4人
	小中高の無償化	女性(40代)・3人
	高校生まで医療費無償化	女性(30代)・2人
	中学生、高校生など、保護者の管理下で生活する子供の医療費の負担軽減があるとよいと思います。	女性(40代)・1人
	高校卒業まで医療費無償化して貰えると大変ありがたい	女性(40代)・1人
	中学までの通院医療費無償化	女性(40代)・2人
	高校生までの医療費無料化	男性(50代以上)・2人
	中高生の医療費無償化	女性(30代)・2人
	高校生にも医療補助が欲しいです。	女性(40代)・2人
	中学進学以降、通院費用がかかるのがいまから不安である。下の兄弟と歳の差があるので、感染症などに子どもたち全員が感染した際に、負担が増えると大変である。	女性(30代)・3人
	高校卒業するまで医療費無料	女性(40代)・3人
	もう少し早い段階で中学生の医療費無料にしてほしかった	女性(40代)・4人
	高校まで無償化してほしい。	女性(30代)・3人
	18歳まで医療費を無償にして欲しい。	男性(40代)・2人
	高校までの無償化	男性(30代)・2人

問 14-2-④ 医療体制の充実にに関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
中高生の医療費無償化等	子供の医療費を中学、高校まで無償化にしてもらいたい。 結局、親に払って貰わないといけない年齢。高校生ならバイトも出来るかもしれないけど。 予防接種の無償化。	女性(40代)・2人
	中学生になっても医療費がかかる家庭はあると思います。 我が家も、月1で定期的な受診があるので負担を補助してもらえる制度があると助かります	女性(40代)・3人
	中学生の無料化	女性(40代)・3人
	高校卒業までは、医療費無償化	女性(40代)・3人
	高校の部活とかで怪我が増えるため補償して欲しい	女性(30代)・2人
	高校生まで医療費無償化してほしい	女性(40代)・1人
	高校卒業までの病院通院費を無償化して頂くととても助かる。	女性(30代)・4人
	高校卒業まで医療費無償化	女性(40代)・1人
	中学生までの医療費の軽減	女性(50代以上)・3人
	中高生は怪我がで長期にわたる通院も増えるので、医療費の補助や軽減	女性(30代)・2人
	中・高生の通院無償化	女性(40代)・1人
	どこかの市町村のように18歳未満も医療費完全無料としてほしい	女性(40代)・3人
	東京の様に高校生まで医療費無料は大変羨ましい。 骨折などで知り合いから治療費を聞いたら通院だけでも驚いた。 完全に無料とはいかずとも1回の負担が500円などだと医療費も軽くて子供を育てていく上で助かる。	女性(30代)・3人
医療費全般	医療費補助の充実	女性(40代)・2人
	20歳までは医療費を無償にして欲しい	女性(50代以上)・2人
	医療費控除など	女性(30代)・1人
	成人まで医療費が無料	女性(40代)・1人
	松江市の医療体制では、専門的な治療が出来ず、県外で通院しています。 体制の充実を希望しますが、医師不足があり、現実的ではないので、県外での通院にかかる移動費の補助を希望します。	男性(40代)・3人
	子供が病気や怪我をしたときの費用負担制度	男性(20代)・1人
	子供の医療費の無償化	女性(50代以上)・3人
	外来診察代、薬代の上限 (窓口での支払いはいくらまで等)	女性(40代)・4人
	無償化	男性(40代)・2人
	医療費の無償化	女性(30代)・2人
	医療費無償化の拡充	男性(40代)・3人
	医療費完全無償化	男性(40代)・3人
	医療費の無償化拡大	男性(50代以上)・2人
休日・夜間診療の拡充	平日遅くまで普通に受診できる小児科が増えるとありがたいです。	女性(40代)・2人
	休日、緊急時の対応	女性(40代)・2人
	小児科の拡充、深夜や土日でも柔軟に対応していただける環境	男性(50代以上)・2人
	日曜、祝日でも対応してもらいたい	男性(40代)・2人

問 14-2-④ 医療体制の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
休日・夜間診療の拡充	土日に受診できるところが少ない。	女性(40代)・2人
	日曜日でも診てくれる小児科が増えるとうれしい。 総合病院だと待ち時間が長すぎて親子で行くだけでつかれる。小さい頃は急変するので待つのが大変。	女性(40代)・1人
	土日や夜間なども受診ができる環境を整えて欲しい	女性(40代)・3人
	休日診療、夜間診療、予約含めた問い合わせを包括したDX化	男性(50代以上)・2人
	小児科はどこも待ち時間が長かったり予約が取りにくく、急な体調不良は受診に時間がかかり、受診後に仕事に戻る事が出来ない 子供が体調を崩すと心配になるが、かかりつけの医院が閉まった時間だと救急外来に連れて行きたいが、病状によって、救急外来の診察加算が5000円以上掛かる。	女性(40代)・2人
	土日診療、夜間診療できる病院が少ない	女性(50代以上)・2人
	日曜日にみてくれる小児科を増やしてほしい。中、高生の医療費を無償化にしてほしい。	女性(40代)・3人
医療機関の施設増	病院を増やして欲しい。	女性(40代)・2人
	障がいのある子を育てていて、手術の可能性もあるのですが、地元の病院では手術件数が少なく、他県の病院を紹介されて定期的に通っています。良質な医療を近くで受けられるような医療体制の充実を希望します。 自分自身も出産時に出雲の病院まで搬送され緊急手術となりました。産後も子供だけそのまま数ヶ月入院しており、出雲まで通いました。県庁所在地である松江にそのような病院があつて欲しかったと、つくづく思いました。	女性(40代)・3人
	小児救急の充実、県東部と西部の医療格差の改善(帰省時や外出時の際非常に感じる)	女性(40代)・1人
	産科や婦人科の充実	女性(40代)・3人
	発達相談がいっぱいすぎ。 医師が少ない。不足すぎ。	女性(50代以上)・1人
	松江市内に小児科が少ないように感じていた。 橋南在住だったが橋北の病院まで通っていた。	男性(50代以上)・2人
	病院同士でのスムーズな検査結果や画像の共有をしてほしい。同じ検査を減らす事で、医療費や身体への負担を軽減してほしい。	女性(30代)・1人
受診に係る負担軽減	子供だけで医療機関行かせれない。 クリニック、すぐみてくれない。電話が繋がらない。	男性(50代以上)・3人
	子供が入院中、親のつきっきりが日中のみなどじゃないと家庭がまわらない	女性(30代)・2人
	・病児保育施設へ預けるハードルが高く、結局は休まざるを得ないので、病児保育の為に病院などを早朝から開けてほしい。 インフルエンザやコロナの出席停止期間中、仕事ができるように、日中に伝染病でも専用の預かり場所があるとよい。	女性(30代)・2人
病児保育		女性(30代)・1人
ワクチンの無償化	ワクチンの無償化	女性(40代)・1人
	コロナがまだ終わっていないのでワクチンの医療費を無料で受けられるようにこれからもしてほしいです。	女性(30代)・1人
制度の周知	0歳の時に日赤病院から県外の病院に行き入院、手術をしたが返金の制度があるのを知らず何年か後に市役所に確認しに行ったら2年前までの領収書しか返金できないと言われた。 県外での返金制度があるという事、返金は領収書の2年前までしかできないという事がもっと周知されるべきだと思います。 病院などの事務の方などからお知らせしてもらえると助かりますね。	女性(30代)・1人

問 14-2-④ 医療体制の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
待ち時間の縮減	小児科は、とにかく待ち時間が多く負担が大きい。	女性(40代)・3人
総合的な内容	乳児だった時、かかりつけ医にしてくれるなら診察しますという条件を出された。 このような条件をいう病院もどうかと思うが、周囲の小児科に限られるため選択肢がない。 また土日にててもらえるところがすくないので、土日診察している病院の税金を軽減するなどしてほしい。 ほか駐車場が、小さいもしくは少ないところが多いので、タクシーの無償化や駐車場を拡充をして、通いやすいようにしてほしい。	男性(30代)・1人
	・中・高校生も、ぜひ医療費無償化をお願いします！ ・各学校にもカウセリングの方がいらっしゃると思いますが本音のところどこまで守秘義務が保たれているかと思うと不安。 ・中学生は小児科、高校生は普通の病院となりますが、多感な時期なので心のメンタル的に気軽に中・高校生を受け入れてもらえる医療機関がほしい。	女性(50代以上)・3人
	1. 学生は、自己負担割合は0に、救急外来でも負担なしで。(薬は規定どおりでよい) 2. 電話やオンラインでの相談体制と往診の充実 3. 病院が少ないのかもしれないが、長い待ち時間の解消	女性(50代以上)・2人
	育児をするうえで、日々感じる育児への不安を払拭できるよう、気軽に相談できる場があった方がいいと思う。(無償で) また18歳までは医療費の無償化を希望する。	女性(50代以上)・2人
	1. 子ども専用の総合病院の建設 2. 日曜日祝日に受診できる病院がたくさんあればいいと思う	女性(30代)・3人
	施策ではありませんが… 松江市の小学六年生まで医療費が無料化について 子供達が小さい頃は病院に行くことが多くとても助かりました。ありがとうございました。 これからも、続けてほしいです。	女性(40代)・3人
	松江市氏は小学生まで医療費の負担してがないのが非常にありがたい。	女性(40代)・3人
	予防接種の案内がきても、日本脳炎などのワクチンが入荷されづらい問題のため延期が長引いてしまっている 確保が安定してしてほしいです	女性(30代)・2人

問 14-2-⑤ 学校への移動手段の充実に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
通学支援	小学校から遠い地域をバスやタクシーで廻り、各地域で子どもを乗せて送迎する。 ※白石団地から宍道小へ登校する一年生が、半分の距離で疲れて座り込む姿を何度も見た。登校班も止まるので全員まとめて遅刻になりかねない。登下校の疲れで学力低下や登校拒否なども起きるのでは。親は、宍道以外で就労している人が多いと思われるので、通勤時間を考慮すると小学校に送迎する時間は無い。大人が歩いても大変な距離。かなり切実な問題。美保関の方は更に大変だろうが、どうしているものか。 高校通学の電車定期代を全額補助。 ※同じ税金を支払っているので、市内住所の違いによる子どもの為の経済負担に差をつけるべきではない。	男性(40代)・2人
通学支援	スクールバスがあればいい。また、自転車専用道路の整備。	女性(50代以上)・3人
通学支援	暑い季節の登下校時の移動(バスなど)	女性(40代)・3人
通学支援	玉湯に住んでいるので高校への通学が不安です。電車はありますが、また駅からの交通手段も必要となります。あとバスは市内に出るのもとても高いのが気になります。	女性(40代)・2人
通学支援	遠方から登校する子供たちのスクールバスなどがあると助かる。	女性(40代)・3人

問 14-2-⑤ 学校への移動手段の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
通学支援	学校まで遠いので、スクールバスがあってもいいかなと思う。特に台風や冬場は、車での送り迎えが必要になる場合があるが、仕事の都合で送迎が難しいこともある。	女性(30代)・2人
	全園、全校スクールバスの導入	女性(30代)・1人
	旧八束郡地域からの県立高校へのスクールバスのような乗り換え不要な直通便があると助かります。	女性(50代以上)・2人
	痛ましい事故が全国で起きているし、六年生とはいえまだ12歳の子どもに班長として引率を任せ責任を負わせる集団登校には大きな疑問を持っています。	女性(40代)・1人
	有料でも良いので、朝はスクールバスがあると良いと思います。	女性(30代)・3人
	登下校時のスクールバス。	女性(40代)・2人
	バス通学の浸透。	女性(40代)・2人
	スクールバスまでは行かなくても 遠方から通う子どもの為に小中学校、高校までの登校がしやすくなるという バスが減便となれば、高校生は困ってくるのではないかなと思う。	女性(40代)・2人
	バスで中学まで登校していますが、田舎であるため市内に出るのに定期でも一万円数百円かかります。一万以上は補助金がありますが、それでも年間12万の支出は家計が圧迫されます。高校に通うのも同等、またはそれ以上の支出となり、子供2人なので二倍の費用です。子供が選んだ学校に通うから仕方ないと思う部分もありますが、物価高騰でその他の支出も増えており本当に家計に響きます。幼児や高齢者ばかり対策が充実している印象があります。税金を払っている自分たちに還元されている実感が全く感じられません。	女性(40代)・2人
	公共交通機関の利用費助成	男性(40代)・2人
	バス減額	女性(40代)・2人
	バス代等の軽減(無償化、半額など)、通勤時間帯の本数の増便など、保護者に頼らなくても通学できるシステムの構築	女性(40代)・3人
	徒歩通学できない周辺部におけるドアツードアでの送迎バスの運行	男性(50代以上)・2人
	高校に行くバス代を全額補助してほしい。	女性(50代以上)・3人
	高校になると通学が大変なので、通学手当を増やしてほしい。	女性(40代)・1人
路線バス	市内の高校等は現状の補助が1万円からでは余程遠方から出ないと申請できる金額にギリギリならない場合が多い。 もう少し補助を充実してほしい。	女性(40代)・3人
	高校生まではバスの料金を無料にしても良いと思う。私が高校生だった当時、学割等の控除を受けても電車バスを乗り継ぐと月15000円かかっていた。	女性(20代)・1人
	旧郡部から市内の高校に通学する場合、路線バスのコースや本数が少なすぎる。	女性(50代以上)・2人
	現在、子供が松江北高に通っていて、我が家は北堀町を通るバス路線にあるため、さほど困ってはいないが、居住地によってはかなり不便があるように思います。県立高校の学区が廃止され、長距離通学の人以前より増えているのではないかなと思われるため、バス路線が充実するといいなと思います。 運転手不足による減便のニュースも最近増えていて、難しい問題ではあるかと思いますが、よろしくお願いします。	女性(50代以上)・1人
	地下鉄も路面電車も無いのなら、バスがもっと便利になってほしい。	女性(40代)・3人
	バス減便、困っています。	女性(40代)・1人
	松江市内の高校を循環するバスがあれば選択肢が増えると思う。	女性(30代)・2人
	バスの便が非常に少なく、高校生になると、車での送り迎えが必要となる為。大人も朝と夕方夜間のバスが増えると便利。	女性(40代)・2人
	高校に通うのに、バスの便が不便。	女性(40代)・3人
	我が家は小学校まで遠いのですが、コミュニティバスが朝から走るので、天候不良の日はバスで通学出来て大変助かっています。 コミュニティバスも廃止の方向に向かっていると思いますが、どうか存続でと願います。	女性(40代)・3人

問 14-2-⑤ 学校への移動手段の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
路線バス	僻地に住んでいて交通手段が少ない上、バスの便が減るのは厳しい結局、その分の負担は保護者が覆うことになっている	女性(30代)・2人
	子供をバスを利用して園へ送迎する日がありますが、バスが来る時間が少なく困ってます	女性(20代)・2人
	私自身は県外出身者です。当初、松江市が高校までもが学区制があると知り大変驚きました。何年か前に学区制が廃止されたと聞きましたが、バスや電車が充実しておらず高校生が大変だと聞いています。	女性(40代)・2人
	松江駅を経由せずに、色々な方面へバスで行けるようなルートやダイヤの充実を期待します。	女性(30代)・2人
	バス 路線バスの減便は影響が大きいです。仕方ない事とは思いつつ、送り迎えは負担が大きい。 過疎地であるため歩道も整備されていないし、街灯もない。バスがなければ帰宅できません。 バスの増便や歩道の整備が難しければ、松江市立の学生寮はどうでしょうか。	女性(30代)・3人
悪天候時の通学	雪や大雨の日の通学手段。 高校や中学校まで公共交通機関か、スクールバスがあると助かる。	女性(40代)・3人
	まだ子どもが小さいので現実的問題ではないですが、天候によって、親が送り迎えする状況にあるのかなあと心配しています。	女性(40代)・1人
	大雨の際の登下校の時は車側も歩行者側も視界が悪く危険だと思ふことがあったので	女性(40代)・3人
	雪がふってコミュニティーバスが運休しても、学校が生徒に情報提供しない、頼み込んだらやっと教えてくれる。	女性(50代以上)・1人
	悪天候時に利用できる交通手段が欲しい	男性(50代以上)・1人
電車とバスの乗り継ぎ	年間を通して雨や雪の日も多く、バスの本数が少ない上に学校までの距離が遠いと、大人が車で送迎をすることになる。その為に大人が出勤時間を変更すると仕事に影響する為。	女性(30代)・2人
	電車とバスの乗り継ぎが悪いので、改善してほしい	女性(40代)・2人
	・特に高校になると遠方の地域は必然的に電車で登校になる地域があるが、電車とバスのアクセスが非常に悪い。ますますバスの運転手不足になると、家族の送迎をせざるを得ない。ぜひ改善をお願いします！	女性(50代以上)・3人
	電車の本数が少ないこと、バスの乗り継ぎが不便なことが解消されるといいと思いました。特に高校生は通学が不便で親の送迎が必要が多々ありました。	女性(50代以上)・4人
	高校への通学時間の電車の本数を増やしてほしい。電車とバスの時間の連携もスムーズにしてほしい。	女性(40代)・2人
安全対策	バス停が遠い 電車の本数が少ない	男性(30代)・2人
	大庭小学校の前の道は30年くらい前から危険性が指摘され、遠回りして通う児童への負担の話もあるのですが、未だに変わりがあるように感じません。車で通っていても歩行者や自転車を通ると危なく、事故も何件か見たこともありますので、なにか対策ができると良いと思います。	女性(30代)・2人
	登下校中の熱中症などの話も聞くので、子供が通いやすい環境については整えたり、夏場のこの暑さで学校まで30分以上歩く校区の子への対策などもあれば良いと思います。	
	竹矢町在住だが、周囲の通学路が狭く危ない。 また竹矢バイパスへのアクセスが悪いため自転車通学している子供が交通事故にあうリスクが高い。 古い住宅の道路ギリギリにあるブロック塀の撤去やセットバックなど、補助金をだしてでも安全制が高い状態を担保してほしい。	男性(30代)・1人

問 14-2-⑤ 学校への移動手段の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
安全対策	バスは通っていないかったり、徒歩で行く道路の整備がされておらず、危ない場所を通らないといけない。少人数の通学路は直してもらえない 街灯が少ない	女性(40代)・2人
登下校時の持ち物	小学一年生で、2km通学しています。 炎天下 45分歩いてます。 一学期も荷物が多く驚きましたが、二学期に入り これまで以上に漢字や計算ドリル、ドリルノートなど 4冊も持ち歩きが増えて親ながら気の毒です。 他の自治体のように、軽量ランドナップ推奨するなり、他にも本や教材を、学校に置ける環境をより配慮すべきと思います。	女性(40代)・1人
総合的な内容	交通機関の便数の増加 交通機関路線の充実 各学校がスクールバスを運営する 毎日送り迎えのやりくりが大変。	女性(40代)・2人
	安全な安心な通学路 スクールバスの導入 市バスの本数増加	男性(20代)・1人
	今は、みなさん、高校に行くと思いますが、高校は市街にあり、交通費がかかる上に、電車はちょっとしたことですぐ止まるし、悪天候の際の登校の有無が、家を出なければいけない時間より遅かったりする。	女性(50代以上)・3人

問 14-2-⑥ 配偶者・パートナーのサポートの推進に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
家事・育児分担	子どもと父親で参加できるイベントだったり、父親限定の離乳食講座や子育て講座など。	女性(30代)・1人
	育児と家事は女性の仕事と考えている昭和の男性の考え方が古く、子供がいると女性の負担になるため。	女性(40代)・2人
	今はフルタイム勤務でないし、夜勤もないのでいいのですが、99%の家事が私で、夫はそれが当たり前だと思っています。私としては、何とか保育所の時間までに終わらせないと考えずに、普通に仕事をやれる幸せに感謝して欲しかったです。子供の宿題を見たり、夕食準備して、子供が高校生になれば朝はお弁当を作り、出来るだけ早く職場から帰る分、休日に仕事したり、フルタイムで夜勤もしていた2年前まで「疲れた」と、子供達には「早く」しか言っていませんでした。今の若い男性は随分ましになっていると思いますが、家事育児と仕事の両立がどれだけ大変か、夫を対象に勉強会でも定期的に開いて料理やアイロンのやり方など教えて欲しいです。	女性(50代以上)・2人
	男性に対する、家事育児に関する教育	女性(30代)・2人
	共働きなら家事は半分ずつ	女性(40代)・3人
	夫婦で一緒に日々子育てをサポートし合え、家族と過ごす時間や自分の時間を大切に過ごせるように、特に父親側の子育てを母親任せにする意識が変わるような取り組みをしてほしいです。	女性(40代)・2人
	子育てに一人の負担が大きくならないように周りのみんなが同等に関わるのが当たり前の環境になるように	女性(50代以上)・2人
	・配偶者（男性）側の育児への周囲への理解促進	女性(20代)・2人
	仕事、家事をしながらの育児はかなり負担が多いので、分担したり、気持ちの寄り添いがかなり重要だと思います。	女性(40代)・3人
	家事の分担化。 負担の軽減。	女性(40代)・2人

問 14-2-⑥ 配偶者・パートナーのサポートの推進に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
家事・育児 分担	・プレパパ教室で、父親の在り方について指導してほしい	女性(30代)・1人
	子どもたちのために何が最善か陰悪にならずに会話が出来れば良い と思います。 また、子どもの急なトラブルな際、母親が仕事を抜けて対応する事 が多いとおもいます。父親も気軽に対応できるようになったら良い と思います。	女性(50代以上)・2人
	母親にとっても子育ては分からないことだらけなのに、父親は「自 分には分からない、妻は母親だから分かるだろう」と思いがちで す。それは、母親は子どもを産んでから約1週間、父親のいない病院 で必死で学ぶから、そこですでに経験値に差がついてしまうからで はないでしょうか。そこで、産後1日目から、父親と母親と一緒に病 院に泊まり込んで新生児の世話をするのはどうでしょうか。夫婦で 一緒に悩んで一緒に失敗して、同じ速度で親になればたら、父親の 「他人事」という態度が少しは変わるのではないのでしょうか。	女性(30代)・1人
	保育所、幼稚園などの送迎。 話し相手。	女性(50代以上)・3人
	家事の役割が偏っている	女性(40代)・4人
	家事、子育ては女性がするもの、という固定概念がいまだに存在し ている 意識の問題なので、行政で取り組める具体的サポートが思い浮かば ないが、非協力的な配偶者をもつ家庭を孤立化しないほしい 助けてと声をあげられるためには、何が必要なのか…問題が起きて からでないと見えてこないのが現状。	女性(40代)・3人
職場環境 ・働き方	育休は取得できても、子供の病気や行事ごとではなかなか休むこと ができないので、職場の環境を整えてほしい。	女性(30代)・2人
	・帰る時間が遅く、平日の8割はワンオペなので早く帰ってきてほし い	女性(40代)・3人
	働き方改革が出来ていないため、配偶者の休日が少なすぎる。	女性(40代)・4人
	会社がもっと気を利かせて定時退社させてくれたらいいと思う。、	女性(30代)・4人
	子供が小さいうちは、宿直勤務をなくすまたは減らす。	女性(50代以上)・2人
	夫の労働環境が良くない。給料も安い。 夫の仕事の休みの日が少なく平日はほぼワンオペ育児をしている。	女性(30代)・2人
	子育てしている世代は週末休みを増やす、サービス残業の軽減など あれば助かる。ワンオペしている配偶者の負担軽減してほしい。	女性(40代)・2人
	家事育児休暇 病児休暇 家族休暇	女性(20代)・2人
男性の育休	男性の育休、産休が当たり前の世の中になってほしい。	女性(30代)・2人
	男性の育児休暇取得の推進。 ただ推進するならバカでもできる。休業手当を給与以上にする、勤 務先にも減税や一時金支給のメリット、もしくは増税などのデメ リットを課す。 育児休暇取得で関係者全員得する、取得できなければ企業が損する ようなシステムにすれば、育児休暇100%取得に繋がり、安心してサ ポートができる。 子育てを推進するのであれば、とにかく手厚く。 公務員様のように潤沢な収入がないので、休暇取得で収入が減ると 生活が苦しくなるので、簡単に取得することができない。	男性(40代)・2人
	お父さんの育休は、休暇では無く、お父さんが主となって家事育児 を行うのだという意識を持つように促す取り組み。	女性(50代以上)・2人
	男性の育児時間や育児休暇取得の推進ではなく必須にしてほしい。	女性(30代)・1人

問 14-2-⑥ 配偶者・パートナーのサポートの推進に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
男性の育休	男性の育休	女性(30代)・1人
	男性の育児・家事の協力(残業なし)	女性(50代以上)・1人
	男性の育休制度も女性と同じ制度にする。	女性(30代)・1人
	行政から働きかけて義務化してほしい。 半ば半強制でないと男性の産休、育休取得は難しい。 企業に休業の取得の義務づけと人員確保に対する補助、支援など。	女性(30代)・2人
家事・育児負担軽減	急な予定が入った時に子どもを預ける先がなかなか見つからない。 ファミリーサポートのサービスがあるが、第三者の目がない他人の家に預けたいと思わないので、なるべく人の目がある場所での短時間預かりが出来る場所が増えれば良いと思う。	女性(40代)・2人
	共働きでフルタイムなので、家事の負担軽減ができる制度があると良い。	女性(50代以上)・3人
	病気になった時、家事のサポートシステムがあると負担が減る	女性(40代)・1人
	家事や保育所のお迎えサポート (高熱を出しても夫が仕事を抜けられず、お迎えを頼める人が居ませんでした)	女性(20代)・2人
経済的支援	手当の増額	女性(40代)・4人
総合的な内容	時間的余裕	男性(30代)・1人
	お互いの時間を見直す	女性(50代以上)・2人
	パートであってもそれなりに責任ある仕事なのに、仕事のことを家で話すと『じゃあ辞めたら』と言われるので、次から辛いことがあってもなかなか打ち明けられず、子供に当たることがしばしばあった。 なぜあの時は頑なだったんだろうと反省しきりです。 それを言える関係を築けば良かった。	

問 14-2-⑦ 親族のサポートの推進に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
経済的支援	正職員として働きながら、子育てをしてこれたのは、祖父母の協力があってこそです。食事の用意から、子供の送迎までさまざまに協力してもらっています。 祖父母がいなければ、仕事は続けてこれなかったと思います。 遠方に親族がおられる方には、育児の為に交通費の支援などあれば、いいかもしれません。	女性(40代)・2人
休暇制度	私の両親は県外で、主人の両親は近所だがフルタイムで働いているので気軽に子どもをお願いできる人がいない。主人か私が仕事を休まないといけないので、有給のないパートの場合は無給になったりなかなか厳しい。親族も孫などの看病や世話をするための休暇を取れるように整備してほしい。	女性(30代)・2人
総合的な内容	近くに居て、送り迎えを頼める環境だと、心強く過ごせる。	女性(40代)・2人
	自分の体調が悪い時に預かってくれる	女性(50代以上)・3人

問 14-2-⑧ 地域のサポートの推進に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
安全対策	私は松江市橋北地区在住であるが、 子供達の通学路に街灯がなく、真っ暗な中で通学をしない子ども達が居る。(特に新興住宅街にそういった場所が多いと感じる) そういった場所を対象の子ども達が多いエリアには是非、街灯を設置したい。川に落ちたりトラブルがあってからでは遅いと感じる。街灯設置が難しければ、大人の方が学校からの帰り道に見守って下さるなど、ボランティアの協力を頼るばかりではなく、市や県で対応を強化いただきたい。	男性(30代)・1人
	どの程度、登下校時などのみまもりがあるのか把握していませんが、子どもの安全のため、大変助かると思います。	女性(40代)・1人

問 14-2-⑧ 地域のサポートの推進に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
安全対策	登下校の信号や交差点での見守り	女性(40代)・4人
	子ども会や地域のつながりによる見守りなど	男性(50代以上)・0人
	朝の見守りをして頂いているので、引き続きして頂きたい。	女性(50代以上)・3人
	登下校時の見守りの方には感謝です。その時間に信号などある場所に毎日行かないからです。	女性(40代)・3人
居場所づくり	うちは核家族で、祖父母は遠方に住んでいて、いわゆる鍵っ子です。 もし、鍵を無くしたり忘れたりしたら、家にはいれません。 困った時に立ち寄ることができる場所が近所があれば、とても心強いのかなあ、と常々思っていました。	女性(40代)・3人
	地域の方に子供たちのサポートをしていただけるのが1番いいと思います。 例えば学校帰りの見守りや、 近くの公民館で高齢のかたと遊んだり、勉強をみていただいたり、 そおいった場所があると嬉しいですね。	女性(40代)・2人
	ちょっとしたことを相談したり、子連れで世間話ができるような場所。	女性(50代以上)・3人
	長期休みの時、公民館を開放し勉強や遊びが出来るスペースを増やしてほしい。その際大学生や大人の援助を借りて勉強のサポートをしてほしい。(松江市でも一部このような支援をされているが報道されていた為増やしてほしい。)	女性(30代)・2人
交通の利便性	自家用車以外の乗り物があるといい 地域的にバスの本数が少なかったり遠回りだったりお年寄りも多いので不便だろうと思う 学校近くの歩道に電灯が少なく秋冬は暗く中学生は部活帰り怖いだろうと思う 小学校や公民館に通学路に危ないと感じるところだけでも屋外ソーラーライト(100円ショップで買えるようなタイプ)を設置しませんか?と提案したが1年経つが改善なしでしたうちは困らないけど心配だなあと日々思っています	女性(40代)・4人
	バスやタクシーのかわりに地域の方が学生や高齢者の送迎をしているのをテレビで拝見しました。鳥取県だったと思います。交通事故などのリスクも気になりますが、実際にそういったサービスがあれば利用したいと思いました。	女性(30代)・3人
子育て支援	ファミサポ以外にももっとサポートできる仕組みを作って欲しい。 私の家庭は、旦那の両親は県外、私の両親は市内にいるが、父がなくなっており、母のみ。母はまだ60代前半だから、頼めるがどんどん体力的にキツくなっている。仕事もしてるため、子どもが病気の時などは頼めない	女性(30代)・1人
	見守り隊 家事サービス そうじや、おかずを作ってくれる等	女性(40代)・3人
機運醸成	地域全体で子供を育てる環境が必要。	女性(30代)・4人
児童クラブ	学童の充実	女性(30代)・4人

問 14-2-⑨ 不妊対策に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
経済的支援	助成金対象治療について保険適用となる回数の上限が増えると良い	女性(40代)・1人
	所得制限の見直し	女性(50代以上)・2人
	経済的支援	女性(30代)・4人
	不妊治療にかかる費用が一部保険適応になったとはいえ、体外受精をしていると高額にはなるためその助成をしてほしい。	女性(30代)・1人
	知人から聞いた話でとてもお金がかかるのだなと思いました。子供がほしいのにできない方達のことを思うととても辛いです。治療が高くて諦めなくてはならないといったことがないようにしっかりとカバーしてもらえれば良いなと思いました。	女性(30代)・3人

問 14-2-⑨ 不妊対策に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別（年代）・子の人数
経済的支援	年齢に関係なく補助、支援 助成金の拡充	女性（40代）・1人
	・たくさん不妊治療を受けている人がいるので、金額の負担を減らして欲しい。 ・時差勤務等を受け入れてくれる職場があると良い。	女性（30代）・2人
	助成の拡充	女性（40代）・3人
	費用負担の軽減	男性（50代以上）・0人
	経済的支援、社会の理解	女性（30代）・2人
	体外受精をする人も増えた中、私の時は時間とお金と仕事の両立でへとへとでした。 毎日、食事もしないといけないし。 医療費控除や申請制度だけでは、お金が足りません。 その間だけでも、税金が安くなるとうれしいです。 目に見えないお金が本当にいります。	女性（40代）・1人
	不妊治療にお金がかかりすぎる。 病院が少ないので待ち時間が長く、仕事しながらでは通えない。 でも、お金を稼がないと治療できないので仕事はやめられない。 特殊な治療（卵巣、卵子提供、精子提供）が出来ず、子供を諦める人も多い。	女性（40代）・1人
	不妊治療が保険適用になり、仕事も「不妊治療休暇」などが取得出来れば、治療に取り組む人が増えると思います。	女性（40代）・1人
機運醸成	私が治療していた頃は 不妊治療には多額の費用が必要でした。保険適用除外の治療もあり、かなり経済的負担でした。 今後、治療される方に経済的な問題で治療を諦めなくてもいいような支援をお願いします。	女性（40代）・1人
	家庭はもちろん、職場の応援がないと治療を受けることは大変だと思うが、あまりにもデリケートなので社会全体を応援を！	女性（50代以上）・3人
休暇制度	不妊治療のための休暇を設けてほしい 治療のためのスケジュールが組みにくい	女性（30代）・1人
相談支援	不妊治療は経験がないのですが、悩んでいる方は周りにいます。何が最善なのか私にはわからないのが現実です。 ただもっと気軽に妻も夫も相談・受診ができるような社会になればと願います。	女性（30代）・3人
総合的な内容	・クリニックがもう少し多いと待ち時間が減ると思う ・遅い時間まで対応できるところがあると仕事終わりに余裕をもっていける ・患者同士が会わないように配慮した空間があると通いやすい気がする	男性（30代）・1人
	実費で支払う金額を減額 不妊治療に対する職場の協力	女性（30代）・2人
	補助の充実	女性（50代以上）・1人
	心のケア	女性（40代）・2人
	不妊もですが、不育症に対しても支援頂けると助かります。	女性（40代）・2人
	お金をかからないようにする 不妊治療のもっと世間にPRする	男性（30代）・1人

問 14-2-⑩ 親がリフレッシュできる居場所に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
子どもを預けられる場所・サービス	保育園は就労が条件なので、リフレッシュのために預けるのにいい顔をされない時がある。平日もワンオペで子供を見て、特に預けられない土日は子供を預ける場所もなく自分の時間は取れない。育休中の上の子も短時間保育では家事などして終わりでなにか自分のためにできるわけではないので、標準時間預かれるようにしてほしい。 上に兄妹がいる場合の産休、育休中のリフレッシュは認められないように感じた。家にいるんなら子どもを見て当然という空気が強く、なかなか母が1人で出られる機会はない。	女性(30代)・2人
	当日でも、予約なしでこどもを数時間預かってもらえるところ。	女性(40代)・2人
	居場所をつくってほしいというより、子どもを見てもらえる状況を作してほしい。 近くに親がいたとしても、しょっちゅうは頼れない(頼りづらいなど)場合もあるので、1-2時間でも預かってもらえたら嬉しい。様々な問題があるので、現実的には難しいとは思いますが。	女性(30代)・2人
	産後ケアを利用したのですが、子供を見てもらえてリフレッシュできとても良かったです。 産後だけではなくて、もっともっとういった安心して利用できるサービスがあれば嬉しいです。	女性(30代)・3人
	利用するイベントや施設などでの託児サービス 15分くらいのちょっとだけの時間でもいいので一人でコーヒーをのんだりできるサービスや時間がほしい	女性(40代)・1人
	どうしようもない時や急病の時にすぐ預けられるところが欲しいです。その日すぐに、特に手続きもややこしくないものがないと思います。	女性(40代)・1人
	・商業施設などに時間制で預かる有料サービスがあると嬉しい気はする?	男性(30代)・1人
	保育者常勤の子どもスペースがある施設(子の言動を気にすることなく過ごせて、かつ親と子が近くにいる状態)	女性(30代)・2人
	預かりサービスがあるような場所の充実	女性(20代)・2人
	同年代の子供を持つ親同士が繋がる、一時預かりをしてくれるカフェ等	男性(40代)・2人
	子供を預かってくれて尚且つその場で買い物やカラオケやスポーツの出来る場所が欲しいです。	女性(40代)・2人
	ショッピングモールなどで託児付きの室内遊び場が欲しい。	女性(20代)・2人
	子どもと離れて過ごす時間を最低限一週間に一度はとれるような仕組みづくり。 例えば、保育園や幼稚園の施設の無料開放日を設ける。 (保育士、職員に負担がかからないような運営の仕方をした上で) 子どもが遊べる、習いごとができる大人は映画、お茶が飲める、マッサージを受けられるなど、複合施設内で親子が別々の行動をして過ごせる 商業施設をつくる	女性(40代)・1人
	復職すると親だけでいられる時間は無くなるので、年に一回でも休みの日に預かってもらえるサービスが受けられると良いなと思います	女性(30代)・2人

問 14-2-⑩ 親がリフレッシュできる居場所に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
子どもを預けられる場所・サービス	例えば、スサノオマジックの試合を観ることが好きなので、試合会場に託児があると嬉しい。	女性(30代)・1人
子どもと一緒に出かけられる場所・機会	子連れで行けるカフェやお店がもっと充実するといいなと思います。子どもが遊べる場所があったり、座敷があったりすると親子でリフレッシュできると思います。	女性(30代)・2人
	子どもと参加できるイベントの開催。	男性(30代)・2人
	子どもが小さいとどうしても預けて自分がのんびりすることに抵抗がある。子連れでも気にしないレストランやカフェが増えたり、保育園の一時預かりがもっと気楽にできたら良い	女性(40代)・2人
	子供と一緒に訪れることで、割引が大幅にある公共のサービス施設の設置。 ご飯と一緒に食べれるところ。 温泉 サウナ グランピング施設 道の駅	男性(40代)・3人
	・週末に利用できる子どもの遊び場が充実した施設の増設 ・フードコート以外の飲食店	女性(30代)・1人
	こどもも楽しんでいると安心しながら、リフレッシュできる場があるとよい。託児というより、どちらも楽しめる場、という感じ。	女性(40代)・2人
	・子どもと一緒に聴けるような、短時間の音楽コンサートの開催 ・子どもと一緒に森林を安全に歩ける様な散歩コースの整備 ・せっかく水の都とあるので噴水のような、小さい子どもでも安全に水遊びができるような場所が欲しい。 親のリフレッシュは保育園や祖父祖母に預けて行えるが、いつも園に預けられる子どももたまにはリフレッシュしたいと思う。せっかくなら子どもと一緒にリフレッシュできる場所がほしい。	女性(20代)・1人
家事・育児負担軽減	格安で利用できる家事代行サービス	女性(30代)・2人
	子供が哺乳瓶から母乳が飲めない(完母なので)、カフェ等に息抜きしにいく時に、夫以外に気軽に頼める人が近くに欲しい。	女性(30代)・2人
	子供から手を離れたいと思う時にいつでも呼んだら来てもらえるベビーシッター制度。	女性(50代以上)・1人
	家でいるときの1人時間が欲しい 居場所というか、家でただリラックスしたい いつもじゃないけどそう思います	女性(40代)・2人
屋内の遊び場	おもちゃの広場のような場所で保育士さんに見てもらい、親はコーヒーなど飲みながら休憩できるスペースがあると嬉しいです。 あと鳥取の南部町のキナルなんぶのような図書館が松江市にもあったら最高だなと思いました。新しい市立図書館もそんな感じにしてくれたら良かったのになと思ってます。	女性(40代)・2人
	室内の遊び場をもっと増やしてほしい 玉造のゆーゆのような	女性(30代)・1人
サービス券	ペア食事券のプレゼント(託児つき)	女性(40代)・2人
	1ヶ月に一回程度の美容サービスのチケット配布	女性(40代)・1人
制度改正	里親制度の年齢制限の引き上げ	女性(30代)・3人
	・ファミサポの料金の値上げ ・今はわかりませんが、料金を行政が負担してくれたらママさんは使いやすいくかもしれません、 ・リフレッシュに使うことへの罪悪感等があり、頼みにくいことを耳にしたことがあります。利用の意識改革や個人情報の保護等の周知が必要だと思います	女性(50代以上)・1人
経済的支援	リフレッシュできる施設があるのは知っているが、値段が高すぎる。手当をもらっていても高額は出せないで利用できない。	女性(30代)・4人

問 14-2-⑩ 親がリフレッシュできる居場所に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
所得の向上	松江市は土地代や賃貸代が高額で驚いています。家に静かになれる自分の部屋があれば、リフレッシュできますが、少ない賃金でそんな部屋数のある家は建てられませんし、賃貸は広くても3LDKですから、子供部屋を作ると無理ですよね。 田舎なのに、土地代や賃貸代が高いこと、なんとかなりませんか。それとも賃金が低すぎるだけかもしれませんね。本当に低すぎて、よく皆さんこれで子どもを複数お持ちになれるなど感心しています。リフレッシュできる居場所作りには賃金アップが必須だと思います。	女性(30代)・1人
総合的な内容	家事育児仕事からすべて離れ、のんびり過ごす特別スペース。	女性(40代)・2人

問 14-2-⑪ 保育サービスや放課後児童対策の充実に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
施設・定員の増加	放課後児童クラブの増設	女性(40代)・1人
	学童保育が無い小学校がある その場合、仕事をしている親は仕事をセーブする、もしくは辞めざる得ない状況 各学校に学童保育、もしくはこども広場の充実(4/1から入所、長期休みも開所)を望みます	女性(30代)・5人以上
	今、共働きの家庭が多く、小学校内にある放課後児童クラブに入らない子どもが増えています。学校が終わったら遠い児童クラブまで歩いて子どもが通っている家庭もあるので、学校内の児童クラブの定員を増やしてもらえたら仕事を辞めなくても働き続けられるかなと思います。	女性(20代)・1人
	私が子どもの頃と違い、子どもに対する事件や事故がかなり増えている。 そのため、特に低学年が一人で帰宅、留守番をする事に大きな不安を感じる。 希望者が全員児童クラブに入れるよう早急に整備すべき。	男性(40代)・2人
	保育園に年度途中で入園しようとしても落ちる現状をなんとかしてほしい。また、引っ越しに伴い転園しようとしても、空きがなく入園できない場合もあり仕事をどうすればいいのかと思う。 放課後児童クラブも落ちたら仕事を続けることが非常に厳しい。このような賭けみたいな状態になるのはおかしい。	女性(30代)・2人
	民間運営の児童クラブが増設されるような働きかけ	男性(50代以上)・1人
	夫婦のみで育児をする事になるので、学童などは利用する事になると思います。 希望する家庭が利用できる状況にあると嬉しいです。	女性(40代)・1人
	小学校に通い始めた時の預け先があるか不安なので、数を増やしてほしい	女性(30代)・1人
	保育園や児童クラブが足りていないように思う。	女性(40代)・2人
	児童クラブの増設及び、指導員の増員、施設の老朽化の改善。	女性(40代)・3人
	児童クラブの数がもっとあるとよい。地区によって入りやすいところと入りにくいところがあるよう。狭いところに大人数の子どもがいるところが多いので、一つの施設の定員を少なくし、子どもたちがゆったりと落ち着いて過ごせる環境を作してほしい。	女性(50代以上)・2人
	児童クラブの数を増やす	女性(40代)・4人
	場所や定員が少なく、選択肢が少ない。低学年で辞めざるおえない。	女性(40代)・2人
	放課後クラブの建物の拡張	男性(40代)・2人

問 14-2-⑪ 保育サービスや放課後児童対策の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
施設・定員の増加	施設が少ないと思います。 そして、雲南市は地域ぐるみとNP0で横の連携が優れていることもわかりました。 羨ましく思いました。	女性(50代以上)・1人
	放課後児童クラブが充実してくれると嬉しい。 1人っ子だと、家には誰も居ないし近所も老人ばかりで遊べません。 児童クラブも、公設だと仕事時間や曜日と合わず民間に入れりしかないです。 民間も数は少なく、料金も高いです、なんの為に働いたり児童手当があるかわからない状態です。	女性(40代)・1人
	希望の所に入りにくい。	女性(40代)・1人
	学園児童の受け入れ拡大	女性(30代)・1人
	放課後児童クラブを増やして欲しい	女性(30代)・2人
	放課後児童クラブなどの受け入れ人数を増やす。	女性(40代)・1人
	児童クラブの拡充	女性(40代)・4人
	希望した学童へ入れるようにして欲しいです。公設と私設の利用費の差が大きい。	男性(30代)・2人
	学童の待機児童がなくなるようにしてほしい。また、民間は高いので、保育園のような補助が欲しい。	女性(30代)・2人
	学童の拡充と学童費の補助。	女性(30代)・4人
対象年齢の引き上げ	保育園はずいぶん増えましたが、最近は児童クラブに入りにくくなったと聞きます。児童クラブを増やすことはできないでしょうか。 また、公設児童クラブは3年生までしか通えませんが、4年生になったからといっていきなり子どもが1人で留守番できるようになるわけではないので、いきなり児童クラブの利用が終わるのではなく、4年生になったら週の半分児童クラブで半分留守番のようにだんだん利用を減らしていき、半年くらいかけて完全に留守番に移行するようなことはできないでしょうか。	女性(30代)・1人
	対象年齢の引き上げ。 6年まで受け入れて欲しい。低学年優先でいいとは思いますが、空きがあれば受け入れられるようにして欲しい。	女性(30代)・2人
	3年までは学童があるが4年からはない、親も仕事しながら、子供のことがきになる	女性(40代)・1人
	学校併設の児童は3年までしか預けられずまだまだ危険がいっぱいな年頃なのでもう少し利用したかった。 民間児童クラブは高い	女性(40代)・3人
	児童クラブの利用時間の延長 児童クラブの年齢制限の延長 児童クラブの長期休業のみの利用	女性(40代)・4人
	【4年生以上も安定して入所できる児童クラブを多く設立】 共働き家庭の家が、放課後の子どもたちの溜まり場になっては困るが、子ども自身も一人での留守番に不安をいだいている。 【学校施設の活用】 これから設立される小学校の構造に一定程度の基準を設け、1階の一角を昼は視聴覚室等、夕方は放課後児童クラブとして運用できるような設備を設けてほしい。 【児童クラブ職員の処遇改善】 人的不足を処遇改善により就業希望者を増やす	女性(30代)・2人
	3年生までの児童が多いが、長期休みは6年生まで利用可能で、利用費が高額ではないと有難い	女性(40代)・3人

問 14-2-⑪ 保育サービスや放課後児童対策の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
対象年齢の 引き上げ	実際には、4年生以上やっている学童が、あまりなく、困っている。六年生まで、してもらえよう市として、進めてほしい。天候による臨時休業のときも、みてほしい。保護者送迎の保育園は、普通に、している。親は仕事は、休めない。	女性(50代以上)・1人
	学童保育の年齢制限をなくす。小学6年生までにしてほしい。	男性(50代以上)・1人
	児童クラブの対象を6年生までに広げる	女性(30代)・2人
	児童クラブの拡充。 小学4年以上でも利用できるような場がほしい。	女性(40代)・2人
	公立学童対象を3年以上でも可能にしてもらいたい。 特に夏休み期間中。	女性(30代)・2人
	公設の児童クラブを、4年生の終わりまで通える様にしてほしい(3年生までなのでフルタイム勤務を退職してパートに転職するなど大変でした)	女性(40代)・1人
	現在学童を利用しているが、3年生で終了してしまう点に4年生以降どうすべきか不安を感じている。 これだけ預けなければ働けない環境で、ほとんどの子供達が学童に通っているのだから学校での授業を増やしてもいいと思う。	女性(30代)・2人
	保育園、学童施設の充実、学童の高学年の枠をもうける	女性(30代)・2人
入所条件	上でも書いたが、パート(短時間)で働いている場合、学童保育に申し込んでも落とされる。定員人数の関係で入れないのかもしれないが、働いているので夏休みなど長期休みの預け先がない事が非常に困る。特に一年生の時に預けられなかったのが大変だった。申し込んだ子ども全員通えるようにしてほしい。	女性(30代)・2人
	・パートの人向けに、学童の利用の幅を広げてほしい。	女性(30代)・2人
	児童クラブにみんなが入れるようにしてほしい。 金額も保育園の様に第2子半額など取り入れてほしい。	女性(30代)・4人
	兄弟で同じ保育園に入れない人が多いので兄弟がいる人は保育園を決める際にポイントをプラスしてほしい 送迎に何ヶ所も行くのは時間も労力もかかるので負担になります	女性(30代)・2人
	家に祖母など生活を補助してもらえる環境があると児童クラブには入れない。 子どもが少ない地域なので少しでも同世代の子どもたちと触れ合いさせたいと思っているが、環境がない。	男性(40代)・1人
	自営業だからと児童クラブを落とされた。 自営業でも働いてるのもう少し預かってもらえる施設を増やしてほしい。	女性(40代)・2人
	希望した時に入所できる	女性(30代)・1人
	利用できる条件や審査、定員など関係なしに利用できるようにしてほしい	女性(40代)・1人
	60代の祖父母と同居でも利用できるようにする	女性(40代)・3人
	公設放課後児童クラブの倍率が高く、上の子は祖父母が同じ地区内に住んでいるという理由で優先度が下がり入れなかった。祖父母が近くに住んでいても短時間の仕事や介護などで放課後をお願いできないこともあり、やりくりが大変。来年度一年生になるこの子(双子なのでもう1人いる)も入れないのかと思うとどうしたものかと思う。高齢者に双子を放課後、長期休業など見てもらうのも申し訳なく、しかし子どもが小学生になると仕事のほうももっとやらないといけなくて、来年度からどんな生活になるのか考えると憂鬱。せめて安心して預けられる所が増えてほしい。	女性(30代)・3人
	3歳以上は保護者の就労に関わらず、保育園を利用できるようにする	女性(30代)・2人
	児童クラブの入所条件の緩和。 祖父母同居でもフルタイム勤務の場合は入れるようにしてほしい。	女性(30代)・3人
	兄弟で同じ保育園に入れるかが不安。	女性(30代)・1人
	保育園に入れない	女性(30代)・2人

問 14-2-⑪ 保育サービスや放課後児童対策の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
利用時間	児童クラブの保育時間の延長。	女性(50代以上)・2人
	児童クラブの開始時間が8時からなのですが、8時からでは始業に間に合わないで、今からどうしようかと思っています。夕方まで延長しても、18時半までなので、通勤に時間がかかる保護者にも配慮した時間になってほしい。	女性(30代)・2人
	希望者が全員入所できること、最大7時までだった保育時間を延長できること	男性(50代以上)・2人
	利用時間の延長を長くしてほしい	女性(40代)・2人
	全幼稚園での早朝からの受け入れ、預かり保育の時間延長	女性(40代)・2人
	核家族なので仕事が終わるまで預かってくれる場所	男性(20代)・2人
	小学校に上がったら夏休み中、児童クラブに預けてから出勤すると遅刻になると先輩社員から聞いている。 もう30分早く預けられると嬉しいと思う。	女性(30代)・2人
	親の仕事が遅くなっても対応できるように、児童クラブを平日20時まで開館し、土日や祝日も受け入れる	男性(50代以上)・2人
	仕事にもう少し時間を費やしたいと思ってもなかなか難しいのが現状。	女性(40代)・2人
	共働きの場合で、親族等のサポートがない場合、必ず必要なので、迎えに行くまで安心してみてもらえると大変ありがたい。	女性(40代)・3人
多様な居場所・預け先	学童を延長料金がかかってもいいので各地域19時までのところを作って欲しい(玉湯など)	女性(30代)・2人
	今でも十分だけど、学童に行っていない子どもに対しても、気軽に使える何らかの支援があるといい。	女性(30代)・3人
	不登校の子供がいる場合に預かってもらえる場所があると助かる(父親が単身赴任で平日はなかなか帰って来れないため)。 兄弟関係の行事、例えば、親子遠足、参観日、音楽会、体育祭、部活動の大会など連れて行けない時に預かってもらえると思う。	女性(40代)・4人
	仕事をしていなくても、預けられる体制があると親もリフレッシュしやすい。	女性(40代)・3人
	夜間保育時間の拡充	女性(40代)・2人
	気軽に安心して預けられる施設	女性(30代)・1人
	部活を真剣に取り組みたいと思う子ももちろんいますが、ただこのスポーツが好きだからゆるく楽しみたいだけなのに、そんなゆるい場がないように思います。 いろんな層の場があって欲しいなと思います。 学童と塾や習い事の合の子のような場 稽古事をゆるく触れながら、文化に触れる場 日常に役立つDIYをゆるく楽しめる場 などなど 伝えられる大人はたくさんいるはずですし、それを伝えられる場がもっとあって欲しいなと思います。	男性(40代)・2人
	親が働いていなくても行けるし、行っても行かなくてもフリーな所があるといいです。	女性(40代)・1人
	平日、休日問わず我が家が溜まり場になり、私のストレスが溜まっていった。 気軽に遊べる場所が少ない。 学校の校庭もスポ少などしていると邪魔になる。	女性(50代以上)・2人
	児童クラブで宿題をみてほしい。	女性(30代)・2人
内容の拡充	学童での勉強(宿題等)のフォロー	男性(50代以上)・2人
	希望者がすべて受けられるようにする 児童クラブ内容の充実、職員の指導	女性(40代)・1人

問 14-2-⑪ 保育サービスや放課後児童対策の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
内容の拡充	学童施設の充実 学童施設での昼食提供	女性(40代)・1人
	民間学童の充実と料金減額 我が家は民がですが、公立学童が臨時休校や学級閉鎖等でみていただけないのは大変負担だと思います。その都度仕事を休む訳にはいかないのでは？	女性(40代)・2人
	・学童保育施設にバスを配置して小学校まで迎えに行けるようにしてほしい。 ・小学校の学童保育の枠を広げてほしい。	女性(20代)・2人
	学童を増やす 利用時間の充実 費用の支援	女性(30代)・4人
放課後・長期 休暇の居場所	今の時代は部活もなく、夏冬は暑くて外でも遊べず、どうしても帰ってから家で過ごす時間が多くなってしまい、ゲームばかりにならないように考えて生活している。その結果、できるだけ習い事を入れるようにしており、金銭的な負担も大きい。 放課後にもっと学校で友人と遊べたり、一緒に宿題をして帰る、長期の休みは学校の開放等があったらいいのと思う。	女性(40代)・2人
	放課後児童クラブに、長期休みの期間のみ預けれるシステムが必要。	男性(30代)・2人
	働く親と保育園児が増え、待機児童や保育園のことばかりが全国的に取り上げられますが、極力自分で子供を見たくて幼稚園を選ぶ親もまだまだいます。小学校へ入ってから母親が働いても、子供の下校時には家に帰っていたい親もいます。障がいや病気の子を育てていて通院などあり、思うように働けなかったり預けられなかったりする家庭もあります。 普段児童クラブに行っていない子供が、長期休暇中に通える施設があるととても助かります。	女性(40代)・3人
	休日と時間外の支援の拡大	女性(40代)・2人
	夏休み冬休みなど、長期間の休みも気軽に預けられるようにしてほしい。 今年は初めて料金をお支払いして夏休みも幼保園に行かせましたが、子どもも毎日楽しく遊べ、給食も食べて充実した日々を過ごせました。 9月からの行き渋りありませんでした。	女性(30代)・1人
	・学校が長期休暇時の子の居場所作り（学童に行けない小3から小6年）	女性(50代以上)・1人
一時預かり・ 休日保育	幼稚園入園前、たまに一息つくたくて一時保育を利用したかったが、どこもいっぱいではなかなか利用できず辛く感じました。 自宅保育の家庭がもっと気軽に一時保育を利用できるようになってほしいと思います。	女性(30代)・1人
	保育の一時利用をしたかったのですが、以前問い合わせた際、定員いっぱいなので受け入れできませんと断られた経験があります。現場の保育士さんはきっと頑張ってくださっていると思いますので、負担はかけたくありません。通常業務+あまり慣れていない子どもの保育は厳しいものがあると素人でも想像がつかます。そもそも一時保育専用の保育園を作ってはいかがでしょうか。その際は保育士さんの人数は多めでお願いします。	女性(30代)・1人
	働いていないと保育所に預けられないので、幼稚園に通うまでの日中の過ごし方に困る。特に下の子が幼くて、上の子の相手が難しい場合。 一時保育利用もあるが、産後でもいつまで利用できるのかよくわからない。家庭の状況に関わらず、利用料が多少高くても、週1、2回預かってもらえると嬉しい。期間限定ではなく。	女性(30代)・2人

問 14-2-⑪ 保育サービスや放課後児童対策の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
一時預かり・休日保育	土曜保育が利用しづらい。施設側から無言の圧力で自宅保育を促されます。毎週お願いしないといけない。その度に仕事ですか？と問われます。仕事だからお願いしています。休みだとしても預ける必要があるからお願いしているわけです。 先生方の働き方改革なのか何なのか。子供を預けることが悪であるかのような印象を受けます。 改善を強く求めます。	女性(30代)・3人
利用料	一時保育を利用しているが、料金が高く感じる。働きに出ても、風邪をもらって帰ってくれば看病で休んで、家族の治療費で結果マイナスになっていたりする。仕事も休んでいるので一時保育の利用も控えている。もう少し気軽に利用できるとありがたい。	女性(30代)・2人
	まだ学童の年齢では無いがなかなか入れない、お金が高いと聞くのでそこを解消してほしい。	女性(40代)・2人
	保育延長料を安くする。	女性(40代)・3人
福祉・療育支援	公設の児童クラブでは、学校と連携して、療育に特化した専門性の高い放課後デイサービスを開設してほしい。 市内の放課後デイサービスは児童クラブ化していて専門性がない。	女性(40代)・3人
	放課後デイ、夏休みなどの時期の保育時間の充実	女性(50代以上)・3人
労働環境の改善	保育現場の業務効率化が子どもたちへの保育サービス向上に直結すると感じる。 連絡帳のアプリ化や手続き書類の電子化など、ICT導入により保育士の先生方の仕事を減らす取り組みをお願いしたい。	女性(30代)・1人
	保育士やスタッフの増員	女性(20代)・2人
利用方法	幼稚園の預かり保育の予約が、前月の上旬に提出となっていて、1週間前など。近くなって予約できるようになりませんか。	女性(40代)・2人
総合的な内容	就労に関係なく短時間から預かってくれる施設がたくさんあるとよい。放課後児童預かりの保育料の助成。 放課後支援員の待遇改善。	女性(40代)・3人
	働きながら子育てできる環境づくり	女性(50代以上)・2人
	補助金	女性(40代)・3人
	○保護者会制度やPTAの廃止または外部委託 妊娠・出産など家庭関係なく参加せざるを得ず、夫婦子供のみで援助が受けられない家庭だと難しい また仕事終わりに数時間の会議が入るなど負担が大きいため ○老朽化した施設や遊具の修繕補助 保育施設・保育士不足の解消、待遇改善は切に願います	女性(30代)・2人
	市立の幼稚園が必要なのか？保育園な比べ、充実し過ぎと思う。 学童は、狭い部屋に何十人も入れられ可哀想。 指導員の方も一人の負担が大きすぎる。	女性(40代)・2人

問 14-2-⑫ 病児保育施設の増設に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
施設・定員の増加	病児利用できる施設が少ない 利用人数も少ない 朝から並んで順番をとり、ようやく預けることができる状況だった 体調の悪い子供をつれて、朝早くから並び、子供をあずけ仕事に行くのは親子とも大変 保育園に常設してあればいいと思う	女性(50代以上)・2人
	受け入れ人数、受け入れ箇所を増やしてほしい。	女性(30代)・2人
	病児保育が少なく感じる。働く親にとって色々と負担を感じる。	女性(50代以上)・3人

問 14-2-⑫ 病児保育施設の増設に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
施設・定員の増加	急な病気等に対応出来る程の施設を多く作り、少しでも休まずに仕事出来るようにして欲しい。 例えば今通わせている保育園に病児保育施設等の併設など。あればとても助かります。	男性(30代)・3人
	病気が流行る時期にお願いできないことがあるので、選択肢が増えるといいと思います。	男性(30代)・2人
	気軽に受入機関も多く。	女性(50代以上)・1人
	子どもが小さい時は、預ける先が、争奪戦だった。 また病児保育の施設の運営時間が短く、結局は、仕事を早退、遅刻しなければならないシステムが残念だった。 私は看護師をしているが、夜勤制も導入して、24時間預けるサービスがあれば、 利用者は助かるし、そんな、働き口があったら、検討したい。	女性(40代)・2人
	普段通っている保育園に併設してであると嬉しい、完全な理想ですが。	女性(40代)・3人
	病院の数が少ないので増やしてほしいです。	女性(50代以上)・2人
	近所にあるといいなと感じる。	女性(30代)・2人
	近所に信頼できる人がいるといい	女性(50代以上)・3人
	病児保育施設を増やすため、市立保育所や幼保園は率先して病児保育施設に転換していく	男性(50代以上)・2人
	気楽に預かれる病児保育施設を増やす	女性(40代)・3人
	コロナで預けにくかったですが、それ以前はよく利用していました。預かってもらえる施設が増えると人数も増えて助かります。	女性(30代)・3人
	そもそも近くに病院がない	女性(30代)・2人
利用方法の簡素化	子どもが病気になると仕事を休まないといけないので、いつでも安心して預ける施設があると良い。	女性(50代以上)・3人
	増設というよりは、預ける前に受診が必要だったりの手間がもう少し簡単になるといいのかなと思っています。	女性(30代)・1人
	申込手続きの簡素化	女性(50代以上)・2人
	増設 もっと簡易な利用法 保育時間の拡充	女性(40代)・2人
	預けるまでが大変	女性(40代)・2人
	急な病気に対応せざるを得ない時、前もって予約せずに預かってもらえたら助かると思いました。 風邪で数日間体調が悪い子どもの世話のため、仕事を休むにしても何日休むことになるか予定が立たないので発熱の子どもでも預かってくれる場所があると助かります。	女性(50代以上)・2人
	病児保育施設が少なく、だいたい前日などに探すと満員になっている。または条件が厳しくほとんど預けられない。	女性(30代)・2人
利用時間	病児保育は人数制限されているところもあり、急に休みたいときに利用するのも大変。 病児保育施設の数が増え、一見さんでも制限なく預けられるような施設が欲しい。	女性(30代)・1人
	預かり時間の延長	男性(50代以上)・2人
	保育時間の時間の見直し。フルタイムだと、間に合わない。	女性(40代)・2人
	以前利用した病児保育所は開所時間が遅く仕事に間に合わなかった ので、24時間対応可能な病児保育施設。 通っている保育所内で病児保育を可能にする。	女性(40代)・3人

問 14-2-⑫ 病児保育施設の増設に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
利用時間	時間枠の拡大	男性(50代以上)・2人
	場所の増設。保育時間の拡大（終わりの時間をもう少し遅く）	女性(40代)・3人
	仕事を急に休まなくてもよくなる 時間がもう少し長いといい	女性(40代)・3人
利用しやすい 制度・環境 づくり	発熱時の保育園へのお迎え→病院受診→病児保育をワンストップで お願いできるサービスがあると良い。 富山市が実施しているお迎え型病児保育のイメージ。	女性(30代)・1人
	働きながら乳幼児を育てる上で、この問題は必ず出てくるが、子どもは予定通り発熱したりしないため、突発的な対応ができるとよい。予め登録していても断られるケースがあるようだ。	女性(50代以上)・3人
	コロナの影響もあり、発熱後24時間は登園不可など各園によって条件がある為、2日から3日やすまなければならない場合が多い しかし病児保育施設が少なく、病児保育に預けてまで働くのは子どもがかわいそうという風潮がある（通ってる保育園や保護者間で。）	女性(20代)・2人
	子供がまだ小さい時、病児保育を利用したくても、予約が非常にとりにくく、いつも祈るような思いだった。 それが非常にストレスであった。 （子供が大きくなり体調崩す事もなくなり利用しなくなったため、今は改善されているかもしれませんが、、、） また、病児保育に預けてまで働くという事に罪悪感もあった。 熱があるのに預けて可哀想だとも言われた。 預けてもいいんだという親やまわりの意識改革も必要だと思います。	女性(40代)・2人
仕事と子育て の両立	結局こどもの病気で仕事を休まないといけない 有給消化または欠勤あつかい、	女性(40代)・1人
	子供が小さい時、子供が病気だと誰にも頼れなかったので病児保育があったら良かったです。 そうすると仕事の選び方が違ったかもしれないです。	女性(40代)・3人
	利用の方法やどういう場合に利用できるのかもよく分からないので、下の子は利用したことがない。保育園に通う親への周知をもう少ししてほしい。	女性(30代)・2人
利用方法 の周知	どこにあるのかわからない。情報の発信を積極的にしてほしい	女性(40代)・3人
	病児保育は保育園に併設されている事が多いです。実際は小学校3年生まで預り可能なはずですが、保育園時向けの施設が多く利用しにくいです。 小学生専用の病児預りがあると利用しやすいです。	女性(40代)・2人
利用料	費用負担軽減	女性(40代)・3人

問 14-2-⑬ 子育てに関する相談・指導の充実に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子的人数
利用しやすい 相談窓口とその 周知	相談できる場所があるかさえ分からない	女性(30代)・1人
	相談窓口が明確になっていること、アクセスのしやすさ	男性(50代以上)・2人
	何でも 小さな事でも相談できる分かりやすい窓口	男性(40代)・2人
	困った時にすぐ相談できる電話や窓口を開設してほしい	女性(30代)・1人
	悩んだ時に相談できる人が欲しいです。	女性(40代)・2人
	不登校児童への相談窓口（開放的な窓口）	男性(30代)・2人

問 14-2-⑬ 子育てに関する相談・指導の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
子どもの成長に 応じた切れ 目のない相談 支援	思春期になってからの方が相談したいことが増えた。カウンセラーや相談できる場所が増えるといい。	女性(40代)・3人
	義務教育を卒業後の相談できる場所が少ない。	女性(40代)・2人
	子どもの発達やそれぞれの時期に必要な見守り方を教えてくれる。子どもを誰かに預けるなどの支援ではなく、親が自分の子どもとしっかり向き合せて、親が親としてやるべきことができるような支援。	女性(50代以上)・3人
	発達に不安がある場合、それに対応出来る病院の予約が何ヶ月も掛かるので、対応できる病院や人材の確保が出来て欲しい	女性(40代)・1人
専門職員への 研修	保育園、幼稚園、産婦人科等が子どもとの関わり方を義務化していった方が良いと思う。 出産したもの、子どもとの関わり方について知らなすぎる。 子どもの人権を尊重した子育てや愛情のかけ方ができれば虐待を防げる。子育てもしやすくなる 親が子育てについて勉強する場が少ない。義務的にやった方がよい。 親の仕事上の肉体的、心労的負担によるストレスが弱者である子どもへ向けられるため。	女性(40代)・1人
休日の相談・ 教室	少数派意見かと思いますが…母乳指導の教室が、休日日中にもあると嬉しい。 授乳を続けながら平日はフルタイムで仕事をしていた自分は、平日日中のそのような場には参加したくてもできませんでした。	女性(30代)・1人
養育費	養育費の取り立て。 相手の仕事の特典	女性(50代以上)・1人
総合的な内容	ITの活用。国の制度の活用。幅広い対象児童生徒への細やかな対応。	男性(50代以上)・2人

問 14-2-⑭ 親子が気軽に安心して集まれる身近な場の充実に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
子育て支援セ ンター	子育て支援センターの充実。 また、休日に開くところが増えると良い。	女性(30代)・1人
	子育て支援センターで子供が遊べること	女性(20代)・1人
	子供が小さい頃、よくスティックビルの遊びコーナーに通っていました。ありがたかったと思っています。あのような施設があるといいです。	女性(50代以上)・2人
	・兄弟がいると遊ぶ場所が限られる。(年齢離れると特に) あいあいのような支援センターや人の目がある施設が増えてほしい。 (子ども多数を一人でみるのは負担が大きい) ・日曜日に開いている支援センターがほしい。	女性(30代)・2人
公園	公園が少ない	女性(20代)・2人
	公園や、児童館を増やす	女性(40代)・1人
親同士の交流	親同士が交流できるものが少ないように思います。公民館等の小さなイベントでも結構ですので、親同士が育児の話共有できる場があるとありがたいです。その際は月齢の近い同士や同性の子どもの親同士とグループ分けなどがあると話の共通点が見つけやすいと思います。	女性(30代)・1人

問 14-2-⑭ 親子が気軽に安心して集まれる身近な場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
既存施設の活用	スティックビルの中に憩いの場を作るといいと思います。	女性(30代)・1人
子どもの成長に応じて参加できる場	乳児期に気軽に行ける場所があるといいと思った	女性(30代)・1人
情報発信	健康に出産すると、逆に情報あんまり入って来なかったです。散歩行けるし、工夫するので。ですが、産後うつ傾向のお母さんも、健康で元気なお母さんも、第一子の時は分からない事だらけで、日常に必死です。さらには、すぐ仕事復帰すると、めまぐるしく日常が過ぎて行くので、親子が気軽に集まれる身近な場に行く余裕もないです。疲弊してます。情報も入って来なかったです。新聞も取ってないですし、ネット見る余裕もなく、休める時間があるなら休みたいと思う日々です。少しでも、そんな人の目に付く情報があると嬉しいですね。	女性(30代)・1人
駐車場	市内でイベントがあっても駐車場がなかったり、台数が限られている場合がある。近所の住人は良いが、松江市の外れの住人は参加するのも一苦勞である。	女性(30代)・1人
利用料	・室内を3時間無料で貸してくれる	女性(40代)・2人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
体を動かせる場	企業による屋内遊具を備えた施設の充実と行政による支援	女性(40代)・2人
	室内で遊べる場所がもっと欲しいです。体育館なども公園のように気軽に使用できるようになったらいいと思います。室内競技に触れる機会にもなると思います。	女性(30代)・2人
	公園以外に室内で身体を動かして遊べる場所がほしい	女性(30代)・2人
	室内で遊べる場所を増やしてほしい。屋内遊具等を設置してほしい。	女性(30代)・2人
	思いっきり遊べるアスレチックみたいな場所があるとたすかります。	女性(30代)・3人
	雨の日でも遊べるアスレチック施設 思い切り体を動かせる施設の開放	女性(40代)・2人
	やっぱり無料の遊び場が少ないです！保健センターやゆーゆーに新しくできた遊び場もありますけど、正直遊具とかはいまいちかなと。多少の料金を取ってもいいのもっと楽しめるものがたくさんある広い遊び場が欲しいです。 例えば大きなボールプールがありそこに滑り台がついているようなものや、大きなフワフワドーム等々。 ぜひよろしくお願いします。	女性(40代)・2人
	公園はたくさんあり助かっています。屋内の施設をあまり知らないなので遠方を利用したり、天候が悪い時は家で過ごす事が多いです。屋内で小さい子どもが体を動かして遊べる施設があれば知りたいです。	女性(40代)・1人
	雨天時に運動できる場所がほしい	女性(40代)・4人
	室内で身体を動かせる場所がほしい。	女性(30代)・2人
	室内でも遊べるアスレチック施設などあそびがあれば天候が悪くても思い切り体を動かして親子で遊べそう。	女性(40代)・2人
	室内で安全に体を動かせる場所 年齢や体格によって分かれて遊べる場所	女性(40代)・2人
	都会にあるような、室内アスレチックなど	女性(30代)・3人
	幼児から小学生くらいまでの子供が身体を動かして遊べる屋内アスレチックのような施設があると、運動不足解消にもなりいいと思う。	女性(30代)・1人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
体を動かせる場	雨が多い地域のため、室内で身体を動かしたり体験できる施設、場所	女性(40代)・2人
	親戚のいる山形県では、幼稚園児から小学生までのびのび体を動かして遊べる屋内の遊び場が複数の自治体にあり、とてもいいなと思いました。 ここ最近は夏暑く、同じ年の子どもたちは夏休み家で過ごすことも多いようなので、屋内の遊び場がほしいと切実に願っています。	女性(30代)・1人
	体育館みたいなところ	女性(40代)・2人
	サッカー等する所少なすぎる。	男性(50代以上)・1人
	室内版の公園(ブランコ、滑り台、砂場、ジャングルジム等設置)	女性(30代)・2人
	室内、屋根のある遊び場 図書館などに体を動かせる場所など	女性(40代)・3人
	雨、冬の寒い日に体を動かして遊べる施設がほしい。室内大型遊具や、サッカー、野球などボール遊びができるところ、など。	女性(40代)・1人
	子供が小さい頃、近くに遊べる場所がなく、空き地で遊ぶとうるさがられ、仕方なく家でゲームをするしかない状況だった。広い空き地ができると、マンションばかり建ち、もっと子供達が伸び伸び遊べる環境が近くにあればいいと思います。	女性(50代以上)・4人
	体育館の使用。屋内遊具施設場の建設	男性(40代)・2人
	・室内で身体を動かして遊べる広い施設がほしい。支援センターは特に土日は人が多く、年齢が上がるにつれて窮屈で遊びにくいと感じる。	女性(20代)・2人
	室内遊具の整備	女性(40代)・3人
	雨の日に思いきり体を動かして遊べる場が欲しい	女性(30代)・2人
	雨の日に身体を動かして遊べる場所がもう少しあると良いと思います。	女性(30代)・1人
	室内アスレチック	女性(40代)・2人
	雨が降っても遊べる室内の無料の大型アスレチック施設。(幼児はあいあいがあるが、小学生は雨が降ると体を使って遊べる場がない。)	女性(40代)・2人
	○体育館など走り回ったり簡単な運動・遊びができる建物 ○子供用の室内アスレチックや、学習体験に特化した施設	女性(30代)・2人
屋内の遊び場全般	松江は自然は豊だが室内で遊べる場所が限られている。 室内で体を子供と動かせる場所があると嬉しい。飲食が出来るスペースもあると尚良し。	女性(40代)・2人
	以前住んでいた所でよく利用して子供たちが喜んでいたので、室内アスレチック(兵庫)、梨っこ館(倉吉市)。	女性(30代)・4人
	無料で室内で思いっきり体を動かせる、遊べる施設があると助かります。	女性(30代)・4人
	雨の日に身体を動かして遊べる場所がないと思うから。晴れていれば近所の公園で遊びますが、雨だと、遊ぶ場所が無くて本当に困ります。100万ボルトの店で少し遊ばせてもらったり、図書館に行く位です。	女性(50代以上)・2人
	天気が悪い時にも子ども達が室内で楽しく遊べる広い場所がほしい 本屋さんがもう少しあるといい	女性(40代)・3人
	雨の日は家の中でゲームやネット動画の視聴しかしないので、できるだけ外で遊ばせたいから必要だと思う。	男性(30代)・2人
	自転車や歩いて行ける距離のところに図書館や公園などがあればいいと思う	女性(40代)・4人
	雨の日に遊べる場所を増やしてほしい	女性(30代)・2人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
屋内の遊び場 全般	天候が悪くても公園で遊びたいと言う子供達の願いが叶うところが欲しい。	男性(30代)・3人
	周囲には公園もない。 屋根のある道路や、遊び場がなにもない。	男性(30代)・1人
	松江にはこういったところが無いので、出雲や米子まで出かけています。室内遊園地などに出かけています。	女性(30代)・3人
	市内の公園は悪天候時や猛暑では遊ばせられないため、その際に遊びに行ける施設が欲しい。 普段はイオン松江や動物のいるカフェなどに遊びに行くためお金がかかってしまう。	男性(30代)・1人
	夏が暑すぎて、冬が寒すぎる時に通える場所が欲しいです。	男性(30代)・2人
	松江は秋冬は天気が悪く、公園などでの外遊びが出来ません。 フォーゲルパークはよく行きますが、さすがに飽きてくるし、他にも何か楽しめる施設が欲しいです。	女性(40代)・1人
	イオンなどの商業施設だけでなく、もっと子供が飽きずに遊べて尚且つ料金の安い施設が良い。	女性(30代)・4人
	雨の時に遊べる場所が少なすぎる	女性(40代)・1人
	夏も暑くなり過ぎて外遊びしにくいので、子供も親もストレスが発散できる広い屋内施設があるとありがたい。	女性(40代)・3人
	屋根ありの公園	女性(40代)・3人
	雨や雪の時に遊べる所が欲しいです。	女性(40代)・1人
	全天候型の大規模公園	女性(40代)・1人
	イオン意外に行ける場所が欲しいです	女性(50代以上)・1人
	屋内型の遊び場を作って欲しい。	女性(40代)・2人
	遊べるところが少なすぎる 松江は外で遊ぶにはすごくいいところだとも思うが、室内で遊べる場所が限られている。大型の室内施設をつくれれば、みんなお金を払ってでも絶対に行くと思う	女性(20代)・2人
	商業施設に開放的な遊び場などを増やして欲しい 室内公園など、雨の日でも楽しめる場所があると助かる	男性(20代)・1人
	屋根があるアスレチックや、小学生が遊べる屋内施設(米子市の児童館のような施設)	女性(40代)・2人
	松江は特に雨天時に遊べる場所が支援センター以外にほぼ無い印象。真夏の暑くて公園に行けない日は、何をして遊ぶのかとても悩んだ。私の子どもは自宅保育のため、支援センターばかりだと飽きてしまう。 支援センターは小さい子向きで、思い切り飛び跳ねたりできないので、松江イオンにある室内パークのもっと大きい施設があるといい。できれば料金はもう少し良心的だとありがたい。	女性(20代)・2人
	雨でも遊具などで遊べるができる施設	男性(30代)・2人
	雨の日に遊ぶところがない。	女性(30代)・3人
	公園も運動施設も近くにない	女性(30代)・2人
	雨が降ると遊べるところがない。 屋内で遊べる所がほしい。	女性(30代)・2人
	雨の日の遊び場が少なく感じます。室内で遊べる施設や、施設内のコーナーが増えると良いと思います	女性(30代)・2人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
屋内の遊び場 全般	体育館以外にも、無償で利用できる屋内、屋根付き施設の充実。特に冬期に使用可能な施設。夏場、冷房の効く運動施設。夜間照明の充実と、深夜早朝の利用拡大。	男性(50代以上)・2人
	屋内施設として遊具など気軽に遊べる場がもっと欲しい。 飲食店でもプレイルームがあるところがもっと増えるといいなと感じる。	女性(30代)・2人
年齢に応じた 遊びができる 場	お金をかけすぎず、雨でも雪でも健康的に遊べる施設がほしい。 予約制で低額・小学生以下の子どもが遊べる体育館などがほしい。	女性(30代)・2人
	子どもが大きくなるにつれて外で遊びたがりますが、天気が悪いと公園にも行けないので室内の遊び場に行くことになりませんが、数が限られてるので人が集中して小さい子は特に遊びづらいなと思うことがあります。もっといろいろな場所か増えてくれると嬉しいです。	女性(20代)・1人
	無料でいける支援センターは保育園が休みの土日に空いていないこともあり、雨の日は家で遊ぶ選択肢しかない。また、支援センターは小さい子ども向けの施設が多く、3.4.5歳を連れて行って体を動かしてほしくても怖くて出来ない。乳児向け、幼児向けで分かれた全天候型の施設があればいいのと思う。	女性(30代)・2人
	室内で低価格で。小さいこどもから小学生くらいまで、体を動かして遊べる場所。例、茨城県日立市ハレニコ	女性(40代)・2人
	図書館や体育館など、幼い子どもを連れて行きやすいスペース	女性(40代)・2人
	乳児、幼児、小学生低学年・高学年、中学生別に遊べる場	女性(40代)・2人
	未就学児の遊ぶ子育て支援はあるが、小学生以上も遊べる場があると助かります。	女性(40代)・3人
	雨が降った時にのびのびと体を動かせるスペースがあるとうれしい。幼児はもちろん中学生たちも。 Round 1などあるととてもいいと思う。	女性(40代)・2人
	小さい子もだが、大きい子向けの施設もほしい	女性(40代)・3人
	まだ、歩けない赤ちゃんでも楽しめる場所があればいいと思う。	女性(30代)・1人
	小さい子だけでなく、小学生高学年や中高生でも遊べる室内の施設が充実して欲しい	女性(30代)・3人
	充実した室内遊び場が欲しい。 支援センターにあるようなレベルではなく、小学校中学年程度の子までが思いっきり全身を使って遊べるような施設があるといい。 例えば、 愛知県、こまきこども未来館は公共施設なので参考にさせていただきたいです。 これあったら最高です！！ 近隣の鳥取砂丘こどもの国のように室内外の大規模で遊べる施設もあるといいです。	女性(30代)・3人
	外遊びができないと行ける場所が限られる。特に就学直前の幼児や小学生などは支援センターは利用しづらい、できないなどあり。 有料でも、年齢で遊ぶスペースに区切りのあるテーマパークというか、遊戯施設があると良いです。低年齢の子は安心してゆっくり遊べて、大きな子は思いっきり遊べるような。	女性(30代)・2人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
年齢に応じた遊びができる場	雨の日でも気軽に小さな子を連れて行けるようなところがあると助かります。 家で1人で子供たちをみるよりも他のお母さんやお父さんと話ができ、子供も友達ができるし親のネットワークが広がると思います。 そのような場があると子どもも親も息抜きや気晴らしができるんじゃないかと思います。	女性(40代)・2人
	小学生、幼稚園児向けのもの。	女性(30代)・1人
	基本的に公園が少ない。主要な公園は人が多い。年齢が高くなっても遊べる場所が少ない。それらも含めて遊べる場があると嬉しい。 体育館を開放する日を増やすなど。	女性(30代)・4人
	0-1歳児が遊べる施設が少ないため、増やして欲しい。(一極集中になりやすく、休日は利用しにくい)	女性(30代)・2人
	屋内でのあそび場所を増やす 小学生が体を動かして遊べる屋内施設	女性(40代)・4人
	未就学児の遊べる施設は多いですが、小学生以上が屋内で思い切り遊べる施設がありません。 屋内のアスレチックのような施設があれば、猛暑でも雨でも雪でも遊べていいのになと思います。	女性(40代)・3人
	・月齢に応じて遊ぶスペースが分かれているところ ・屋内公園や人工芝生	女性(30代)・1人
	夏は暑くて外遊びもできません。 このままだと、体力も落ちてしまいます。 冬は、雪や寒さで、なかなかできません。 山陰は、とくにいい気候も少ないので、そういうところにも考慮して、きちんと室内遊び場をつくってほしい。 どこも支援センターも、未就学児で、兄弟が小学生がいたらそれだけでも、行く場所が限られます。 どうぞよろしくお願い致します！！！！	女性(30代)・2人
	外でも遊べるアスレチック場を作りたい(無料) 小学生と乳幼児の部屋を分けるなど安全面を考慮すること。	女性(30代)・4人
	小学生以上だと遊ぶ場所が限られる 行くところがない	女性(30代)・3人
	小さい子でも遊べやすい大型施設の設立	男性(30代)・1人
	小さい子の遊び場は多々ありますが、小学校高学年以上の子供達が遊ぶ場所がない。 フォーゲルパークの近くでも良いので遊園地など遊び場があっても良いと思う。	女性(40代)・3人
	各地域にそれぞれの規模に応じた施設の開放 乳幼児から小学生までがそれぞれ遊べるような場所	女性(30代)・2人
複合施設	室内のレジャー施設など	女性(40代)・1人
	県外には室内遊具の施設がたくさんあるが、松江市にはないので雨の日などはどうやって過ごすのか悩んでいます。 たとえば、ROUND1などがほしいです。	女性(30代)・2人
	キッズニアなどの施設希望	女性(50代以上)・1人
	岡山県の「おもちゃ王国」、子どもが就労体験できる、「キッズニア」など、テーマパーク、レジャー企業の誘致。	男性(30代)・1人
	屋内型アミューズメントパーク等	女性(30代)・1人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
複合施設	イオン松江のような複合施設 松江市は子供連れで出かける場所がありません。雨の日はみんなイオンに大集合です。 橋北に、大型商業施設があってもいいと思いますし、もっとたくさんホームランドームのような施設があったら子供も体を動かすことができて発散できるのでありがたいです。 休みの日に体育館などを安価で開放してくれたら、利用するだろうなあ…と思います。	女性(40代)・2人 女性(40代)・2人
	学びながら遊べる施設。テーマパーク。	男性(50代以上)・1人
	全天候型の広場 スーパーや飲食店の2階などに遊具や広場があるといい	女性(40代)・3人
	雨が多いから、 ラウンドワンの様な場所が何ヶ所かあるとよい、 イオンの中にあるような遊び場が増えてほしい。 イオンに行くとおもちゃやゲームがあつてそっちにいつてしまうので。	女性(40代)・2人 女性(30代)・4人
	屋内のテーマパーク	男性(30代)・2人
	室内アウトレットがあると年代問わずみんなで遊べて買い物が出来るのではないのでしょうか？ スポーツ水泳やヨガやジムは子育て世代にはお金が高くて行けないので子育て世代に補助があれば息抜き出来る場所が出来るのではないのでしょうか！	女性(40代)・2人
	大人も子供も遊べる遊園地もしくはアトラクションがある施設を作って欲しい。 松江には何も無いため若者も減っていく	女性(50代以上)・3人
	アミューズに特化した施設が無い。 遊ぶためだけの施設が欲しい。	男性(30代)・2人
屋根付きの公園・広場	小学生以上の子も遊べる屋根付きの広場が欲しいです。	女性(40代)・2人
	悪天候のときが多い山陰地方は屋根付の遊び場があると、体力作りにもつながるため	女性(40代)・2人
	現状、雨の日や暑い日などは外に遊びに行きたくても遊べる場所がない。 屋根のある広い遊び場があるといいです。	女性(30代)・1人
	公園のような遊具がある屋根がある施設か、屋内施設があると雨の日や暑い日でも子供が遊ばせられるので、家の中で引き籠もらずに過ごせるかなと思います。	女性(20代)・1人
	特に、小さい時は家に2人でいると心身ともに疲れるので、屋根のある公園が欲しいです。	女性(40代)・1人
	無料で遊べる屋根付きの公園 できれば大人から子どもまで楽しめるところ。。。。	女性(30代)・2人
	屋外の屋根付き運動場	女性(30代)・2人
	運動公園のバスケットできる場所にも屋根が欲しい	女性(40代)・2人
	雨や雪の日が多く、夏場も暑すぎるので、屋根の下に遊具がある公園や、花の美術館等、天候を気にせず子ども達と遊べる空間があると嬉しい。	女性(30代)・2人
	少し大きめの屋根があるような公園 せめて砂場だけでも屋根があると良い	女性(20代)・1人
文化施設・体験施設	ゴビウスやフォーゲルパークは最高です。 遊具やお弁当が食べれるところ、お金をかけずに過ごせるところが欲しいです。 支援センターも土日にかけて欲しいです。	女性(30代)・3人
	島根原子力発電所PR館のような、天候が悪い時でも子ども達が楽しめる場所の提供を希望する。 (山陰は雨天の場合が多いため。)	男性(30代)・1人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
文化施設・体験施設	松江フォーゲルパーク、ゴビウス、グリーンパークなどのような施設がもっと増えるとよいです。 無料か、市民割があると良いです。	女性(40代)・2人
	公園も少ないが、そういう施設も少ない。 教育環境の所でも書いたが、出雲は出雲科学館や風の子学習館など雨天でも遊べる施設がある。	女性(50代以上)・2人
	原子力館やゴビウスのような、屋根のある遊び場はあった方がいいと思う。子供達が多少騒いでも、周りの方から理解を得られるような広い場所。	女性(50代以上)・2人
	無料の室内遊び場の充実。 小さい子どもも楽しめたり体験したりできる施設の充実(ゴビウスや原子力館のような施設)。	女性(30代)・1人
	屋内の公園や、体験ミュージアムのような場所	女性(40代)・2人
	子供が遊べる施設が少ない。 出雲のように科学館など、学びと遊びが一体となった施設を設ける	女性(40代)・2人
	体験型の施設を作ってほしい。	女性(40代)・1人
既存施設の活用	「ゆーゆ」や子育て支援センターで取り組まれているような、雨天時に子供が遊べる場所が増えると良い。	女性(40代)・2人
	学区内の公園は充実していると思うが、暑さ、寒さが厳しく、外で遊ばせるのが心配。 学校の図書館や体育館や公民館等、月1でもいいので、(記名等すれば)子供達でも無料で利用できるような場所があればもっと安心して友達と遊ばせられる。	女性(40代)・2人
	公共の体育館など土日になると使用したくても予約でいっぱい使えない。フリーで利用できる(1時間100円)くらいで使える施設が欲しい。	男性(40代)・3人
	公共の体育館、屋内施設の開放 公園の屋根付き休憩所 空き地の活用	女性(40代)・1人
	学校の校庭や地域の公園が自由に使えない	女性(30代)・2人
	・平日や休日に関わらず、使用していない体育館などで親子で遊べるイベント事を定期的に開催する	男性(30代)・1人
	体育館の解放	女性(50代以上)・1人
	体育館利用(廃校を利用するなどして)の充実。使われない時間は開放利用するなど。 悪天候の時に子供が身体を動かして遊べる場所がなさすぎる。 屋根付き公園があるとよい。 大型施設の屋根付き駐車場を遊び場にするとか。 低い山など小さい子でも安全に登れるように整備するとか。	女性(40代)・2人
子育て支援センター・児童館	子育て支援センターの「あいあい」の様な場所が橋南だけでなく橋北にも欲しい	女性(40代)・1人
	現在支援センターなどあるが、かなり人数が多く混雑する時などあるので市内にもう少し支援センターが増えると嬉しい	女性(30代)・1人
	児童館のようなものがあるとよかった。	女性(40代)・2人
	土日も開いている支援センター	女性(30代)・1人
	我が子が小さい頃、あいあいを非常によく利用させていただいた。ただ天候が悪いとすごい混み具合だった。あいあいのように広くなくてもいいので、小さなものがいくつかあると良いのではないか	女性(40代)・2人
	土日祝日も空いてる支援センターや児童館みたいなのこ(無料で使用できるとこ)	女性(20代)・2人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
無料	無償で遊べる屋内の施設	女性(20代)・2人
	雨の日に予約なしで、無料で子どもを遊ばせる事ができる施設が思い当たらない。夏場、外が暑すぎて、屋内で遊ばせたいが、遊べる施設が少なく、思い当たらない。	女性(30代)・2人
情報発信	これも同様で、情報がどこを見ればあるのか、どこに聞けば良いのか、全然分かりません。 もう少し、分散して子どもが伸び伸びと天気を気にせず遊べる場所が、分かりやすく、たくさんあると嬉しいです。	女性(30代)・1人
木育	木のおもちゃが充実した室内の遊び場があると嬉しい。(木育)	女性(30代)・1人
親子での利用に配慮した施設	原子力館のような、授乳室やおむつ替えスペースもあるような遊び場が欲しい。	女性(30代)・2人
総合的な内容	無償で雨の日、猛暑日に子供達が遊べる施設の建設 瑞穂ハイランドみたいに使わなくなった施設、土地等、島根県東部にも多々あると思いますので小さい年齢問わず自然と触れ合える施設の建設	男性(30代)・2人
	・天気が良くても公園の遊具が使えない公園が多すぎる。	女性(40代)・3人
	公園がすくない。 雨天でも遊べる屋根付きの施設がほしい。 室内プールの増設。	女性(40代)・2人
	無料で遊べる室内遊技場 無料で遊べる体育館 屋根のある公園 または、 畳やキッズスペース、座敷のある飲食店の増設	女性(30代)・1人
	・水遊びができる公園や屋根付きの公園があると本当に助かります。 ・北公園のミストは下にあるベンチが木なので濡れて湿ってしまい座れません。 ・遊具が点在していると、さまざまな年齢の子どもが分散して遊べて安心です。	女性(30代)・1人
	室内、室外問わず遊び場が少ない。市内は老朽化した公園が多く、遊ぶ際は出雲や米子に行くことがほとんど。	女性(30代)・2人
	小1の孫を遊びに連れて行きたいが、市内で遊ぶ場所が少ないように思う	男性(50代以上)・2人
	周りの目を気にせず暑すぎず寒すぎず遊べる場所があればいいですね。	女性(50代以上)・2人
	屋内で遊べて体を動かすことのできる施設がほしい。 働いているから送り迎えができずに子供にやりたい習い事をさせてあげられないのは辛い。 平日の早い時間だけではなく、スポーツ教室などをもっと増やし、保育園や小学校が終わってから行けるような場所があればいいと思う。	女性(30代)・2人
	ジム、医療施設などはたくさんできるのに子どもを思いっきり遊ばせれるような室内の施設が少ない。子育てしやすい地域と松江市役所の方に言われましたが、全く私はそう思いません。 公園へ連れていくにも近くに公園がないので車で行くしか無い、車で行くのと駐車場代がかかる、など子育て世代に優しく無いです。	女性(20代)・2人
	県外から松江に来て、子供が小さい頃に大変だったのが、山陰特有のお天気でした。 外遊びさせたくても、雨が多く風が強い日が多いためです。また、大きな公園はありますが数が少なく車でないと行けません。近所に少しだけ遊ばせるような広場や公園がありません。 体育館の解放や、体を使って遊べる施設(キドキドなど)の誘致を期待します。	女性(40代)・2人

問 14-2-⑮ 天候に関わらず過ごすことができる遊び場の充実に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
総合的な内容	子どもの居場所が少ないように思う 勉強する場所も少ない 遊び場はイオン、フードコートで勉強しようにもはかどらない、周りからは騒いでいる学生と見られる 自由であたたかい見守りのあるスペース作りをしてあげたい	女性(40代)・3人
	都会は、いろいろな設備がある。近くに遊園地や動物園がないかわりに、遊べる施設がもう少しあるとよい。	女性(40代)・3人
	とにかく遊び場が少ない	女性(30代)・2人
	気候にかかわらず松江市には親子、友人、夫婦等が遊んだり出かけたりにする場がありません。 同時に観光も友人や親族が来ても連れて行く場所も少なく若い人が市外に出て行ってしまう気持ちもわかります。 例えば閉店が決まっている一畑百貨店は立地的には市内外からも出かけやすい場所にあります。跡地に劇場、ライブハウス、カフェ、ボウリング、カラオケ、室内遊戯場、学生達が勉強できるスペース等そんなコミュニティな場所になればいいのではと個人的に思います。	女性(50代以上)・3人
	松江市はとりあえず遊び場が少ない気がします。 行ける所は何回も行ってマンネリ化してしまっています。 なので出雲や米子などに遊びに行くことが多いです。	女性(40代)・3人
	・支援センターの充実 ・幅広い年齢層が身体を動かせる体育館のような場所の提供、開放 ・公園にテントを貼って頂けると助かる ・公園に冷房完備の建物の設置	女性(30代)・2人

問 14-2-⑯ 社会全体で子育てを応援する意識を高める取組に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
社会全体で子育てを応援する機運の醸成	子育て世帯に優しくしろとは言いませんが、子どもが泣いていたたり、大きな声で遊んでいたりとうるさいと言っている高齢者も見かけるので、子どもがのびのびと過ごせる環境になるといいなと思います。	女性(20代)・1人
	社会全体での意識を高める事で、会社での子供に関する休みを取得しやすくして欲しい。 親が平日に休みの場合に、放課後児童クラブに預けていると、預けないで親が面倒見ないといけないというような目で見られるので、親の自由時間の確保も考える社会になって欲しい。	男性(30代)・2人
	子連れだと、子どもの泣き声などに対して冷たい視線や言動があったり肩身の狭い思いをすることも多い。 行政が子どもを大切にする姿勢をアピールしてくれると嬉しい。	女性(30代)・1人
	本来子供に家庭で教えるべき事を実践するのがなかなか難しくなってきたと思います。 「応援する」というか社会全体で「子育てをする」のはどうでしょうか。 将来子供がひとりで生きていけるように、学校の家庭科以外にも家事やお金の管理などを教える場があると良いと思います。	女性(30代)・1人
	子供がいる家庭は定時終業できるような職場が増えるよう行政からの後押し。	女性(40代)・2人
	子どもの病気などの欠勤に理解がある	女性(40代)・1人
	子供がいなくても関係ないではなく、子育てしている同僚や社員がいれば一緒に子育てをする気持ちで歩み寄り、声かけや、できる範囲でサポートが出来るといいと思います。	女性(40代)・3人

問 14-2-⑯ 社会全体で子育てを応援する意識を高める取組に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
社会全体で子育てを応援する機運の醸成	皆で子育てするという意識が必要 根底から見直さないと難しいと思う	女性(40代)・1人
	根本的には、市民一人一人の意識の問題なので難しいと思います。 休日などに親が付き添わなくても地域で子供と遊んでもらえると助かります。	男性(50代以上)・1人
	子どもをうるさいと思う大人への対策	女性(40代)・1人
	急な熱や呼び出しで謝ることばかりです。全員じゃないけど、やっぱり度々だと嫌な顔される事も多く、そのへんの理解がもう少しあるといいなと思います。	女性(30代)・2人
	特に中年から高齢の方にこれからのあなたたちの生活を支えるのはいまの子どもたちだという意識をもってほしい。ポスターやCM、広報で伝えていけると思う。 年少扶養控除がなくなったことを知らない人多すぎる。そういったことを発信せずに新たに追加された子育て支援だけ発信しているから「いまの子育て世代は恵まれている」という意識を感じるし実際に言われたこともある。まずは知って、寄り添える社会になってほしい。 スーパーの駐車場など障がい者専用スペースだけでなく子ども連れ専用スペースがあってもいいと思う。特に小さいこどもを連れていると駐車場から施設に入るだけで大変。	女性(20代)・2人
	インターネットで「道路族」という言葉を見ました。子どもが公共の道路で遊んだり自転車の練習をしたりすること、それを黙認する親のことを、常識がないとかマナーが悪いと蔑む言葉のようです。確かに、危険なことをして遊んでいたら良くないとは思いますが、どこにでも公園があるわけではないので、近所の子どもが集まって道路を駆け回って遊ぶ姿は、とても健全だと思います。子育て世代がどんどん萎縮してしまう風潮があると思います。温かい目で見ることのできる心の余裕が、市民から失われているように感じます。	女性(30代)・1人
	温泉に「子供歓迎してる施設です。子供はじっと座って湯に浸かることができます。ご理解ください」ってゆうポスターを貼る。 飲食店にもスーパーにも同じようなポスターを貼る。	女性(30代)・3人
親族以外の人の関わり	世代を超えて交流できる場所づくり 親でも先生でもない 斜めの関係を増やしたい もちろん、安全で安心できる場所、ひと	女性(40代)・3人
	お互いの気持ちが大変だが、こんなことは迷惑だよ、ここは危ないよ、と他人が言ってくれれば親が注意するより、わかりやすく伝わると思う。昨今は無関心だったり、不審者の影響だったりで声掛けは難しいが、大事なことだったのでは、と感じる。	女性(40代)・3人
	高齢者と子供が触れ合える機会があると良いと思います。	女性(30代)・3人
	子どもに声をかけたらみこぴーメールの不審者にされそうで声をかけられない雰囲気がある気がします。	女性(50代以上)・1人
経済的支援	子供が成人するまでの資金支援 国からの教育資金補助	女性(40代)・4人
	少子化問題と謳っていろいろするより減税をしてください	女性(30代)・2人
	各種割引制度の創設 就学時の支援 子どもも参加できる地域ボランティアの活性化	男性(50代以上)・0人
親子で出かけやすい環境づくり	子どもと一緒にいく場所（買い物や図書館、美術館など）で入り口近くに車を停めれる。 近くの公園が遊具がなく、休みの日は朝からグランドゴルフ？か何かをしていて全然使えないので、一部でも遊具を置いて子どもが遊べる場所にしてほしい。	女性(40代)・2人

問 14-2-⑯ 社会全体で子育てを応援する意識を高める取組に関するご意見（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
親子で出かけやすい環境づくり	病院や歯医者、眼科など子ども連れで行きにくいところに、子連れウェルカムや保育士在住の病院、施設が増えてほしい 子連れオッケーでも泣き声が気になる方や自分の子が泣いてしまったらどうしようと不安になるので、自分が診察してもらってる間だけでも見てもらえると嬉しい、行きやすい	女性(20代)・2人
企業への支援・休暇制度	中小企業へ、働くママさん雇用すると特典がある	女性(40代)・3人
	企業の子供の急病、などの休みを充実	男性(30代)・1人
子育てをしていない人への支援	子どもがいない人や家庭に、子育てについての理解を求めるのは、現実的には厳しいことだと思う。子育て世帯でない家庭の金銭的負担や時間的負担を減らすことができれば良いと思う。 子どもがいない家庭の自治会費を数百円でも減らす、清掃活動などの回数を減らす等。	女性(30代)・2人
	どうしても保育園から呼び出しがあったりすると未婚・子なしの人に負担がかかりやすいので、会社としてもそういった方に給料を上乗せしても良いと思う。	女性(30代)・2人
地域との関わり	地域のイベントに参加して、子供達を近所の方々に知ってもらっているだけで何となく心強いです。子供対象のイベントが増えると嬉しいです。	女性(50代以上)・2人
	子どもの登校帰宅時のパトロールを高齢者にお願いする(不審者対策) ボランティアではなく、高齢者へ仕事として報酬つきで運営していく。	女性(40代)・1人
学校との関わり	コロナも含め、学校側の生産性やゼロベースにより、教員が保護者と交流する機会が気薄になっている。 教員と保護者だけではなく保護者同士が集まるイベントも少なくなっており、相互扶助や理解を深めるきっかけがなくなっているように思う。 参観日後の先生からの案内などの参加率も極端に低い。	女性(40代)・3人
好事例の横展開	良い取り組みをしている企業、団体等がどこか知りたい	男性(50代以上)・1人
子どもの人権の尊重	子供の頃からの自己肯定感や愛されているという実感が持てること	女性(50代以上)・2人
仕事と子育ての両立	フルタイムで働きたかったが、周りに頼れる人がいない事、子供が3人いて病気の事を考えると、アルバイトやパートでしか無理でした。	女性(40代)・3人
職業体験	企業への自由見学等を通して、交流 お仕事体験など	女性(40代)・2人
相互理解	・学校や保育施設で働く人への感謝の気持ちをもつ	男性(50代以上)・3人
相談支援	不登校児童への相談窓口(開放的な窓口)	男性(30代)・2人
父親の理解促進	子育てについて、母親が話を聞きに行ったり、情報を得る事が多いと思うが、父親ならではの話を聞ける所を増やし、父親にもいろいろな情報や知識を得て欲しい。そのための場所があると良い。また、祖父母ならではの情報が得られるものもあって欲しい。	女性(30代)・2人
労働環境	個人への負担が大きい社会だと感じています。毎日育児+仕事+家事。休日は食材の買い出しや家の掃除。そもそも週5日、8時間労働がベースなのがそもそも無理だと思いませんか。通勤時間等含めると、ほとんど自分の時間はありません。社会的に週休3日、6時間労働の方が業務効率も上がり、家族で出かけたり、心の余裕をもって過ごすことができ、購買意欲も高まったりとメリットもありますので、松江市で率先して社会実験をしては？もちろん賃金は減らさずに。どうすれば可能かAIに計算させれば良いと思います。また、妊娠休(有給)の導入も希望します。心身への負担の大きい妊娠中に仕事させるなんて、社会がおかしいと思います。	女性(30代)・1人
総合的な内容	幼い子どもが居る家庭が、住める長屋があると困った時は、一緒に協力出来で良いのではないかと思います。	女性(50代以上)・3人

問 14-2-⑰ 親子で参加できるイベントの開催に関するご意見

分類	内容	性別(年代)・子の人数
親子参加	ボランティア活動、工作、釣りなど 家族で楽しめるものなら何でも。 コロナで中止になっていたイベントも復活してほしいです。	女性(30代)・4人
	夏休み以外でも土日に親子で参加できるイベントやものづくり教室 があると嬉しいです。	女性(40代)・2人
	親子ヨガ	女性(40代)・2人
自然	アウトドアのイベント	女性(50代以上)・1人
	キャンプや魚釣り、ハイキングや登山。実際に触れて見て体験することによって自ら学ぶ機会の多いイベントが増えるとよい。	女性(50代以上)・3人
	自然体験や、学校で学べるもの以外の学習など	女性(50代以上)・3人
音楽・芸術	赤ちゃんコンサート、体験型のアートイベント	女性(30代)・1人
	まだ走り回ったらできない0歳児から参加できる音楽イベントなど。	女性(30代)・1人
スポーツ	ボーリング大会 バレー大会 ドッジボール大会	女性(30代)・1人
	スサノオマジックとバスケットボールができるイベント	女性(30代)・2人
料理	季節や行事などにちなんだ料理やお菓子、工作など	女性(40代)・2人
	料理教室、謎解き	女性(30代)・2人
年齢に応じた 内容	1歳児頃まではベビーマッサージ、1歳以降は体を動かして楽しめるようなイベント。	女性(30代)・1人
	未就学児の学びの機会	女性(30代)・1人
複数学年	幼児から小学生まで一緒に楽しめるイベント増やしてほしい	女性(40代)・3人
情報発信	イベントはやっているみたいだが、いつも終わってから知る。 体を動かす系のイベント。	男性(40代)・1人
体験	自然体験、職業体験など。	女性(40代)・3人
地域資源	松江市の食材を使ったクッキング教室や松江市内の観光バスツアー等、住んでいる場所の良いところ等親子で再発見があるのではと思います。	女性(50代以上)・3人
フリーマーケット	ベビー服や子ども服のフリーマーケット、離乳食も提供されるマルシェなどがあると楽しそう。	女性(30代)・1人
総合的な内容	今もいろいろな企画を開催してくれていてありがたい。今後も子どもが楽しめる企画を開催してほしい。	女性(30代)・1人

問16「子育て支援についてのご意見・ご要望についてお答えください。」の自由記述回答数

自由記述の分類	分類別 回答数	掲載 ページ
合計	208	
経済的支援	33	84
経済的支援（中高生）	17	86
経済的支援（制度の見直し）	14	87
経済的支援（教育費）	5	88
経済的支援（大学）	4	89
経済的支援（給食費）	2	89
経済的支援（物品）	2	89
経済的支援（子育て支援事業）	1	90
経済的支援（保育料）	1	90
公園・遊び場	10	90
安心して子育てできる環境づくり	9	91
他自治体の事例	8	91
仕事と子育ての両立	7	92
福祉・療育支援	6	92
利便性の向上	6	93
医療費	4	93
医療費（高校生）	5	94
医療費（中学生）	1	94
医療費（予防接種）	2	94
親子で出かけやすい環境づくり	5	94
子育て支援制度	5	95
認定区分・入所	5	95
教育	4	95
松江市のいいところ	4	96
情報発信	3	96
アンケートについて	3	96
教職員の研修・拡充	3	97
切れ目のない相談支援	3	97
施設整備	3	97
食の支援	3	97
多様な居場所・預け先	3	97
ひとり親世帯支援	3	98
保育料	3	98
制度の見直し	2	98
市役所について	2	99
行政について	1	99
スポーツ	1	99
医療機関	1	99
親同士の交流	1	99
子どもの豊かな体験・経験	1	99
児童クラブ	1	99
社会全体で子育てを応援する機運の醸成	1	99
多様な価値観	1	99
病児保育	1	99
幼稚園の給食	1	99
総合的な内容	6	100

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望

分類	内容	性別(年代)・子の人数
経済的支援	物価高騰による、家計への負担軽減のために未就学児童が居る家庭に縛って、経済支援をお願いしたい。例えば、現金など。	女性(30代)・2人
	お金に悩まなくてもいい、子育てがしたい。	女性(40代)・2人
	お金があれば、とりあえずどうにでもなる。	男性(30代)・2人
	子どもを持ちたい家庭が安心して産める経済的支援、不妊治療による経済的負担軽減も期待します。	女性(40代)・1人
	子どもに支援して下さるのはありがたいし、してほしい支援もあるのだが、子どもが節目の年は祖父母がお祝いしてくれたり、どこか家庭でもあるのではないかと。祖父母にもそういう手当てがあると良いと思う。	女性(40代)・1人
	物価高で実質賃金も上がらない状況で子供にかかるお金も多く生活が苦しいです。子供のいる家庭にもう少し金銭的に手厚い支援があると嬉しいです。 他の自治体では子育てに力を入れておられるところがあると聞きます。松江市も取り組んでおられるとは思いますがより一層の取り組みをお願いします。	男性(40代)・3人
	例えば医療費は無償化までしなくても、必要な時に受診できる程度の金額はかかってよいと思う。ただし、保育料や給食費は金額を下げてほしい。	女性(30代)・2人
	何よりも手取りが増える仕組みが必要です。子供が経済的負担なのは明らかなので少しでも育てやすい環境作りをお願いします。	男性(30代)・1人
	日本の総労働人口は40年後には2650万人も減るデータがあるが、ベビーブームはおろか少子高齢化に歯止めをかける気は、国も自治体もないと感じている。子育て支援などケチくさいことは言わず、子供が1人生まれたら1000万円など真なる異次元の少子化対策を打ってみればよいと思う。その子が大人になれば納税し元を必ず取れる。原子力交付金などを異次元の子育て支援に回してみるのはい定の理解が市民から得られると思う。ただ、マイナカード窓口対応などみてまして、公務員にそれだけの実行力があるとは思えません が。。。あおってすみません。	男性(40代)・1人
	色々な費用の無料化。 給食費、高校、大学。	男性(40代)・1人
	出産費用が高い 保育料高い 児童扶養手当の収入制限撤廃 土日保育可能な保育園が欲しい 子供の遊び場がない	女性(20代)・1人
	地域のスーパーで使えるクーポン券を配るなど手当を厚くしてほしい。税金の使い方を見直してもらいたい。	女性(30代)・1人
	松江市は、子育てに関する経済的支援が多く、ありがたいです。 ですが、国として、多子では所得税の割合を減らすなどの経済的支援をしてほしい。	女性(30代)・3人
	食品にしろ、ガソリンにしろ何にしろ価格が高騰しているので、減税してほしい。	女性(40代)・3人
	とにかくお金が掛かると、家事などの時間が足りません。	男性(50代以上)・1人
	少しでも経済的負担を補えるように児童手当の増額を検討してほしい。	女性(30代)・3人
	子育てにはとにかくお金がかかります。 大学進学入学祝い金などあるといいと思います。 子育て世代の従業員を抱える会社とそこの従業員さん全員が優遇される仕組みも欲しい。	男性(40代)・3人
	夫婦で仕事をしなくても、一人分の給料でお金の心配をせずに暮らしたい。子の年齢が進むにつれ、交通費や食費などの生活費、学費がかかるのに、医療費の無償化が無くなるなど、急に負担感が増す。とても不安。	女性(40代)・2人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
経済的支援	多子世帯は大変お金がかかります。 一律に経済支援するのでなく、多子世帯への厚い支援をお願いしたいです。 我が家は、習い事や塾、県外の大学進学など、子ども4人の教育にかかる金額が多額です。 子どものためならば何とかしてやりたい、との親心でがんばっています。 どうか、よろしくお願い致します。	女性(40代)・4人
	増税に物価高が進み今まで以上に子育てに対する壁が高くなってきました。 少子高齢化が進み、今後の税収は減る一方に感じてしまい更に増税が進むような気がします。 そうすることで若い世代は更に出産することに壁を感じてしまいます。 今の日本は悪循環を繰り返してる気がするので、福祉、医療面など高齢者が意識する政策以上に子育て世代や子供に関係する政策を進めてもらえることを期待してます。	男性(20代)・1人
	本当に経済的に余裕があれば何人でも産めるだけ産みたい。 これだけ少子化が進んでいるので、すぐにでも子育て支援を手厚くなることを願っています。	女性(20代)・2人
	未来の日本を担う子どもに税金を有効活用してほしいと思います。 自分の子どもを産み育てることを、家計の負担と捉えないような経済支援をしてほしいです。	女性(30代)・1人
	中学生の医療費無料化は非常にありがたいです。 ただ、それ以外の部分でお金はまだまだかかります。 子育て世代の税金減額、または児童手当やサービスの拡充をお願いします。	女性(40代)・2人
	経済面でもっと支援がほしい。そのせいで子供の体験や選択肢を減らしたくない。	女性(30代)・2人
	子育てするのに必要な手当を増やしていただけると大変助かります。 主人と離婚を前提に別居中で金銭的には離婚してるのと同じ状況なのに、正式に離婚してないから母子家庭の手当も給付も受けられず、毎月生きていくのに精一杯です。	女性(20代)・2人
	お金がかかるので、手当が欲しい。	女性(50代以上)・2人
	児童手当など、子育て世帯への経済的支援や、納税負担の軽減をしっかりと検討してほしい。物価の高騰など、経済的な圧迫ばかりで、子供の将来への備えが十分にできず、不安がある。今の生活を守るために、子供の将来を犠牲にしたくない。	女性(30代)・3人
	我が家と言えば、金銭的な支援と、休日の遊び場、過ごし方が現在の希望です。いろいろチェックしましたが、それ以外は強いて言えば、もしくは他に困っている人がいると思ってチェックしました。 金銭面ではほんとに将来的にも心配なので、どうにかできないかなと思います。	女性(30代)・3人
	児童手当の拡充と、医療費の無償化	男性(40代)・2人
	定住化に向けた住宅手当の補助、支給	男性(40代)・3人
	single parents should have exemptions on paying gov't taxes.	女性(30代)・2人
	とにかく経済的な支援が欲しい	男性(30代)・1人
	とにかく経済支援が1番助かります。	女性(30代)・3人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
経済的支援 (中高生)	子どもが大きくなるにつれ、お金がかかります。小さい子どもばかりの支援ではなく中学、高校生の子ども達にも子ども支援の充実化をお願いします。同一家族で暮らしてる母子家庭で家族の金銭的支援を受けておらず関係ない親の所得、兄弟の所得で児童扶養手当が停止して手当てが貰えない事により母子家庭の親子の生活が苦しくなっているのが現状です。対策をお願いします。	女性(30代)・1人
	子育て支援は乳幼児のいる家庭中心になってきて、中高生に対する支援が手薄。授業料だけが支援ではないと思う。 子供がたくさん欲しいと思っても現実的に無理だと思ってしまう世の中。結局生きていくためには経済的に余裕がなければ、何人も産むのは難しい。ここ近年、すべて値上げされている現状を打破できるものがあればいい。	女性(40代)・2人
	お金のかかる高校生以上の補助	女性(30代)・2人
	20年以上3人の子育てを母子でしてきて思いますが 中学生や高校生になってからの部活等にとってもお金がかかります 部活によっては道具や遠征の費用などとても高額で、でも自分がしたいという意味もしっかりある年齢ですし 青春のど真ん中の彼ら彼女たちのやりたいを応援してあげたいのが親の気持ちですから何とか頑張ろうとしますが なかなか厳しいです。 キャッシングで借りて毎月支払いに追われるような日々です。 なにかしら補助や援助して頂けたら嬉しいですね 心から、やりたいならやりなさい！と言えない現実です。	女性(40代)・3人
	未就学児だけでなく、 中学生以上の子供を育てる親の支援やサービスが希薄だと思う。 経済的負担は、ここからだみんな分かっている。 そうしなければ、この時代に 出生率なんて上がらない。 働く大人になる準備をしている世代の子どもたちに、どうか、楽しい企画や松江市の仕事の魅力を提案してほしい。	女性(40代)・2人
	20歳まで、子育てに金にかかる。それを理解した方がいい。金がなければ、気持ちも負担が大きくなり、産んでも子が可哀想と思えてしまう時代。20歳が大人と言う基準ならば、それまで支援が必要なのでは？	女性(30代)・1人
	高校からかなりお金がかかるので、子供手当を延長してもらえるとありがたいですm(_ _)m	女性(40代)・3人
	うちの子が小さい時は、産婦人科、保育費、医療費も大変だった。 今は小学校まで補償があって良いと思う。 反対に子供が高校生になると途端に家庭での費用が増える。それが辛い	女性(50代以上)・2人
	どうしても小、中が中心 高校生にも児童手当の拡充を。	女性(50代以上)・2人
	子育て支援といえば、妊娠・出産、乳幼児期、小学生まではどこの自治体も手厚い傾向にあるが、中学生以上になると急に手薄になる。高校卒業まで継続した支援があると長い目で見て少子化対策につながると思う。	女性(40代)・3人
	子育てはどうしても未就学児にスポットをあてがちですが、高校生もまだ子育て真っ只中です。 扶養控除だけでは厳しいと思います。医療費無償化、学校費用の減額（低所得者だけでなく、そもそもの減額）その他支援があると助かります。	女性(40代)・3人
	18歳までしか支援がないのが気になる。 18歳までは実際そんなにお金がかからないと思う。やっぱり大学に行くときにすごくかかる。小さいときだけ補助があるのはおかしい！いくら18歳では成人と行っても この時期が1番負担を感じる。	女性(40代)・3人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
経済的支援 (中高生)	子供が保育園に通う年齢からひとり親で子育てしながらフルタイムで働いてきました。経済的にも体力的にも大変ではありましたが、たくさんの支援で助けられてきました。とてもありがたく思っています。 これから高校生ですが、高校にあがるにつれてますますお金がかかるのに、支援は減っていくように感じています。わたしも歳をとり、前みたいに働けないかもしれない…とか不安はつきません。子供には夢を持ってほしいですが、経済的理由により諦めてないといけな結果になるのもかわいそうです。 お金がかかる年齢でもあるので、高校生からも支援の幅を増やしてもらいたいと思っています。	女性(40代)・2人
	小さい子どもをもつ家庭への支援は充実しているが、1番お金がかかる中学、高校の子供をもつ家庭への支援が足りないと思う。	女性(40代)・2人
	出産、保育所の頃の支援は、かなり充実してきたと感じる。現に上の子のときよりも充実している。しかし、大きくなるにつれて、医療の支援などなくなり、学校のお金も高くなるので、中学校高校の支援もお願いしたいです。	女性(40代)・3人
	小さい時にもお金はかかりますが、高校卒業時が1番お金がかかって困ってます。 高校生でもバイトをさせて欲しい。	女性(40代)・3人
	子どもの年齢が低い0才から中学生までは経済支援が手厚く感じます。 現実的にはお金がかかるのは義務教育がおわった高校生から。経済的支援が足りないです。 身体が大きいほど食費も学費もかかります。高校生くらいの子どもを持つ親世代は人によっては共働き、家事、子育てに介護まで加わり負担が大きいです。 働きたくても介護が必要な親がいると経済的理由や様々な理由で介護サービスの利用ができず 生活困難に陥ることもあります。 介護サービスの無料化または児童扶養手当をを手厚くしてもらいたいです。 さまざまな家庭の事情で経済的な不安や負担がある場合は法律や条例の枠をこえて、支援をしてほしいです。	女性(40代)・1人
経済的支援 (制度の見直し)	3人以上子供がいても、年齢が上の子供が18歳になると、第3子の数え方がかわるのはおかしい。 年齢が上がるほど、子育て支援が手薄になるのは納得がいかない。 これから家庭を持つ人達が、乳幼児だけ支援が手厚いだけで、先が見えないようであれば、何人か産み育てようという気にはなれないと思う。 私は、我が子に2人以上産むことはすすめない。	女性(40代)・4人
	経済的支援をされるのはいつも「ひとり親家庭」や「非課税世帯」のみなので、もっと平等にして欲しい。 あと、中高生・大学生を持つ親の方がもっとお金がかかるので、何かしらの支援があると嬉しい。	女性(40代)・2人
	児童手当の増額、 手当の振込先を主な保育者の母親の口座に変更	女性(30代)・1人
	頑張って夫婦フルタイムで働き子育てをしています ご飯も家事も家族総出で助け合っています 小さな頃の支出より高校、大学の費用の負担は大きく家計にのしかかります しかし 所得制限により受けられないサービスも多くやるせなさを感じます 頑張った分損をしているそんなふうになさえてしまいます	女性(50代以上)・3人
	中途半端な給付ではなく、扶養控除の拡大をしてほしいです。 中間所得層が損する世の中はおかしいです。	女性(40代)・3人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
経済的支援 (制度の見直し)	支援があっても基準が厳し過ぎて受けられないか、受けるためには費用もかかるので、結果的に受ける事は出来ないと思います。	男性(40代)・1人
	コロナが流行してから何度か子育てに関する手当が出ていますが年収制限が設けられていることが多く不公平だと思いました。	女性(50代以上)・4人
	子供を育てるのはみんな一緒な位大変だと思うのに、所得制限で給付金を決めるのは少し納得がいかない。	女性(40代)・1人
	物価が上がっているが、給料が上がらず、食べ盛りの中高生がいるので、エンゲル係数が高くて困っています。 小さい子どもへの支援も大事かと思いますが、中高生への支援もお願いします。 共働きで公務員2人だと、高校の授業料無償にもひっかからないのですが、無償かそうでないかで、家庭での負担がかなり違い、不公平感を感じます。高校の授業料無償は大阪のように全員になりませんか。普段給料に応じて高い税金を払っているのに、そういった制度が使えないのは、おかしいと思います。	女性(40代)・2人
	第三子優遇といいながら、上の子が大きくなったら対象外ってなぜ？上と下が9歳離れたことで恩恵はなかった。保育料免除とか。児童手当とか。	男性(50代以上)・3人
	3人目の子供手当が、第1子が18歳になると料金が引き下げになるという意味がわかりません。上の子とちょっと間があいて、気持ちに余裕が出来て次の出産を考える人も多くいると思います。3人産んでいる事実は変わらないのに、産む時期で差が出るのはおかしいと思います。 親の収入に関わらず、高校いっぱい授業料無償化にして欲しいです。	女性(40代)・3人
	とにかく教育も普段の生活もお金がかかるので、経済的な補助を収入の制限なしでお願いしたい。 高校の部活動をさせるにも一式揃えるのにお金がかかる。 収入的な制限でひとり親でも支援がストップする。 困る。 子供がやりたいことをやらせたい。	女性(40代)・3人
経済的支援 (教育費)	中学生までの医療費の無償化 所得制限なしの高校無償化	女性(50代以上)・3人
	我が家は夫婦共に公務員で、周りから見れば経済的には恵まれているように見えるかもしれませんが、実際に第一子を出産して、紙おむつやおしりふき、チャイルドシート、ベビーカーなどお金がどんどん飛んでいく現状を目の当たりにして少し焦っています。 子どもはあと2人(計3人)くらいほしいと思っていますが、これから必要になる保育園のお金や、家を建てるならその費用などを考えると本当に3人も育てられるかとても不安です。児童手当の増額や納税額の減額等の支援があると、もう少し希望が見えるかなと感じています。	女性(30代)・1人
	大学の教育費支援 国の就学支援金の年収制限で支援が得られない家庭への市からの補助	男性(50代以上)・1人
経済的支援 (教育費)	義務教育なのに教育費にお金がかかりすぎる。 使い回せばいい教材や柔道着なども買わせられる。 貸し出しで十分だ。教科書も買わせられる。 給食費も全国的に無料になっている県や市が増えてきている中、松江市は値上げされた。値上げしますの案内はあるものの、決定事項で逆らえない。4人も小中学校に通わせていたら、教育費と給食費で、少なくとも毎月5万円はかかると思う。今の状況だと、子供が少なくてよかった一と思わざるをえない。	女性(40代)・1人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
経済的支援 (教育費)	現金支給もありがたいが、お金では子供以外のことに使ってしまう場合もあると思う。 授業料免除、教材、文房具、体操服、修学旅行費、給食費、部活動費...など、必要なものを現物支給してもらえたらありがたい。	女性(50代以上)・2人
	高校の授業料免除については大人の収入は除外して欲しい。 県が対応できないなら市で対応してもらいたい。	男性(40代)・3人
	・奨学金制度の返済方法を松江市独自(松江市の企業など)の魅力的なものになると学生が就職でUターンするのではないのでしょうか。	女性(50代以上)・3人
経済的支援 (大学)	私の家庭個人の問題ですが、子どもはできたら3人以上欲しいなと思っていますが、子どもがいない時と同じ働き方ができないため当然給料が下がります。金銭面を考えると2人までじゃないと厳しいかなとも思うので、児童手当はありますが、将来大学に行きたいと言われた時に迷わず行かせてあげたいので、少しでも支援が増えたら嬉しいです。	女性(20代)・1人
	地方からの大学進学は経済的負担が大きいです。能力のある子の選択肢の幅が狭められないような経済的支援があるといいです。	女性(50代以上)・2人
	高校までは公立高校に限るが学費の支援もあり経済的負担は低いが大学に進学すると途端に莫大な資金が必要になる。 松江在住で自宅から通える大学など島大くらいしかないので、県外の大学へ通うことになるとう学費に加えて一人暮らしの費用も必要になり、親の負担は非常に大きい。奨学金返済も子供に負担させるのは可哀想なので親が支払うとなると、その後2人目3人目ともものすごい金額の借金を背負うことになる。そう考えると一人で十分か・・・とも考えるようになる。 卒業後県内就職するなら奨学金の返済援助とかして欲しい。	男性(50代以上)・2人
	県内では高校卒業後の選択肢が少ないが、県外へ進学となると金銭的負担が大きい。高校授業料の無償化など所得制限がある制度について独自の政策を検討願います。 先々の事を考えると金銭的不安が大きいです。 また中学生の医療費無料や、小児弱視矯正用メガネの補助の年齢、任意予防接種補助など医療に対する改善もお願いしたいです。	女性(30代)・2人
経済的支援 (給食費)	ひとり親などの支援をするなら、全員なら受けられる給食費の無償化の方がいいと思う。結局、ひとり親になった方が生活が楽になる人が多く、わざと離婚したり、パートナーがいるのに誤魔化したりする人が実際にいます。	女性(30代)・2人
	給食費無償化して欲しい	男性(50代以上)・3人
経済的支援 (物品)	チャイルドシート、子供の食事をする机、イス等、一時的にしか使用しないもののレンタル、無償貸与等検討していただきたい。 子育て世帯の家賃、ローンの免除、減額等	男性(30代)・2人
	子供の生活、睡眠時間を重視しようとした際やはり、仕事に当てられる力量、時間が減少します。それに伴い給料が減少します。 その補助、支援を切実にお願したい。子供ファーストの社会じゃないのが悪いんですが、松江市が助けてくれればと思い書かせていただきました。	
	サイズアウトした体操服や制服を寄附したり、体操服や制服のお下がりがもらえたりするサービスがほしい。	女性(30代)・1人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
経済的支援 (子育て支援 事業)	子育て支援で家事育児代行サービスやファミサポなどを利用する際の利用料の補助があるとサービスを定期的に利用しやすいです。何かとお金がかかるので、サービスの利用を躊躇してしまいます。その他、大規模な公園が松江市はないので残念。また、近所の公園は遊具が1つ2つある程度で子供にとって楽しく使える公園ではありません。小さい子に必要な砂場がある公園も少ないです。子どもたちのことを思った公園や施設づくりを今後検討していただきたいです。よろしくお願いします。	女性(30代)・3人
経済的支援 (保育料)	保育料が高く負担が大きいのでもう少し安くしてほしい。育休中でも気軽に預けられるような場所があると良い。	女性(30代)・1人
公園・遊び場	松江市で子育てしてきて心地よいなと感じることのほうが多かったです。小学校まで医療費無償化などかなり助けてもらったと感じています。少子化で子供は減少していますが、ゲーム、スマホ依存ではなく、公園などカラダを動かして遊べ、集える場所があるといいなと思います。個人的な意見ですが、玉湯は子供が増え続けているのに公園が1つだけ。古くて行きにくい場所にあります。旧玉湯小学校を活かして、遊具、サッカーゴール、バスケットゴールなどある公園ができるといいなあと考えています。温泉街に泊りにきた観光客にもちょっとした遊びの場として。子供が家の中だけではなく、外に行きたくなるような環境をつくっていただければと思います	女性(40代)・2人
	とにかく子供が遊ぶ場所、預けられる場が少ないように感じます。周りでもそういった声をよく聞きます。預かるのは難しいにしても、遊べる場がほしいです。知らないだけかもしれませんが…	女性(30代)・2人
	昔は近所の空き地などで虫取や野球など自由にできたが、今はそういう場所が見受けられないです。子どもがのびのびと遊べる場所を増やして欲しい。	男性(50代以上)・2人
	子供達が楽しく毎日を過ごせるよう公園などの整備が重要。もちろん、子育て世代で地域の清掃なども積極的に行うべき。誰かがやるだろうといった考え方の保護者が多過ぎる。子供達の笑顔のために協力することは苦ではないが、保護者も子供自身も甘えている家庭が多過ぎる。みんなでより良い地域づくりをすることが大切。	女性(50代以上)・2人
	夏は暑く、冬は雪で公園で遊べません。雨もよく降り地面や遊具が濡れて、3歳まで毎日過ごす場所を探すのに本当に苦労していました。	女性(30代)・1人
	やっと幼保園に行き始めたと思ったら長期休暇があり、ちょうどその頃は夏や冬で公園は使えなく、子どもと毎日スーパーなどでさまよっていました。	
	松江は屋内で赤ちゃん以外の子どもが遊べる場所がありません。出雲の浜山公園のように何個も遊具があったり、鳥取の真教寺公園のように水遊びができる噴水があると嬉しいです。屋内で遊具がいくつかあると、天候に左右されることなく本当に助かります。もう1人子供は欲しいけど、また公園探しにさまよったりするのがしんどいので悩んでいます。	
	市内の公園の整備をしていただいてありがたいが、まだ実際に機能していない公園があるので整備をお願いしたい。また、公園内の公衆トイレや施設のトイレなど古いものは新しくしてほしい。	女性(30代)・1人
	遊具のある広い公園がもう一つくらいあると嬉しいです。(北公園や総合運動公園はいつ行っても人が多いため)	女性(40代)・2人
	公園の増設、充実 児童館を各小学校近くに設置	女性(30代)・1人
	放課後、子供たちだけが遊ぶような小さな公園が近くにほとんど無い。またはあったとしても遊具が使えない、古い、雑草など刈られていないなどという状況を残念に思うことがあります。	女性(30代)・4人
	・子育て世代が遊べる場所をもっと作ってほしい(複合商業施設、動物園、大型公園、アスレチック、遊園地、アウトドア施設) ・通学路、歩道の整備	女性(30代)・2人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
安心して子育てできる環境づくり	誰もが平等に わかりやすく、手続きしやすく 出来ることを願います。	女性(50代以上)・3人
	誰もが元気で住みよい街作り	女性(50代以上)・1人
	子供の通学路にもっと日陰があるとよいです。 とにかく、ランドセルがまだまだ重たいです。昨今、夏休み前も後 も暑い日は多いです夏は学校に行くだけで汗だくです。	女性(40代)・2人
	仕事をしてもしなくても、経済的にも精神的にも同じ感覚になるよ うな社会になりますように	女性(50代以上)・2人
	松江は宍道湖も海も山もあるのに、子育てしにくいのは何故か疑問 デジタル化しても中身が変わらないと意味ないと感じますが。	女性(50代以上)・2人
	子どもは不妊治療で授かり、結果は出ませんでしたもう一人欲しく て再度不妊治療にも挑戦しました。松江市の助成があって、経済 的にも精神的にも大変助けられました。ありがとうございます。 街で出会う方も、子どもに優しくしていただくことが多く、雰囲気 はとても子育てしやすいと感じています。	女性(30代)・1人
	行政がいろいろなサービスを提供することで親は助かり楽になる反 面、全ておまかせになっていないか、親の育児能力の低下につなが らないか、そんなことも気になります。親にとってではなく子育て 支援の一番は、子どもにとってどうなのか、子どもを中心にいろい ろな施策を考えてほしいです。	女性(50代以上)・2人
	経済的にも、人的、制度的にも子育てに適した町とはかんじられな い。積極的な取り組みに期待したい。	男性(50代以上)・2人
他自治体の事例	子どもが小さい時は手がかかりそれなりに大変で低年齢の子どもの 支援に重点が置かれやすいが、子どもが成長してきた親がみんな感 じることは今も大変さは何一つ変わらないということです。すべての 子どもが同じように子育て環境の充実の恩恵を受けれるといいで す。	女性(40代)・3人
	他県の良いところを真似してほしい。	女性(40代)・2人
	自治体によって子育て支援に結構違いがあるので、予算とかあると は思いますが他所の良いところをどんどん取り入れて欲しい。	男性(40代)・4人
	明石市のまねで良いかと思う	男性(50代以上)・1人
	現時点で松江市の子育て支援はとても充実していると感じている が、兵庫県明石市のように、第2子以降の保育料の完全無料化、高校 三年生まで医療費無料、おむつ定期便の実施など、他の自治体で実 現している評判の良い内容をどんどん取り入れていただきたい。そ うすることで、少しでも人口減者に歯止めがかかり、市民の満足度 向上に繋がるのではないかと感じている。	男性(30代)・1人
	旧明石市長の泉房穂さんを招いて、市政のアドバイザー契約や市政 に携わる者への勉強会、一般市民向けの講演会などではできないの でしょうか。 現在の年老いた市議は、子のため孫のためなんて言いながら、子育 て世代が歓喜するような目新しい政策など一つも提案できていない のでは。市議も65歳で定年とし、もっと子育て世代に近く、現状を 良くしなければ厳しい老後を迎える危機感を共有できるような方々 で市政を盛り上げてほしい。 役所は前例が無いから無理と、いつもそんなクソみたいな言い訳を しているから、何も変わらないし変えられない。 時代は変わるから前例なんて不要、常に最新であれ！ ぶっ飛んだ子育て政策を期待。	男性(40代)・2人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
他自治体の事例	子育て施策が成功し、人口増加している自治体の成功事例を取り入れて、魅力的な都市にしたい	男性(50代以上)・1人
	学校給食を出雲市のように、無償にして、ほしい。物価高騰で生活が苦しい。	女性(50代以上)・1人
	同じ山陰でも、鳥取へ行くと子供が遊べる場所が沢山あると感じる。松江は景観は良いが子供が遊べる場所が少ないと感じる。同じ自然豊かなら、松江にも森(野外)の幼稚園を増やして1ターナーを増やすなど自然豊かで住みやすい街にすれば良いと思う。	女性(40代)・2人
仕事と子育ての両立	働きたいのに働けない。 育休延長中です。	女性(30代)・2人
	子供が小学校に入学してもフルタイムの仕事が続けられる用にしてほしい 今の状況だと玉湯の地域に19時までの学童がなくフルタイムでの仕事継続が難しい	女性(30代)・2人
	支援金をちょこちょこ配布するより、親の給料アップや職場の働き方改革の方が、有効である考える。仕事と家庭の両立には、職場の理解が必須。休みにくい、早く帰りにくいなどの環境が、これ以上、子どもをもつと大変、やっていけないという感情につながる。	女性(40代)・1人
	子育てと仕事と家事に対して全て相応の責任を持って臨むのは、非常に難しいし、どこかで誰かや自分に負担がかかってしまう。少子化を食い止め、働き手を増やすには、休みを与えるか、賃上げにつけると思う。 また、寡婦への支援が大きいのは分かるが、寡婦で両親と同居している知人より、安い給料の共働きでほぼワンオペしている自分の方がよっぽどしんどいのではないかと思うことが多々ある。	女性(30代)・2人
	松江市の子育て支援には助かっています。 ただし、これから先、自分の子供達が子を持つ時代になった時、仕事と子育て・家庭の両立ができるのか心配はあります。 日本で一番子育てがしやすい市になることを期待しています。	男性(50代以上)・2人
	幼稚園でも早い時間帯からの受け入れ、預かり保育の充実(18時まで受け入れ)を行えば幼稚園の人数減少や保育園での待機児童の減少に繋がると思う。 子どもが通っていた当初、幼稚園は8:40受け入れ、14時迎え、と時間が短く働きたくても働けない状況でした。 保育園に預けたらフルタイムで働けるけど保育園自体空いてない。空いていても預け先が遠いなど問題山積み。 幼稚園ばかり子どもがいなくなってしまい、園舎自体が空き家になってしまう。 もう少し子育てできる環境を整えて欲しい。	女性(40代)・2人
	昔と違いお金、時間がかかるのわからないといけない。 共働きが大変。	男性(30代)・1人
福祉・療育支援	子供に不安障害があり、学校は付き添い登校をしています。その場合に、母親とは別に付き添ってもらえる人(学校の先生ではなくてもいいので)がいると助かるなあ、ということをよく考えています。 あと、家計に余裕のない世帯でも行けるような体験教室が増えていけば、個々の子供の能力が伸ばせたり、自信がついていいのではないかと考えます。	女性(40代)・4人
	こちらで回答していいものか分かりませんが、ずっと願っていることなのでこちらに書かせて頂きます。 私自身、未婚で出産し、様々な事情により実家には居られず実母を連れて実家を逃げ出し市営住宅で生活しております。私はパートで働いており、子どもは小学生、実母は病気を患っており働くことはできません(身体障がいの手帳はなく精神の手帳のみ)。私と子どもは福祉医療や子ども医療が使えるのですが、実母の医療費は3割なのでかなり家計を圧迫されています。(喘息などの治療費、歯科医院への通院費など)なので、こういう家庭への支援があるといいなあと思っている次第です…。	女性(30代)・1人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
福祉・療育支援	元気な子どもの支援も大事ですが、障がい児支援も大切にしてほしい。 福祉事業所に対して監査等厳しい対応は必要かもしれないが、あらさがしの用を感じる時もあり、経営が難しくなると、預け先がなくなり、困るのは子育てしている親もだが、一番は子どもが困る。 障がい児、障がい児の親、福祉事業所をもっと大切にみてほしい。 発達障害の知的ではなく、情緒の子が通える支援学校、特に高校が全くないので、作って欲しいです	女性(40代)・1人
	子育てだけではなく、親、家族の介護などにも力をいれてほしい	女性(40代)・3人
	女性(50代以上)・2人	
	松江市の子育て施策は障がいのある子どもを想定されてないものが多いと感じる。 子育てしやすい町の実感はありません。 少数派の私たちも市民です。 困っていることも多く、普通の家庭よりもつながりや支援を必要としています。 民間や福祉に任せず、自治体としての支援を求めます。 私たちの存在を忘れないでほしい。	女性(40代)・3人
利便性の向上	シングルマザーで、色々な支援や取り組みがあるとは思いますが市役所に行く時間や問い合わせる時間がない場合があります。市役所のインターネットで検索がしやすくなったり、チャット機能などをつけて頂くと使用しやすいし、問題解決にはやくつながると思います。	女性(30代)・3人
	保育園の預かりについて緩和される話は聞きますが、それよりも家庭での家事を支援してもらえ(訪問で食事の作り置きをしてもらえると1番助かる)もしくは家事をしている間子供を見ていてもらえるサービスがあると嬉しいです。市が手配するのではなくても、そういったサービスを受けるのに補助があると良いなと思います。 業者もあまり無いかと思うのでそのようなサービスをする業者への補助があると増えてくれるのではと思います。 そんな話を子供が産まれた時助産師さんともして話が弾みました。	女性(30代)・2人
	保育園の給食費も口座引き落としにしてほしい。毎月金額ぴったりに合わせて持たせるのがシンドい。	女性(30代)・3人
	保育所の連絡帳がスマホでできたらすごく楽だと思います。 書くことは家事しながらだとやはり負担になると思う	女性(20代)・1人
	公立保育園における各種支払いのキャッシュレス化。 →999円お釣りのないように準備してください、など指定があるがお金を用意する手間、先生の確認する手間を考えるとキャッシュレス化を進めてほしい。	女性(30代)・2人
	学校の欠席の連絡をラインでできるようにしてほしい その他のお知らせもラインでしてほしい	女性(40代)・2人
医療費	小学生以下の医療費無償化は大変助かっています。ありがとうございます。 ハローワークの育児休業給付金については、初回の払込にかなり時間がかかる状態が続いている(人手不足で時間がかかりますという紙を何回か見ました)ので、お金が遅く振り込まれることへの不安もあるためその状態が解消されればと思います。	女性(30代)・2人
	松江は子どもにあたたかい視線を向けてくれる方が多く、子育てしやすい環境だと感じています。 物価が高騰する中、医療費の無償化は、子どもを健やかに育てる上で心から有難いです。	女性(30代)・1人
	我が子は小さい頃病気がちだったため、医療費の無償化は大変ありがたかったです。 また、ひとり親への支援にも感謝しています。	女性(50代以上)・2人
	子供の医療費をもっと長い間免除してほしい	女性(20代)・1人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
医療費 (高校生)	高校生も医療費を無償化してほしい	女性(50代以上)・1人
	小学生まで医療費が無償とのことでとても助かっています。だからこそ高校生までの無償化を希望します。中学生・高校生になれば怪我や病気の頻度は減るかもしれませんが、一度が高額になる可能性があるためです。	女性(30代)・2人
	18歳までの医療費無料。	女性(40代)・1人
	医療費無償化を高校卒業まで…が切実です。	女性(40代)・1人
	島根県・松江市の人口減少が深刻化する中、子育てサポートの充実は、将来的に大人になった今の子供達が松江に戻ってきてくれる大きな要因になります。 現在、医療費助成が充実しており感謝しておりますが、スポーツを本格的にやり始める中学生高校生も怪我が多く、また医療費も高額になる傾向があります。高校生まで医療費助成があると大変ありがたいです。	女性(40代)・2人
医療費 (中学生)	中学生の医療費無料も検討してほしい	女性(50代以上)・1人
医療費 (予防接種)	インフルエンザの予防接種代金も免除してもらえると助かります。3人いると結構な出費になるので。	女性(30代)・3人
医療費 (予防接種)	インフルエンザの予防接種を、受験が控えている中高生まで無料にしてほしい。 給食費を補助してほしい。	女性(40代)・3人
親子で出かけやすい環境づくり	子ども向けのイベントに駐車場が準備されてないことがある。公共交通機関を使うように書いてあるが、バス停まで距離があり、乗り換えも必要なので、行くのを諦めてしまう。駐車場が確保できる場所で開催してほしい。 住民税や保育料は所得に応じて支払っているのに、手当や給付金は所得が多いと減額されたり対象外になってしまうのが不公平に感じる。保育料の多子軽減も同時入所で2人目の保育料が半額になるが、歳の離れた兄弟だと減額されない理由がよくわからない。生計を一にする兄弟でいいのでは。	女性(40代)・2人
	子どもがいながらも気軽にリラックスしたり飲食店に入ったりできる環境が市内にたくさんほしい。 第二子以上できると、1人では身動きがとれず、飲食店入店や自分のリラックスタイムを諦めがちになる。そのため、第二子、第三子出産を考えるのも消極的になってしまう。	女性(30代)・1人
	・こっころカードでサービスしてもらいありがたく思っています。こっころカードは1人でも2人でもカードは一枚となっていることから、子どもの数だけサービスを受けられないことがあり、残念なときもあります。子ども1人につき、サービスがあるととてもありがたいです。 ・今は子どもも大きくなり、出かけることも楽になってきましたが、子どもが安全に歩けるようになるまで抱っこして駐車場からお店まで歩かないといけなし。身障者マークにも止めれないので、近くが空いてないときにはとても苦労しました。 小さい子ども(特に妊娠後期や授乳期など)のおられる方が優先的に止めれるような思いやり駐車場があるといいなと思います。	女性(30代)・2人
	子どもが施設を利用する場合の、付き添いの保護者の施設利用料を安くしてほしい。	女性(40代)・3人
	妊娠、出産した際に現金で10万円いただけたのが助かった。今後も続けてほしい。 子どもと一緒に体験できるようなイベント、コンサートの開催があると喜びます。 保育士への支援の充実をよろしくお願いします。	女性(20代)・1人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
子育て支援制度	やってる感だけで、本当に必要支援がないと思います	男性(50代以上)・3人
	子どもが大きくなっており、今回の回答は参考にならなかったと思いますが、もっと手のかかる年齢の時に思っていたのは、ただただ一人の時間が欲しかったということです。 女性も外に働きに出るようになった昨今、仕事に家事に育児と女性の負担が多すぎると感じます。	女性(40代)・5人以上
	本当に必要な支援がされていない。「現在も支援している」と言う考え方ではなく、どんな支援を望んでいるのか、どうすれば実現可能なのか、もう少し子育て世代のニーズに合った支援をしてほしい。	女性(40代)・3人
	出産後、保健師さんが自宅を訪問して赤ちゃんの様子を見てくれるサービスが良かった。兄弟がいると、なかなか育児相談のためだけに外出して時間を取ることが難しいので、とても助かった。	女性(20代)・2人
	産後ケアについて 双子は利用回数を増やして欲しい 兄弟がいると宿泊利用はしにくいいため、その分日帰り利用ができるようにして欲しい	女性(30代)・4人
認定区分・入所	近くの保育園に入れないので勤務時間が限られる。 発熱や怪我で呼び出しがあっても保育園が遠いので大変	女性(30代)・2人
	兄弟別の保育園の入所した際、下の子の保育園に入る場合は加点がマイナスとなるのをやめてほしい。	女性(30代)・2人
	子供が全員幼保園に登園です。途中で無償化制度が始まり、そのせいか第5子が産まれ育休中に第3子が2歳児から年少に進級。育休中なので保育の必要性なしと判断され保育料を請求されました。第6子が産まれた時も全く同じで第4子が2歳児から進級でしたが育休中なので保育の必要性なしということで利用料を払いました。第3子はすでに年長だったので対象外でしたが、少子化と言われる中、5.6番目の子供を産んで仕事も頑張ってるのに他の子が普通に利用料取られると、いつ妊娠するかわからないのにたまたま進級のタイミングで育休中だった。確認すると幼保と認定保育園だけ対象と言われました。幼保園って必要ですか。知ってたら入れなかった	女性(40代)・5人以上
	育休中の上の子の短時間保育についてやめていただきたいです。 今は毎月3000円ほどの延長料金を払い保育園の先生方に見てもらっています。1年で3万円程出費が増えた形です。安心して下の子を育てながら身体を休めたいです。産後ケアを利用しましたが16時までの利用なのに保育園が16時までの迎えで、上の子が短時間保育な為にじゅうぶんにサービスが受けられずおかしい制度だなと思いました。「産めば産むほど損」なのだなと感じました。	女性(30代)・3人
教育	保育所入所の予約枠が今年度からなくなったことについて、予約枠を復活してほしい。保育士の方以外の予約枠がなくなったことについて、不安の声をたくさん聞いている。実際、兄弟別園になった家庭もある。予約枠がなくなったことは、子育て支援に逆行しているのではないかと思います。	女性(30代)・2人
	偏差値偏向教育では、進学により、ますます人口流出が進み、地方経済は疲弊するような悪循環を断ち切り、子供達にとって魅力ある教育で、松江市からリーダーシップをとって欲しい。	女性(40代)・2人
	幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校生と18歳になる子どもたちが触れあえる教育(学校主体で)ができると小さい子どもたちの今後の目標設定に繋がったり、中、高校生などは逆に振り返りができたりするのではないかと思います。 あとは学校によって(その時の教員)生徒指導の対応がまちまちで如何なものかと思うことが多いです。	男性(40代)・3人
	学ぶことの楽しさを感じられる教育があれば、家庭でも自主自立してお手伝いをしたりするのではないかと思います。 手伝いというよりは、学校で学べるクラスの一員、学校の一員という役割意識から家庭で自分がやるべきことは何か考えられる子が育つと、すべてのことにおいてプラスに働くと思う。	女性(40代)・3人
	学力テストの全国順位が島根県は低いこと。	男性(50代以上)・2人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子的人数
松江市のいいところ	・松江市は子育て制度が他より充実していると思ってます。綺麗な環境でしっかりと支援してもらっていると感じているのでありがたいです。	女性(30代)・2人
	松江市の子育て支援で助けられました。子育て支援もありがたいですが、水道料金の減免にも感謝です。毎月の給料から社会保障費で引かれる額が多く、これからはもっと引かれる世の中になると思います。給料が上がらない企業も多く物価も上がっているので、心に余裕が持てず子育てする気持ちにはならないと思います。自分の事で精一杯な人が多いのでは。若い人達に希望が持てる政策に期待します。	女性(40代)・3人
	都会に比べたら、断然子育てしやすい環境。それを強みにがんばってほしい。田舎だからこれは出来ないじゃなくて、田舎だからこれが出来ることを増やして発信して、少しでも人口を増えたら良いなと思います。	女性(50代以上)・3人
	子供も色々な子が居ます。その子にあった支援がスムーズに受けれる流れが出来上がるといいなと思います。 松江は子育て支援が充実しているからと定住を決めた友達がいます。 凄くありがたい事だと思うしこれからもそう思ってくれる方が増える取り組みに期待しています。	女性(40代)・2人
情報発信	そもそも子育て支援の中身が伝わってこないのが意見のしょうがありません	男性(30代)・1人
	・年長児がいる親が小学校生活の想像がつかず、どこに相談して良いのか、何を相談して良いのか、漠然としているので、次のステップの想像ができるように、一年前くらいから相談できる場や説明会等があればありがたい。	女性(30代)・2人
	松江市の子育て環境は全国的にみても良いのだろーと思います。医療費であったり、保育料など無料制度が充実していて低所得者は助かります。 SNSでの情報発信はまだまだ増やしていったほうがいいのではないのでしょうか。かなり身近な情報収集の場なので、HPだけではなくInstagramやXなどで積極的に発信していただければと思います。	女性(30代)・3人
アンケートについて	たくさん意見を述べさせていただきました。10分では到底終わりませんでした。ご覧の職員の方は業務として賃金が発生していると思いますが、こちらは貴重な時間を割いて、回答させていただきました。アンケートを取るからには、今後意見が反映されるかどうか、松江市民として確かめさせていただきたいと思います。 要望としては即対処すること。これにつきます。ただアンケートとって、回答まとめて、所属長に回覧だけで済まさないようお願いしますね。すぐ、対応する担当者を決めること、そして実施期限を決めること。できますよね？市民税も高いですし、期待をこめて、書かせていただいております。	女性(30代)・1人
	このようなアンケートを実施する機会を設けていただき、ありがとうございます。わたしがよく見かけ、特に参考にする情報は、ツイッターで育児中の人たちが共有している情報です。政治的な支援が的外れであることに憤りを感じている人は特に多いと感じます。我が家は現在困窮しており、日常的、将来的な経済負担に不安を抱えて生活しています。子どもだけでも健やかに育てたいと必死です。現実的な状況を調査、把握し、効果的な政策を打ち出していたくことを望みます。	女性(40代)・1人
	私はシングルマザーです。なりたくてなったわけではないけど、自分の責任として必死に育てています。理想の子供の人数などを聞いてこれらるのは私には理解できません。質問の意図がわからないので答えませんでした。シングルマザーに支援していただいたりするので自分にできることは少しでもお返しできたらと思いアンケートをしましたが意味のわからないことばかりでした。	女性(40代)・3人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
教職員の研修・拡充	教育の場や、支援の場にいる方々に時間的余裕と心理的余裕が欲しい。	女性(50代以上)・2人
	小学校教師は、現代の子育てについて勉強したり研修をどのように受けているのか知りたい。子育てについての勉強が充分でない教育者からの指導に不安を感じる。	女性(40代)・1人
	保育園の先生を増やしてほしい。 小学校の先生を増やしてほしい。	女性(40代)・2人
切れ目のない相談支援	今後離婚率はあがる。 ひとりでも育てられる環境を！ それにからめて、発達が関係する離婚も多い。子供から大人まで特性に対応できる相談、医療体制を！ 今ある相談機関は満杯か機能不全か。	女性(50代以上)・1人
	悩んだ時に相談できる場所が欲しいです。 近所の付き合いも希薄で学校で友達と約束をしなければ遊ぶ人がいない状況です。 夏は暑くて、昔みたいに公園で遊んでおいでとも言えないです。 遊ぶ場、遊ぶ人がいないので、結果、親の負担になっています。	女性(40代)・2人
	第一子の産後うつに関して、検診で辛いと相談してまた電話しますねと言われたが電話が来なかった。どのような情報共有をしているのか。 予約して数日後に相談、利用ではなく、本当に辛い時にすぐ繋がれるところがあれば1人目の時などは助かったと思う。	女性(30代)・2人
	小学校のトイレが洋式が少なく、これから入学する子も親も不安になっています。 増やしてもらえるようにお願いします。	女性(30代)・2人
施設整備	小中学校に対する行政からの教育支援金が不十分であり、校舎、設備が老朽化しても修繕・更新ができない。地域において、教育後援会などを設立し、地域住民・企業からの支援金で補っているが、本来は行政がしっかりと対応すべきである。財源に限りはあるが、他の補助事業も含めて見直しを行い、充実した教育環境を整備してほしい。	女性(50代以上)・2人
	学校の改修を是非行ってほしいです。 一度市内の小学校のトイレ、プールなどを見て頂きたいです。 教室内のランドセルを置く場所も、今のランドセルの大きさに合わず、ぎゅうぎゅうに押し込んで入れていますし、学校だけ40年前から何も変わっていません。	女性(40代)・1人
	ほぼワンオペで育児をしているので、生まれてから1歳位までは特に買い物に出る事や夜ご飯を作るのが大変でした。 地元の飲食店さんやスーパー、お弁当屋さん等で栄養が取れるようなメニューをレンチンでお手軽にできるものが、何日分とかの単位でお取り寄せできたらいいなと思いました。	女性(30代)・1人
食の支援	子ども食堂のような、誰でも安く食事ができる場所がたくさんあったらいい。 学校給食費が値上げされるが、子どもに必要な大切な食事は、なんとか補助するなり、他から財源をもってこれないかと思う。	女性(40代)・1人
	有料にしてもいいので、お昼ご飯も食べれて、子どもたちも遊べる施設を作って欲しいです。 朝、子どもと遊んでいっしょにご飯たべて、昼はお昼寝。と育児がスムーズになるような施設が欲しい。	女性(30代)・2人
多様な居場所・預け先	子育て支援センターの方々に、いつもお世話になっています。転勤族で松江に知り合いもおらず、平日は母子だけで過ごすことが多いので、本当に助かっています。今後、一時保育の受け入れが、よりスムーズに行われると助かります。	女性(30代)・1人
	未就学児だけではなく、小学生、中学生にも学校ではない居場所などがあったら子どもも親も助かると思います。	女性(50代以上)・1人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
多様な居場所・預け先	保育園に行ってなかったのがありますが、うちは3歳までが本当に大変でした。パートナーは仕事で忙しく、1人で育児していると怒鳴ったり、虐待しかねないような状況でとても辛かったです。仕事をしていない人も保育園へ気軽に預けられたらいいなと思っていました。 その為には保育園で働く人の給料ももっと増やし、働く人を増やすべきだとも思います。 これから子育てをする人には私のような思いをしない、させないような制度を取り入れ、少子化を食い止めて欲しいと願います。	女性(50代以上)・1人
ひとり親世帯支援	シングルファーザーに対する支援をもっとお願いしたいです。 所得が一定程度あることで支援を受けられないのは、不平等に思います。子どもたちの時間を割いて、自分の時間を後回しにして働いて、ようやく所得を得ています。それを応援するような支援があれば、もっと経済的に自立した働き方をする方が増えるのではないのでしょうか。	男性(40代)・2人
	今現在シングルで子育てと仕事を両立しているが、非課税世帯や収入が一定以下の人たちの補助金、補償ばかりされても、真面目に働いて一定以上の収入があるからと補償がないのは不平等。収入で判断しないでほしい。 このアンケートをぜひ活かしてほしい。	女性(30代)・3人
	ひとり親家庭への支援が充実しているが、物価高騰等での家庭負担はどの家庭も同じ。支援については一律にして欲しい。 子どもが小さい内より年齢が上がるほど、かかる単価が上がるので支援金が少なくても年齢を引き上げて欲しい。	女性(40代)・3人
保育料	希望の園に入園できず、母は一時保育を利用しながら働いていますが、一時保育も満員で週に2回しか働けず困っています。 経済的に厳しいのに出勤もままならず、パートなので保育料で収入の1/3を持っていられるのも悲しいです。子供が風邪をひけば出勤もできません。二人を病児に預けたら収入も僅かになってしまいます。 働いている人で一時保育を利用するしかない場合は、保育料の軽減があると本当に助かります。よろしくお願いします。	女性(40代)・2人
	日頃から子育て支援をしていただきとても感謝しております。ありがとうございます。 もう少し欲を言えば、やはり0～2歳児の保育料はどうにかありませんか？と思っております。 あとは、子育てして思うのですが、やはり視野が狭くなります。 どうしても、日常に必死になるので！お父さんのサポート、本当に大事です！ なので、もう少し父親が育児に参加出来る制度でも、イベントでも、行事でも、なんかありませんかね… 子どもの事で休むのも、少し肩身が狭いようです。第一子なのと、気の弱い父親なので、特にそう思うようです。なので、父親がもう少し堂々と出来る環境作りをお願いします。	女性(30代)・1人
	お金を配るより保育料の無償化	女性(40代)・3人
制度の見直し	児童手当を、世帯の収入が高い方の口座に振り込むというルールはやめてほしいです。 子育てを主体的に行なっているのは、多くの場合母親で、父親に比べて収入が少ないです。子どものためのお金が必要になったとき、父親に「お金をください」と頼まなくてはならず、父親が上、母親が下のような上下関係が生まれてしまいます。なんで頼まないといけないんだろう、夫の分も子育て頑張ってるのに、と不公平に思います。 児童手当の申請書類に、振込口座を書く欄を設けていただき、受け取る側がどこに振り込んでもらうか選べるようにできないでしょうか。	女性(30代)・1人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
制度の見直し	PTA活動など保護者からの支援を前提とした学校行事が時間的な負担になることがある。 雇用主に対して行事参加に関する休業保証などを行って欲しい。 もしくは保護者の負担減を学校側に意識してもらいたい。	男性(30代)・2人
市役所について	松江市役所内でサービスすればいいと思う 例えば、子供連れ専用の休憩スペースを設ける、お茶の無料提供など 綺麗になった新庁舎の子育て世代にメリット部分を市民に教えてほしいです。 新庁舎の眺めの良いところを市民へ開放する。セブンティーンアイスを置いてほしい。(まだ新庁舎に、伺ったことはありません)	女性(40代)・1人 女性(30代)・2人
行政について	市役所など行政は電話対応が無愛想で冷たい方が多い。	女性(40代)・5人以上
スポーツ	学校外でのスポーツクラブ活動の指導者不足を感じる。近年、保護者が指導する場合があります。教育者ではない方の個人的な利己主義な指導に振り回されることがある。健全育成の観点からも、指導力を疑問に感じる場面がある。 ある一定のスキルがある、人格者の指導を受けることが出来る仕組み作りと、行政の見守りをして欲しい。	女性(40代)・2人
医療機関	休日夜間に診てもらえる病院が市立病院が日赤しかないので多額のお金が取られる。他にも診てもらえるところを作って欲しい休日眼科や耳鼻科がない。	女性(40代)・1人
親同士の交流	小学校の行事で、もっと親子が関わられるようにしてほしいです。 運動会や遠足等、親子で活動する機会がないので、親同士のコミュニケーションがとりにくいです。 運動会を半日ではなく1日にしたり、大変ですが、親同士が話をできる機会が増えると悩みの解決になったりするのでは？と思います。	女性(40代)・2人
子どもの豊かな体験・経験	子どもたちが自ら学んで、体験して、失敗して、怒られて、褒められて、自分の意見が持てて、議論して、活発になって、時には涙して、友だちを助けて、友だちに助けられて、気持ちでも行動でもとにかくたくさん経験を積んで、すぐに終わってしまう子ども時代を大切にしてほしい。	女性(50代以上)・3人
児童クラブ	小学校になると学校も早く終わり、児童クラブに入らないと15:00過ぎには帰るので同居や仕事していなくても児童クラブに入れるようにしてほしい。	女性(30代)・4人
社会全体で子育てを応援する機運の醸成	住んでいる地域はボール遊びが禁じられていたり、ラジオ体操時も早朝だからとラジオの音を小さくしたり、私語禁止など近所の住人が口うるさく、子育てに理解がないようだ。昔は生活の範囲内であれば許されていたようなことが今はいちいち言いがかりをつけられ、あれもダメこれもダメとされる状況である。そのため、市内の公園を増設したり、幅広い用途で利用できるよう充実させてほしい。現存のものは、小学校入学前の子どもや高校生が集中して利用している印象で、小学生が安全に利用できる公園があるとよい。	女性(30代)・1人
多様な価値観	経済的な理由で子供をつくらないわけではない。 社会の考え方が変わって、結婚が当たり前ではなくなったことや、必ずしも子どもを持たなくなったためである。 小学生の医療費無料などやめて、国は児童手当額を引き下げるなど、税金のばらまきをやめてほしい。	男性(50代以上)・2人
病児保育	病児保育は登録までしたが、体調の悪い子を知らない場所に放置する気になれなくて活躍できなかった。 具体的にどういう状況で使っているのか知りたい。 今後、単身赴任の予定があるが、その時活用できそうな制度を知りたいが、他人にどこまで託すか、自分の中で線引きが難しい。	女性(30代)・1人
幼稚園の給食	幼稚園でも週に数日で良いので給食があると助かると思います。 今もあるのかはわかりませんが神戸市で土日祝日、小学生以下の子どもの公共交通機関が無料だったのが素晴らしいと思いました。 松江市は子供へのサポートが手厚いと思います。ありがとうございます。	女性(50代以上)・2人

問 16 子育て支援についてのご意見・ご要望（前頁の続き）

分類	内容	性別(年代)・子の人数
総合的な内容	暮らしやすい町なのか、そうでないのか全くよくわかりません。共働きなので年収はある程度な金額ですが、税金も沢山納めているので手取りにしたら本当に悲しい限りです。幼児や高齢者以外も人です。その“人”たちにも目を向けて下さい。	女性(40代)・2人
	女性が働きたい場合でも子どもを預けることができないという話はよく耳にします。子育て支援が果たして機能しているのか甚だ疑問です。医療費等は高校生まで(18歳)まで完全無償化にすべき。小中高就学時の費用負担軽減も検討してもらいたい。	男性(50代以上)・0人
	・松江市は他の市より遅れていると思います。施設の整備、充実化も。そして規制も多い気がします ・サポートする側の仕事量に対する報酬が少ないことでモチベーションが損なわれると思います。 命を預かる大切なお仕事なので、それに見合った報酬にしてあげたら、サポートする側の仕事に向き合う姿勢も変わるのではないのでしょうか。	女性(50代以上)・1人
	1歳児までのおむつ宅配便などの子育て支援。 児童手当の拡充と扶養控除をもとに戻すこと。 物価高の補助。 産後ケアの拡充。 保育園の予約枠の復活。	女性(30代)・4人
	我が子は21歳と17歳です。 子育てが大変だった頃の制度より、現在の方が充実していて羨ましいです。その頃の制度でも、たいへんありがたいものでした。そのような環境で子育てした身から言わせてもらえると、制度は充実しているのに、もっと、もっとという傾向が強いように思います。 これではキリがないなと思います。税金の使い道も現金のバラマキでない使い方を望みます。	女性(40代)・2人
	子どもを育てるにあたり、手当を上げることや、教育費や医療費の負担軽減、子どもが不登校になった時に親は働けず、収入が減ること、支援の充実、居場所作り	男性(40代)・3人

以上

「松江市子育て支援に関する保護者アンケート」
集計結果

令和6年3月
松江市こども子育て部こども政策課